Lenovo NeXtScale nx360 M5
タイプ 5465

インストールおよびサービス・ガイド

Lenovo NeXtScale nx360 M5
タイプ 5465

インストールおよびサービス・ガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 555 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 559 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および Lenovo *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

第 3 版 (2015 年 5 月)

© Copyright Lenovo 2015.

© Lenovo 2015

目次

安全について vii
トレーニングを受けたサービス技術員用の指針 . . viii
危険な状態の検査 viii
電気機器を保守するための指針 ix
安全に関する注意書き x

第 1 章 Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード 1
Lenovo Documentation CD 3
ハードウェアとソフトウェアの要件. 3
Documentation Browser 3
関連資料. 4
本書で使用される注記 5
機能および仕様 6
ご使用のコンピュート・ノードの機能 10
信頼性、可用性、保守容易性の機能 13
コンピュート・ノードの主要コンポーネント . . . 13
ストレージ・トレイの主要コンポーネント 14
GPU トレイの主要コンポーネント. 15
電源、コントロール、およびインディケーター . . 16
コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED. 16
コンソール・ブレークアウト・ケーブル. . . . 19
コンピュート・ノードの電源オン 19
コンピュート・ノードの電源をオフにする . . . 20
システム・ボードのレイアウト. 21
システム・ボードの内部コネクター 21
システム・ボードの外部コネクター 22
システム・ボードのスイッチとジャンパー . . . 22
システム・ボードの LED およびコントロール . 24

第 2 章 構成情報と説明. 27
ファームウェアの更新. 27
サーバーの構成 28
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 . . 30
Setup ユーティリティーの使用 32
Boot Manager の使用 41
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 41
Update*Xpress* System Pack Installer 42
UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更 . 42
統合管理モジュールの使用 43
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用. 44
組み込みハイパーバイザーの使用 47
Ethernet コントローラーの構成. 48
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化. 48
RAID アレイの構成 49
Lenovo Advanced Settings ユーティリティー・プログラム 49
Lenovo Systems Director の更新. 50
汎用固有 ID (UUID) の更新. 51
DMI/SMBIOS データの更新 54

第 3 章 トラブルシューティング 59
ここから開始します 59
問題の診断 59
文書化されていない問題 62
Service Bulletin 62
チェックアウト手順 62
チェックアウト手順について 62
チェックアウト手順の実行 64
診断ツール 65
パワー・サプライ LED 67
システム・パルス LED 69
イベント・ログ 70
POST 73
Lenovo Dynamic System Analysis 74
自動サービス要求 (コール・ホーム) 77
Lenovo Electronic Service Agent. 77
エラー・メッセージ 77
エラー・メッセージ 78
症状別トラブルシューティング. 78
一般的な問題. 79
ハード・ディスクの問題 79
ハイパーバイザーの問題 80
再現性の低い問題 80
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題 81
メモリーの問題 83
マイクロプロセッサー問題 85
モニターおよびビデオの問題 85
ネットワーク接続の問題 88
オプション装置の問題. 88
電源問題 90
シリアル装置の問題 91
ServerGuide の問題 92
ソフトウェアの問題 93
USB ポートの問題 94
ビデオの問題. 94
電源の問題の解決 94
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 96
未解決問題の解決 97
問題判別のヒント 98
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗). 100
インバンドの手動リカバリー方式. 100
インバンドの自動ブート・リカバリー方式. . . 102
アウト・オブ・バンド方式 103

© Copyright Lenovo 2015

自動ブート・リカバリー (ABR) 103
Nx 回ブート失敗 103

第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード 105
交換可能なサーバー・コンポーネント 105
構成部品 113
電源コード 113

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換 117
取り付けツール. 117
オプション装置の取り付け 117
取り付けのガイドライン. 118
システムの信頼性に関するガイドライン . . . 119
静電気に弱い装置の取り扱い 120
装置またはコンポーネントの返却. 121
コンピュート・ノード構成の更新. 121
シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し 121
シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け . . 122
計算ノードからのストレージ・トレイの取り外し 125
ストレージ・トレイの計算ノードへの取り付け . . 126
計算ノードからのGPU トレイの取り外し 128
GPU トレイの計算ノードへの取り付け. 129
構成部品の取り外しと交換 130
コンピュート・ノード・カバーの取り外し. . . 131
コンピュート・ノード・カバーの取り付け. . . 132
エアー・バッフルの取り外し 134
エアー・バッフルの交換. 135
PCI ライザー・フィラーの取り外し 136
PCI ライザー・フィラーの再取り付け 137
ベゼルの取り外し 138
ベゼルの再取り付け 141
GPU トレイからのフィラーの取り外し. . . . 144
GPU トレイへのフィラーの再取り付け. . . . 145
前面ハンドルの取り外し. 146
前面ハンドルの取り付け. 147
背面ハード・ディスク・ケージの取り外し. . . 148
背面ハード・ディスク・ケージの取り付け. . . 150
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 153
RAID アダプター・バッテリーの取り外し. . . 153
RAID アダプター・バッテリーの再取り付け . . 154
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し 157
RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換 159
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り外し 161
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り付け 163
IMM インターポーザー・アセンブリーの取り外し 166
IMM インターポーザー・アセンブリーの再取り付け 167
GPU トレイからの電源パドル・カードの取り外し 169
GPU トレイへの電源パドル・カードの再取り付け 170
システム・バッテリーの取り外し. 172
システム・バッテリーの交換 174
メモリー・モジュールの取り外し. 175
メモリー・モジュールの取り付け. 177
ハード・ディスク・バックプレートの取り外し 185
ハード・ディスク・バックプレートの取り付け 187
ドライブの取り外しと取り付け 188
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し 201
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け 202
PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し 204
PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け 205
GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し 206
GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け 208
アダプター/GPU アダプターの取り外し . . . 209
アダプター/GPU アダプターの再取り付け. . . 211
SD アダプターの取り外し 214
SD アダプターの交換 215
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し 216
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換 218
USB フラッシュ・ドライブの取り外し. . . . 220
USB フラッシュ・ドライブの取り付け. . . . 221
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 224
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 224
マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換 . . 229
コンピュート・ノードの取り外し. 237
コンピュート・ノードの取り付け. 240
内部ケーブルのルーティングおよびコネクター . . 242
プレーナー・ケーブルを使用したハード・ディスクのケーブル接続 242
ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続 244

付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ 247

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード 481

付録 C. DSA 診断テスト結果 497
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 497
DSA Brocade テスト結果 500
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 503
DSA CPU ストレス・テスト結果. 503
DSA Emulex アダプター・テスト結果 505
DSA EXA ポート ping テスト結果 506
DSA ハード・ディスク・テスト結果 507

DSA Intel ネットワーク・テスト結果 507
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 510
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 510
DSA メモリー分離テスト結果. 511
DSA メモリー・ストレス・テスト結果. 541
DSA Nvidia GPU テスト結果 542
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 544
DSA システム管理テスト結果. 546
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 551

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 555
依頼する前に 555
資料の使用 556
ヘルプおよび情報を WWW から入手する. . . . 556
DSA データの送信方法 556
個別設定したサポート Web ページの作成. . . . 557
ソフトウェアのサービスとサポート 557
ハードウェアのサービスとサポート 557
Taiwan product service 558

特記事項. 559
商標 560
重要事項 560
リサイクル情報. 561
粒子汚染 561
通信規制の注記. 562
電波障害自主規制特記事項 562
Federal Communications Commission (FCC) statement 562
Industry Canada Class A emission compliance statement 563
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada. 563
Australia and New Zealand Class A statement . . 563
European Union EMC Directive conformance statement 563
Germany Class A statement 563
VCCI クラス A 情報技術装置. 564
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示. 565
Korea Communications Commission (KCC) statement 565
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 565
People's Republic of China Class A electronic emission statement 565
Taiwan Class A compliance statement. 566

German Ordinance for Work gloss statement 567

索引 569

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

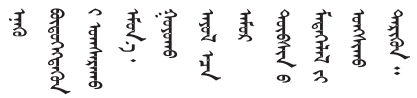
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright Lenovo 2015

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

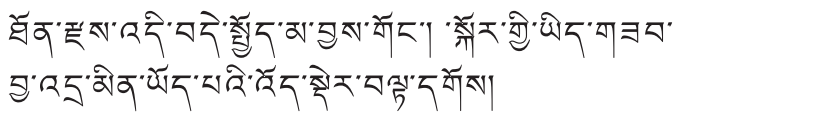
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.



Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員用の指針

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

危険な状態の検査

この情報は、作業対象の装置での潜在的に危険な状態の識別に役立ててください。

各装置には、設計され製造された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクションに記されていない、サポート対象外の改造個所またはサポート対象外の機構やオプション装置の接続によって起こりうる潜在的に危険な状態は、適切な判断によって識別してください。危険な状態を識別した場合、危険の重大度、および製品の作業を進める前に問題を解決する必要があるかどうかを判別してください。

以下の状態とそれがもたらす安全上の問題について考慮してください。

- 電気的な危険。特に、1 次側電源。フレームの 1 次電圧が、重大または 致命的な感電事故の原因になる場合があります。
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

危険な可能性がある製品を検査する場合は、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下のようにして電源コードを検査します。
   - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3 線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
   - 電源コードが正しいタイプのものであることを確認します。
   - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかにサポート対象外の改造個所がないか確認します。サポート対象外の改造個所の安全については、適切な判断を行ってください。
6. システムの内部に、例えば、金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災の兆候や煙による損傷など、すぐに見て取れる危険な状態が存在しないことを確認します。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具 (ねじまたはリベット) が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器を保守するための指針

電気機器の保守を行う際は、次のガイドラインを守ってください。

- 作業域に電気的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを規則的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。

- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性があります。これで通電中の回路に触れると、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1 人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを切り離しておきます。電源コードを抜けない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにしてこの配電盤をオフにロックするように、お客さまに依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。電源が切り離されていることをチェックし確認してください。
- 露出した電気回路を持つ装置で作業する必要がある場合は、以下の予防措置を遵守してください。
  - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらう。
  - 電源がオンになっている電気装置を扱うときは、片手のみを使用します。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
  - テスターを使用する際には、制御機構を正しくセットして、このテスター用に承認されたプローブ・リード線および付属品を使用する。
  - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器のフレームなどのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、送風器、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守はその通常の作動位置以外の場所では行わないでください。
- 電気的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

Important:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きが「Statement 11」となっている場合、「*Safety Information*」資料を見れば、その注意書きに対応した「安全 1」の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加 の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、および モデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2



注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100°C (212°F) 以上に加熱する**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)

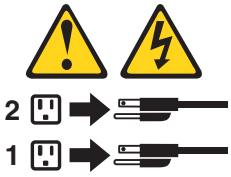


≥ 55 kg (121.2 lb)

安全に関する注記 5



注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:
電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 26



注意:
ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。



安全 27



注意:
近くに動く部品が存在します。



ラック安全情報、安全 2



危険

- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。**

第 1 章 Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード

Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード は、次世代のマイクロプロセッサー・テクノロジーをサポートするために最適化されたスケーラブルな高可用性計算ノードで、中規模および大規模の企業に理想的です。

Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード は、Lenovo NeXtScale n1200 Enclosure でのみサポートされます。

本書は、コンピュート・ノードのセットアップおよびトラブルシューティングに関する以下の情報を説明しています。
- コンピュート・ノードの始動および構成
- オペレーティング・システムのインストール
- 問題の診断
- コンポーネントの取り付け、取り外し、および交換

コンピュート・ノードには、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立つソフトウェア CD が付属しています。

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認するには、 にアクセスしてください。

ご使用のコンピュート・ノードには限定保証が付いています。保証の条件およびサービスと支援の利用については、ご使用のコンピュート・ノードの「*保証情報*」資料を参照してください。

Lenovo *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、Lenovo *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、http://www.ibm.com/systems/x/ から入手できます。 では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

© Copyright Lenovo 2015

このコンピュート・ノードは、コンピュート・ノードに付属した資料に記載されていない機能を備えている場 合があります。資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。コンピュート・ノードの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新が入手できる場合もあります。この製品の最新資料を入手するには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp にアクセスしてください。

ご使用のコンピュート・ノードに関する情報更新を http://www.ibm.com/support/mynotifications/ で購読することができます。

型式番号およびシリアル番号は、コンピュート・ノード前面のベゼル上の ID ラベル、およびコンピュート・ノードが NeXtScale n1200 Enclosureに取り付けられていない場合に確認することができるコンピュート・ノード下部のラベルに記載されています。コンピュート・ノードに RFID タグが付属している場合、RFID タグがコンピュート・ノード前面のベゼル上の ID ラベルを覆っていますが、RFID タグを開いて裏にある ID ラベルを確認することができます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

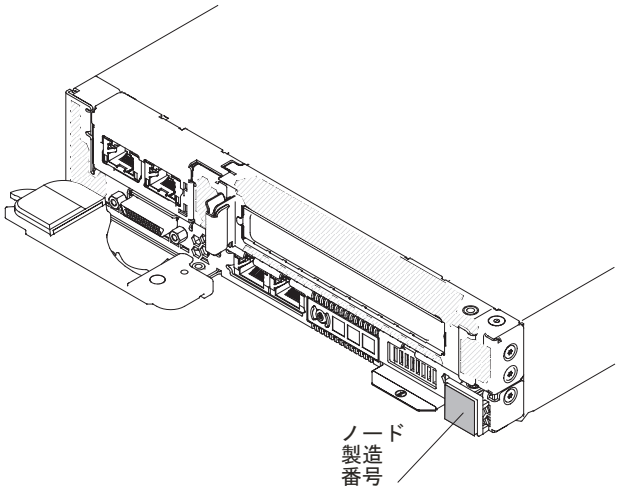


図 1. NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています。



図 2. QR コード

Lenovo Documentation CD

Lenovo *Documentation* CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ Lenovo Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

Lenovo *Documentation* CD のハードウェア要件とソフトウェア要件。

Lenovo *Documentation* CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。以下の操作のいずれかを行って、Documentation Browser を開始できます。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。Documentation Browser は自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入して、**「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」**をクリックします。「名前」フィールドに、

    ```
    e:\win32.bat
    ```

    と入力します。ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。**「OK」**をクリックします。

– Red Hat Linux を使用している場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入し、次のコマンドを /mnt/cdrom ディレクトリーから実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。「**View Book**」をクリックすると、Acrobat Reader または xpdf に、選択した資料が表示されます。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての資料を検索する場合は、「**Search**」フィールドにワードまたはワード・ストリングを入力して、「**Search**」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。

サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *保証情報*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、Lenovo Web サイト上の「Lenovo 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

- *重要事項*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の Lenovo 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Environmental Notices and User Guide*

  この資料は、Lenovo *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *Lenovo 機械コードのご使用条件*

この資料は、Lenovo *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。この資料は、ご使用の製品用の「*Lenovo 機械コードのご使用条件*」の翻訳版です。

- *Licenses and Attributions Document*

  この資料は、Lenovo *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *Safety Information*

  この資料は、Lenovo *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。本書では「注意」と「危険」の注意書きには個々に番号が付いており、この番号を使用して、「*Safety Information*」資料内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

ご使用のサーバーのモデルによっては、Lenovo *Documentation* CD に追加資料が含まれている場合があります。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。ToolsCenter for System x and BladeCenter は http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/ にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。そのような変更は、Lenovo Web サイトから入手可能です。更新を確認するには、 にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、Lenovo *Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの特記事項は、重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- <!--**重要:**-->また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

機能および仕様

コンピュート・ノードの具体的な情報 (コンピュート・ノードのハードウェア機能や寸法など) を確認するには、この情報を使用します。

Notes:

1. 電源、冷却装置、およびシャーシ・システム管理は、NeXtScale n1200 Enclosure シャーシが提供します。
2. コンピュート・ノードのオペレーティング・システムは、コンピュート・ノードが USB メディア・ドライブおよび USB 装置を認識して使用できるように USB をサポートしている必要があります。NeXtScale n1200 Enclosure シャーシは、これらの装置との内部通信に USB を使用します。

以下の情報は、NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード の機能および仕様の要約です。

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- Intel Xeon™ E5-2600 v3 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサーを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み)
- レベル 3 キャッシュ
- 2 つの最大速度 9.6 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク

注:

- サーバーに使用されているマイクロプロセッサーのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティーを使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

メモリー:

- 16 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクター
- タイプ: Low-profile (LP) double-data rate (DDR4) DRAM
- 4 GB、8 GB、16 GB RDIMM、および 32 GB LRDIMM をサポートし、システム・ボード上で最大合計メモリー容量 512 GB をサポート

内蔵機能:

- 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- コンカレント COM/VGA/2x USB (KVM)
- システム・エラー LED
- 2 個のネットワーク・ポート (システム上に 2 個の 1 Gb イーサネット・ポート)
- 最大 1 個のオプション ML2 ネットワーク・アダプターをサポート

- 1 個のオプション・システム管理 RJ-45 (システム管理ネットワークに接続)。このシステム管理コネクターは、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 機能専用です
- (オプション) RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、RAID レベル 6、または RAID レベル 10 のハードウェア RAID をサポート可能
- Wake on LAN (WOL)

ドライブ拡張ベイ (モデルにより異なる):

最大 8 個の 3.5 型 SATA (ストレージ・トレイが取り付けられている場合。ストレージ・トレイに最大 7 個、計算ノードに最大 1 個)、2 個の 2.5 型 SATA/SAS、2 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS (PCIe アダプターが取り付けられていない場合)、または 4 個の 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (6 Gb 信号のみ) をサポートしています。

重要: 原則として、512 バイトの標準ドライブと 4 KB の拡張ドライブを同一の RAID アレイで混用しないでください。このような構成にすると、パフォーマンスの問題が生じる可能性があります。

表 1. : ハード・ディスクのサポートされる組み合わせ

	RAID アダプター	**前面 HDD (ホット・スワップ)**	**背面 HDD (シンプル・スワップ)**		
HDD フォーム・ファクター		2.5 型 x 2	3.5 型 x 1	2.5 型 x 2	1.8 型 x 4
計算ノードでサポートされる HDD 構成	背面 RAID アダプター (x8 背面 RAID ライザー)	V			
			V		
				V	
					V
		V		V	
	オンボード SATA モード (RAID なし)		V		
				V	
					V

アップグレード可能ファームウェア:

すべてのファームウェアは現場アップグレード可能です。

PCI 拡張スロット (モデルにより異なる):

- 計算ノード
  - 前面スロット: PCI Express x16 (PCIe3.0、フルハイト、ハーフサイズ)
  - ML2 スロット: PCI Express x16 (高さ 50 mm のみをサポートします)
  - 背面スロット: PCI Express x8 (PCIe3.0、フルハイト、ハーフサイズ)
- GPU トレイ
  - 2 個の PCI Express x16 スロット (PCIe3.0、フルハイト、フルサイズ)

サイズ:

- 計算ノード
  - 高さ: 41 mm

  - 奥行き: 659 mm
  - 幅: 216 mm
  - 質量見積もり (計算ノード内の LFF HDD に基づく): 6.17 kg (13.6 lb)
- ストレージ・トレイ
  - 高さ: 58.3 mm
  - 奥行き: 659 mm
  - 幅: 216 mm
  - 質量見積もり (ハード・ディスクが 7 個取り付けられている場合): 8.64 kg
- GPU トレイ
  - 高さ: 58.3 mm
  - 奥行き: 659 mm
  - 幅: 216 mm
  - 質量見積もり (GPU アダプターが取り付けられていない場合): 3.33 kg

電源入力:

- 12 V DC

環境:

NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。

サーバー電源オン時[1]

- 温度: 5°C から 40°C <!--(41°F から 104°F)-->、最大 950 m^2
- 湿度 (結露なし): -12°C の露点 <!--(10.4°F)--> および 8% から 85% の相対湿度[3、 4]
- 最大露点: 24°C
- 最大高度: 3,050 m <!--(10,000 ft)-->、5°C から 28°C <!--(41°F から 82°F)-->
- 最大温度変化率: ハード・ディスクに対して 20°C/時 <!--(68°F/時)-->[5]

環境:

サーバー電源オフ時[6]:

- 温度: 5°C から 45°C <!--(41°F から 113°F)-->
- 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 27°C

保管時 (非動作時):

- 温度: 1°C から 60°C <!--(33.8°F から 140.0°F)-->
- 最大高度: 3,050 m
- 相対湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

出荷時 (非動作時):[7]

- 温度: -40°C から 60°C <!--(-40°F から 140.0°F)-->
- 最大高度: 10,700 m
- 相対湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C [8]

サポートされる特定の環境

- プロセッサー E5-2699 v3、E5-2697 v3、E5-2667 v3、E5-2643 v3、E5-2637 v3: 温度: 5°C から 30°C <!--(41°F から 86°F)-->、高度: 0 から 304.8 m <!--(1,000 ft)-->
- GPU Intel 7120P: 温度: 5°C から 30°C <!--(41°F から 86°F)-->、高度: 0 から 304.8 m <!--(1,000 ft)-->
- 背面ハード・ディスクが取り付けられている場合: 温度: 5°C から 30°C <!--(41°F から 86°F)-->、高度: 0 から 304.8 m <!--(1,000 ft)-->

粒子汚染

重要:

- サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、温度: 36°C から 40°C <!--(96.8°F から 104°F)--> まで対応の設計:
  - 性能低下を許容できないワークロードなどのクラウドをサポート (Turbo-Off)
  - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。
  - 最悪のケースのワークロード (Linpack、turbo-on など) では、性能低下が発生する場合があります。
- 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、コンピュート・ノードにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、561 ページの『粒子汚染』を参照してください。

Notes:

1. シャーシの電源がオンになっています。
2. A3 - 950 m より上では、最大許容温度が 175 m 当たり 1°C 低下します。
3. クラス A3 の最小湿度レベルは、-12°C 露点と 8% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (25°C) より下では、露点 (-12°C) が最小湿気レベルを表します。交点より上では相対湿度 (8%) が最小湿気レベルとなります。
4. 0.5°C DP より低く、かつ -10°C DP または相対湿度 8% を下回らない湿度レベルは、データ・センター内の人員と機器における静電気の発生を抑えるために、適切な制御手段が実装されている場合にのみ受け入れられます。適切な静電気制御システムを介して、すべての人員と可動の備品および機器を接地する必要があります。最小要件としては、次の項目が考えられます。
   a. 導電性のある材料 (導電性のある床、データ・センターに立ち入る全員の導電性のある履き物、モバイル設備と機器はすべて、導電性または静電気拡散性のある材料で作られています)。
   b. ハードウェアの保守時に、IT 機器に接触するすべての人員が、正しく機能するリスト・ストラップを着用する必要があります。
5. テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 5°C、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 20°C。
6. シャーシがオリジナルの配送用コンテナーから取り出され、設置済みだが、使用されていない状態 (例えば、修理、保守、またはアップグレード時)。

7. 機器の順応期間は、配送環境から稼働環境への温度変化が 20°C ごとに 1 時間です。
8. 結露 (雨ではなく) は問題ない。
9. 1 個のレガシー VGA デバイスと 2 個以上の NVIDIA GRID K1 カードまたは 4 個以上の NVIDIA GRID K2 カードを使用して、Windows Server 2012 または Windows Server 2012 R2 をブートする場合、1 個の NVIDIA GPU が使用できません。Windows のデバイス・マネージャーで GPU の表示に黄色い感嘆符が付き、デバイスの状態には*問題が発生したのでこのデバイスは停止しました。(コード 43)* と表示されます。残りの 7 個の GPU は正常に機能します。
10. NVIDIA Grid K2 カードは特に、NeXtScale の 8 ピンと 6 ピンの両方の補助電源ケーブルではなく、1 個の 8 ピン補助電源ケーブルのみを使用する必要があります。
11. IMM では、これらのシンプル・スワップ・ディスクまたはエージェントレス機能をサポートする LSI RAID カードに接続されていないディクスを検出することができません。これらのディスクのヘルス状況は使用できません。IMM インターフェースはこれらのディスクをリストしません。IMM によって検出できるディスクが他にない場合は、IMM System Status ページで、ローカル・ストレージが *Unavailable* と表示されます。
12. n1200 Enclosure 内での nx360 M4 計算ノード Type 5455 と nx360 M5 計算ノード Type 5465 の混在はサポートされていません。

ご使用のコンピュート・ノードの機能

ご使用のコンピュート・ノードは、統合管理モジュール II、ハード・ディスクのサポート、システム管理のサポート、マイクロプロセッサー・テクノロジー、内蔵ネットワークのサポート、I/O 拡張、大容量システム・メモリー、Light Path 診断 LED、PCI Express®、および電力スロットルなどの機能を提供します。

- **Features on Demand**

  Features on Demand 機能がコンピュート・ノードまたはコンピュート・ノードに取り付けられたオプション・デバイスに組み込まれている場合、アクティベーション・キーを購入してその機能をアクティブにすることができます。Features on Demand について詳しくは、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ を参照してください。

- **フレキシブルなネットワーク・サポート**

  コンピュート・ノードは、以下のフレキシブルなネットワーク機能を備えています。

  – **内蔵イーサネットを備えたモデル**

    このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵デュアル・ポート Intel Gigabit Ethernet コントローラーが組み込まれています。

- **ハード・ディスク・サポート**

  計算ノードは、最大 1 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA、2 個の 2.5 型ホット・スワップ SATA/SAS、2 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA/SAS、また

は 4 個の 1.8 型シンプル・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。ハードウェア RAID を使用して、ドライブに RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 6、または RAID 10 を実装することができます。さらに、一部の構成では、2 個のオプションの 2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・ベイを使用できます。

- **Lenovo *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア装置を検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。*ServerGuide Setup and Installation* CD について詳しくは、30 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1)**

  統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
  – 共通情報モデル (CIM)
  – Web ブラウザー

  追加情報については、43 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「*Integrated Management Module 2.1 User's Guide*」() を参照してください。

- **大容量のシステム・メモリー**

  コンピュート・ノードは、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。メモリー・コントローラーは、システム・ボード上のロー・プロファイル (LP) DIMM で最大 16 個の業界標準 registered ECC DDR4 をサポートします。サポートされる DIMM の最新のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断は、 問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照してください。

- **マイクロプロセッサー・テクノロジー**

コンピュート・ノードは、最大 2 個のマルチコア Intel Xeon マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーとその部品番号の詳細については、「http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/」を参照してください。

注: Lenovo がサポートするオプションのマイクロプロセッサーは、コンピュート・ノードの容量および機能によって制限されています。取り付けるマイクロプロセッサーはすべて、コンピュート・ノードに搭載されたマイクロプロセッサーと同じ仕様でなければなりません。

- **Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、 1 ページの『第 1 章 Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード』 を参照してください。

- **PCI Express**

  PCI Express は、チップ間相互接続および拡張アダプター相互接続に使用されるシリアル・インターフェースです。オプションの I/O デバイスおよびストレージ・デバイスを追加することができます。

  オプションの拡張ノードは、ユーザーがコンピュート・ノードの機能の増加およびカスタマイズを行うコスト効率の良い方法を提供するために使用可能です。拡張ノードは、業界標準の PCI Express、ネットワーク、ストレージ、およびグラフィックス・アダプターを幅広くサポートします。追加情報については、を参照してください。

- **Power® スロットル**

  電源ドメインのリソース負荷分散 (すべての電源リソースを使用) という電源ポリシーを実行することにより、NeXtScale n1200 Enclosureは 12 個のパワー・サプライ間で電源負荷を分配し、NeXtScale n1200 Enclosure内の各デバイスに対して十分な電力を確実に供給できます。このポリシーは、NeXtScale n1200 Enclosure に最初に電源が供給された時、あるいは NeXtScale n1200 Enclosureにコンピュート・ノードが挿入されたときに実行されます。

  この方式には、以下の設定を使用できます。

  – 基本的な電源管理
  – 電源モジュールの冗長性
  – 電源モジュールの冗長性 (計算ノードのスロットルを許可する場合)

信頼性、可用性、保守容易性の機能

コンピュート・ノードの設計上で最も重要な 3 つの要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。これらの RAS 機能は、コンピュート・ノードに保管されたデータの保全性、必要時のコンピュート・ノードの可用性、問題の診断および修正の容易性を保証するために役立ちます。

コンピュート・ノードには、以下の RAS 機能があります。

- 拡張構成および電源インターフェース (ACPI)
- 自動サーバー再始動 (ASR)
- DSA Preboot を使用した組み込み診断
- 温度、電圧、およびハード・ディスクの組み込みモニター機能
- 週 7 日、毎日 24 時間のカスタマー・サポート・センター[1]
- お客さまによる Flash ROM 常駐コードのアップグレードおよび診断
- カスタマー・アップグレード対応の Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) コードと診断
- ECC 保護された DDR4 DIMM
- L2 キャッシュの ECC 保護
- エラー・コードとメッセージ
- 統合管理モジュール II (IMM2)
- Light Path 診断
- メモリー・パリティー・テスト
- パワーオン・セルフテスト (POST) 中に実行されるマイクロプロセッサーのビルトイン・セルフテスト (BIST)
- マイクロプロセッサーのシリアル番号アクセス
- プロセッサー存在検出
- ROM 常駐診断
- システム・エラー・ログ
- メモリー上の重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能
- Wake on PCI (PME) 機能

コンピュート・ノードの主要コンポーネント

コンピュート・ノードの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、コンピュート・ノードの主要コンポーネントを示しています。

1. サービスの可用性は、国ごとに異なります。対応時間は、着信の数量と内容により異なります。

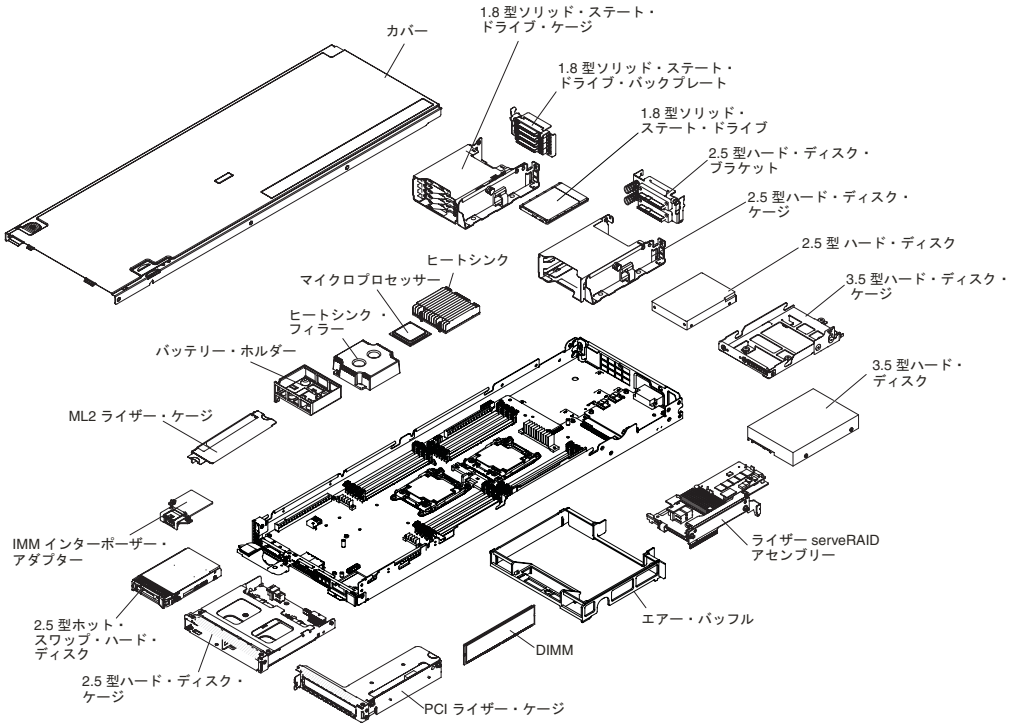


図 3. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネント

ストレージ・トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

ストレージ・トレイは、計算ノードの上部に取り付けられます。各ストレージ・トレイは、最大 8 個の 3.5 型 LFF SATA ハード・ディスクをサポートします (1 個は計算ノードに取り付け)。

ServeRAID アダプターは、計算ノード から PCIe インターフェースを介して接続することができ、RAID レベル 0、RAID レベル 1、RAID レベル 5、または RAID レベル 10 をサポートします。

次の図は、ストレージ・トレイの主要コンポーネントを示しています。

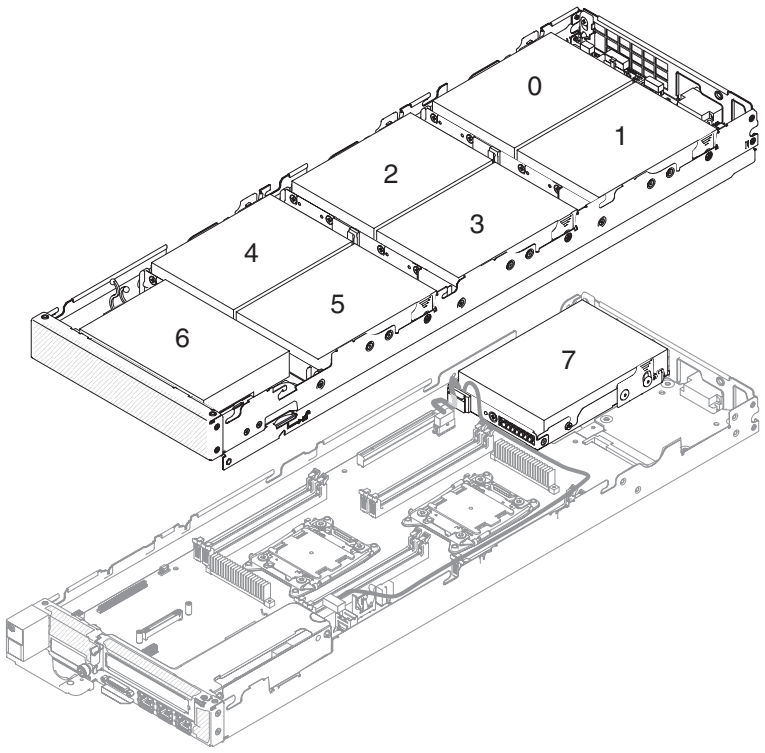


図 4. ストレージ・トレイの主要コンポーネント

GPU トレイの主要コンポーネント

GPU トレイの主要コンポーネントの位置を確認するには、この情報を使用します。

GPU トレイは、計算ノードの上部に取り付けられます。GPU トレイは、2 台までのグラフィックス処理装置 (GPU) エンクロージャー (フルハイト、フルサイズ) をサポートします。

次の図は、GPU トレイの主要コンポーネントを示しています。

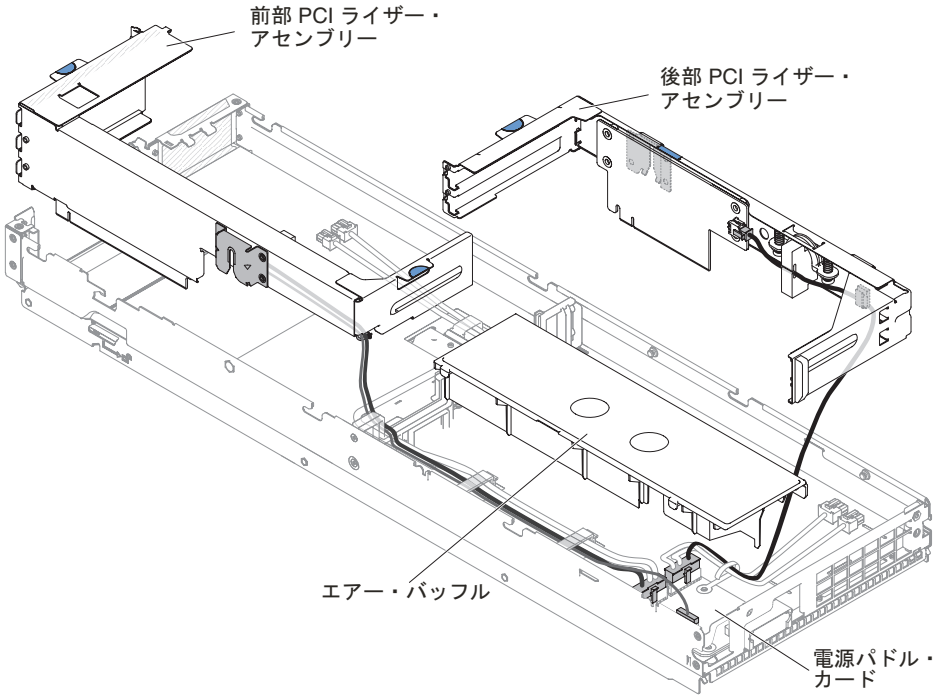


図 5. GPU トレイの主要コンポーネント

電源、コントロール、およびインディケーター

以下の情報を使用して、電源機構の確認、コンピュート・ノードの電源オン/オフ、およびコントロールとインディケーターの機能の確認を行います。

コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED

コントロール、コネクター、および LED の詳細については、以下の情報を使用します。

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクター、および LED を示しています (2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・アセンブリーを取り付けた状態)。

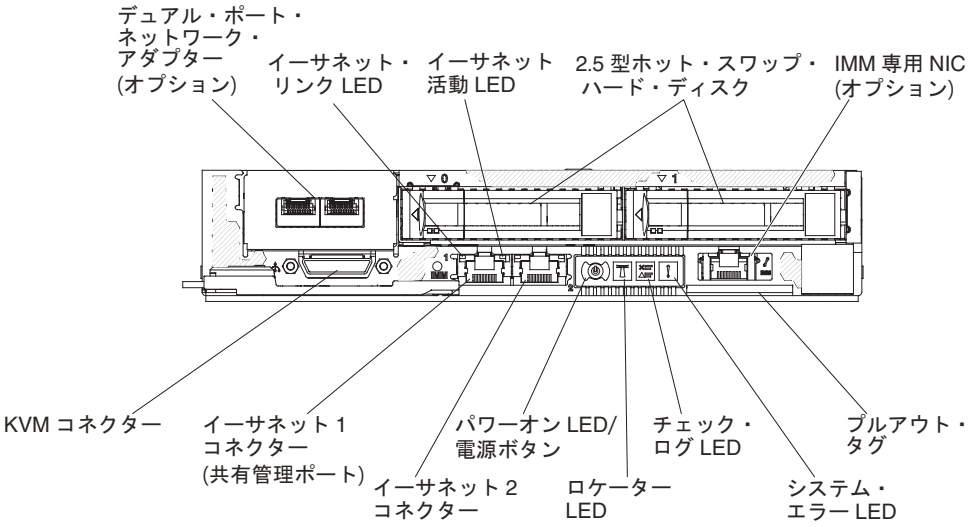


図 6. コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタン、コネクター、および LED

次の図は、コントロール・パネル上のボタン、コネクター、および LED を示しています (フルハイト PCIe アダプター・アセンブリーを取り付けた状態)。

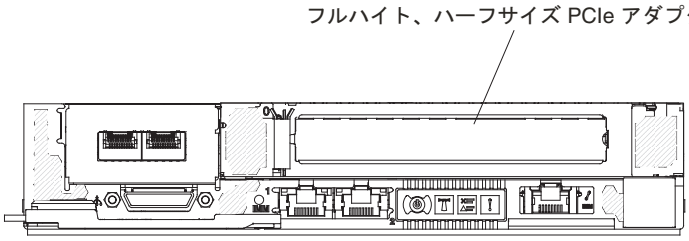


図 7. コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタン、コネクター、および LED

電源ボタン/LED

コンピュート・ノードが NeXtScale n1200 Enclosure経由で電源に接続されている場合、コンピュート・ノードの電源をオン/オフするには、このボタンを押します。

このボタンは電源 LED でもあります。この緑色の LED は、コンピュート・ノードの電源状況を次のように示します。

- **高速で点滅**: 以下の理由により、LED は高速で点滅します。
  - コンピュート・ノードがシャーシに取り付けられました。計算ノードを取り付けると、計算ノード内の統合管理モジュール (IMM2.1) が初期化を行っている間 (最大 90 秒間)、LED が高速で点滅します。
  - NeXtScale n1200 Enclosureに、コンピュート・ノードの電源をオンにするための十分な電力がありません。
  - コンピュート・ノード内の IMM2.1 が、シャーシ・マネージメント・モジュールと通信していません。
- **低速で点滅**: コンピュート・ノードは NeXtScale n1200 Enclosureを介して電源に接続されており、電源をオンにする準備ができています。
- **継続的に点灯**: コンピュート・ノードは NeXtScale n1200 Enclosureを介して電源に接続されており、電源がオンにされています。

コンピュート・ノードの電源がオンの場合、このボタンを押すとコンピュート・ノードが正常シャットダウンされ、シャーシから安全に取り外すことができるようになります。この動作には、オペレーティング・システムのシャットダウン (可能な場合) およびコンピュート・ノードからの電源の切り離しが含まれます。

オペレーティング・システムが稼働している場合、シャットダウンを開始するには約 4 秒間ボタンを押す必要があります。

重要: このボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

ロケーター LED

この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。Lenovo Systems Director または IMM Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。

チェック・ログ LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。追加情報がないか、 70 ページの『イベント・ログ』を確認してください。

システム・エラー LED

この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。システム・ボード上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。この LED は IMM によって制御されます。

KVM コネクター

このコネクターには、コンソール・ブレークアウト・ケーブルを接続します (詳しくは、 19 ページの『コンソール・ブレークアウト・ケーブル』を参照)。

注: ベスト・プラクティスとして、コンソール・ブレークアウト・ケーブルは、各 NeXtScale n1200 Enclosure 内で一度に 1 つのコンピュート・ノードのみに接続することが推奨されます。

イーサネット・コネクター

これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。Setup ユーティリティーで IMM2.1 用の共有イーサネットを使用可能にすると、イーサネット 1 またはシステム管理イーサネット (デフォルト) コネクターを使用して IMM2.1 にアクセスすることができます。詳しくは、『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

イーサネット・リンク活動/状況 LED

これらの LED のいずれかが点灯する場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されているイーサネット LAN にサーバーが信号を送信、またはその LAN から信号を受信していることを示しています。

管理 コネクター

サーバーをネットワークに接続して、完全なシステム管理情報を制御すると

きにこのコネクターを使用します。このコネクターは、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 専用です。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

コンソール・ブレークアウト・ケーブル

コンソール・ブレークアウト・ケーブルについて詳しくは、この情報を参照してください。

コンソール・ブレークアウト・ケーブルを使用して、外部の入出力装置をコンピュート・ノードに接続します。コンソール・ブレークアウト・ケーブルは、KVM コネクターを介して接続します (16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。コンソール・ブレークアウト・ケーブルには、ディスプレイ装置 (ビデオ) 用のコネクター、USB キーボードおよびマウス用の 2 つの USB コネクター、およびシリアル・インターフェース・コネクターがあります。

次の図は、コンソール・ブレークアウト・ケーブルのコネクターおよびコンポーネントを示しています。

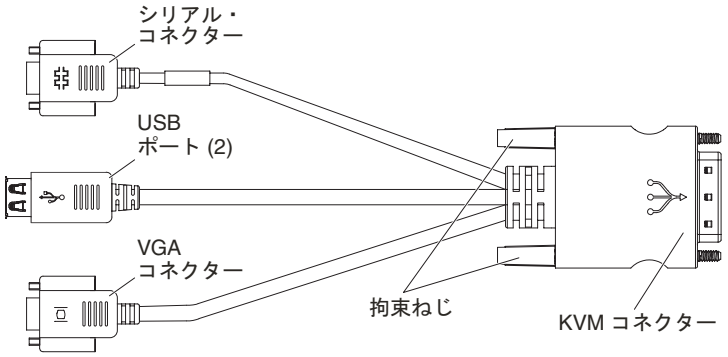


図 8. コンソール・ブレークアウト・ケーブル

注: KVM ケーブルを取り付ける際は、プルアウト・タグを慎重に少し押し下げて、KVM ケーブルの邪魔にならないようにします。

コンピュート・ノードの電源オン

コンピュート・ノードの電源をオンにする詳細については、以下の情報を使用します。

このタスクについて

コンピュート・ノードは、NeXtScale n1200 Enclosureを介して電源に接続した後、以下のいずれかの方法で始動することができます。

- コンピュート・ノード前面の電源ボタンを押し (16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)、コンピュート・ノー

ドを始動することができます。電源ボタンは、コンピュート・ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ機能します。

Notes:

1. コンピュート・ノードの電源 LED が低速で点滅するまで待ち、電源ボタンを押します。コンピュート・ノードの IMM2 が初期化およびシャーシ・マネージメント・モジュールとの同期を行っている間は、電源 LED が高速で点滅し、コンピュート・ノードの電源ボタンは応答しません。このプロセスには、コンピュート・ノードが取り付けられてから約 90 秒間かかる場合があります。
2. コンピュート・ノードの始動中は、コンピュート・ノード前面の電源 LED は点灯しています (点滅ではありません)。電源 LED の状態については、16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照してください。

- Wake on LAN 機能を使用してコンピュート・ノードの電源をオンにすることができます。コンピュート・ノードは電源に接続されていて (電源 LED は低速で点滅します)、シャーシ・マネージメント・モジュールと通信する必要があります。オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしていて、Wake on LAN 機能がシャーシ・マネージメント・モジュールの Web インターフェースから使用可能にされている必要があります。

コンピュート・ノードの電源をオフにする

コンピュート・ノードの電源をオフにする詳細については、以下の情報を使用します。

このタスクについて

コンピュート・ノードは、電源をオフにしても NeXtScale n1200 Enclosureを介して電源に接続されています。コンピュート・ノードは、IMM2 からの要求 (コンピュート・ノードの電源をオンにするリモート要求など) に応答することができます。コンピュート・ノードからすべての電力を切り離すには、コンピュート・ノードを NeXtScale n1200 Enclosureから取り外す必要があります。

コンピュート・ノードの電源をオフにする前に、オペレーティング・システムをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

次のいずれかの方法で、コンピュート・ノードの電源をオフにすることができます。

- コンピュート・ノードの電源ボタンを押します (16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。これにより、オペレーティング・システムの正常シャットダウンが開始されます (この機能がオペレーティング・システムで サポートされている場合)。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとコンピュート・ノードの電源をオフにできます。

  重要: 電源ボタンを 4 秒間押すと、オペレーティング・システムは即時に強制シャットダウンされます。データ損失の可能性があります。

システム・ボードのレイアウト

システム・ボード上のコネクター、LED、ジャンパー、およびスイッチの位置を確認するには、この情報を使用します。

システム・ボードの内部コネクター

以下の図は、システム・ボード上の内部コネクターを示しています。

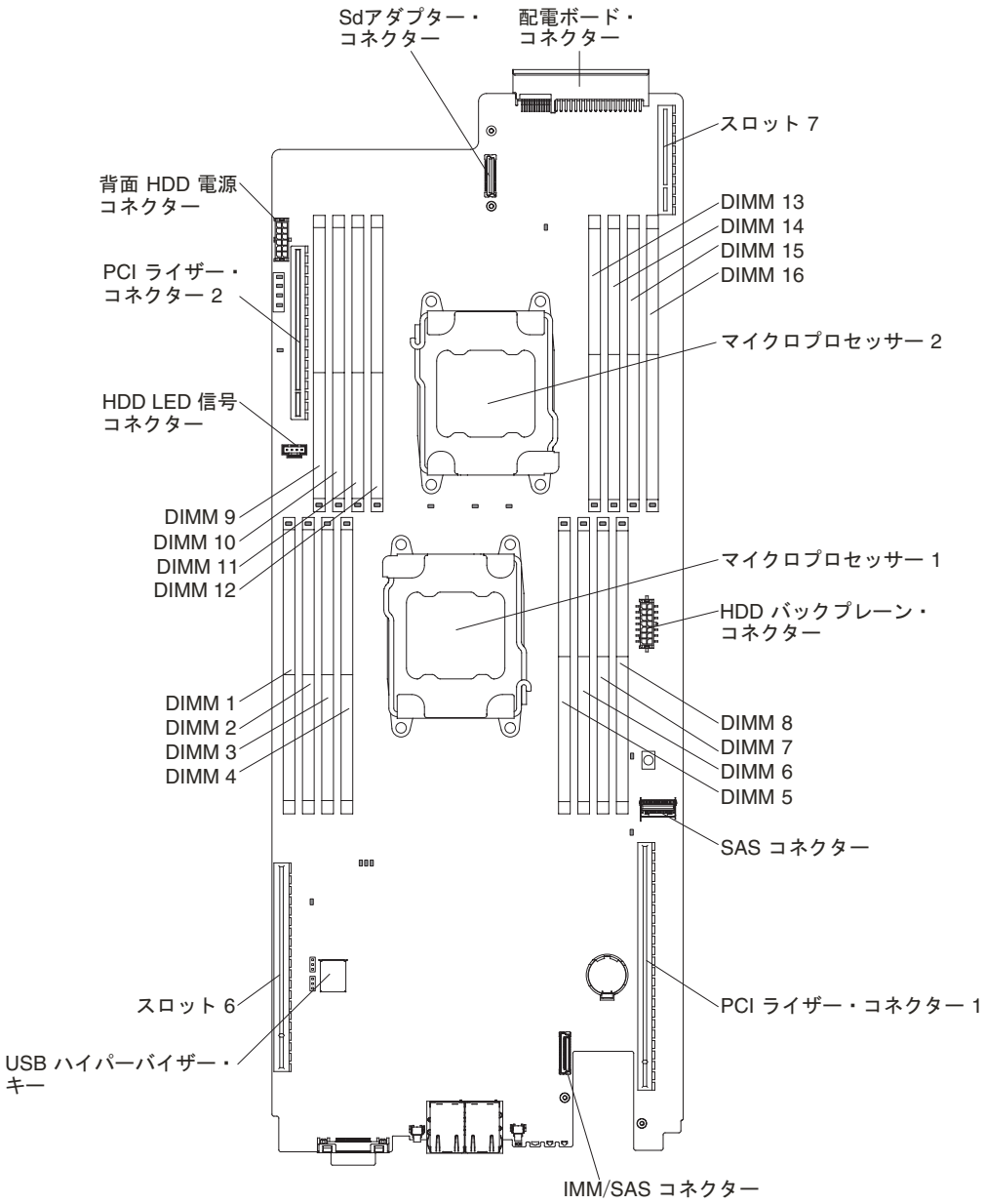


図 9. システム・ボード上の内部コネクター

システム・ボードの外部コネクター

次の図に、システム・ボード上の外部コネクターを示します。

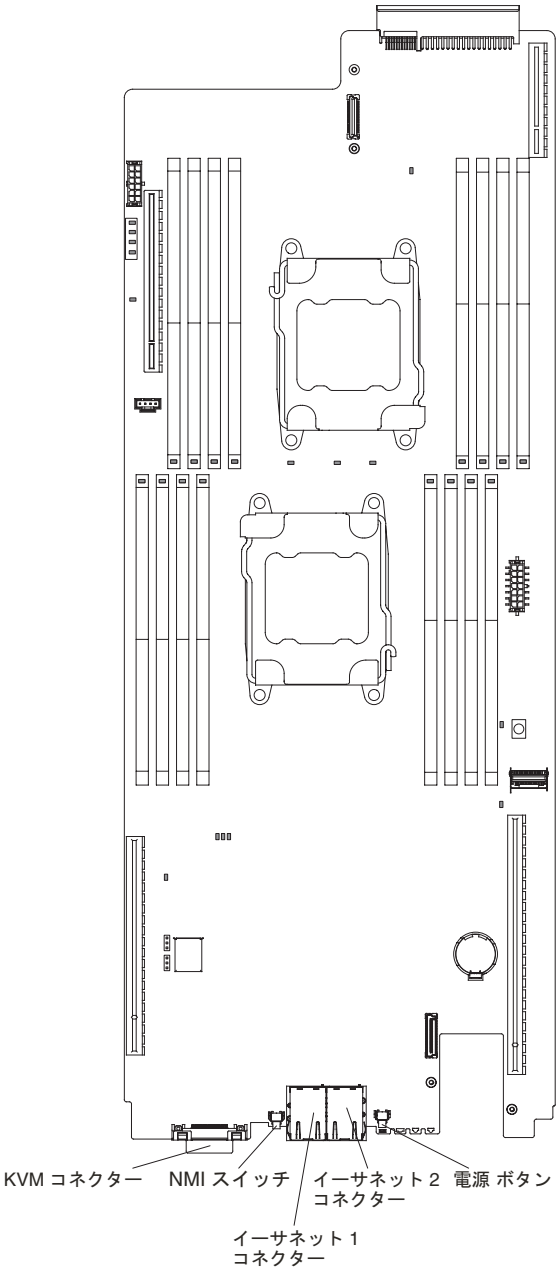


図 10. システム・ボード上の外部コネクター

システム・ボードのスイッチとジャンパー

以下の図で スイッチとジャンパーについての位置と説明を示します。

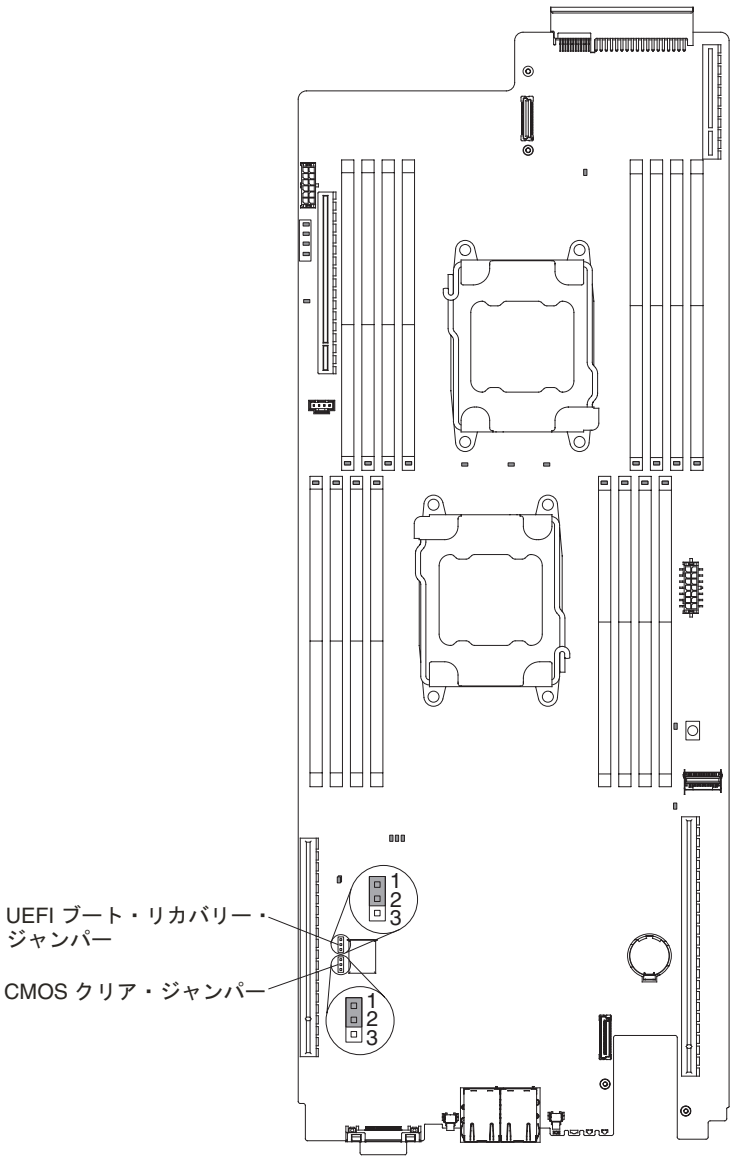


図 11. スイッチおよびジャンパーの位置と説明

注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

注:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにしてください。 vii ページの『安全について』、 118 ページの『取り付けのガイドライン』、 120 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 20 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. システム・ボードのジャンパー

ジャンパー名	ジャンパーの設定
CMOS クリア・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 • ピン 2 と 3: リアルタイム・クロック (RTC) レジストリーをクリアします。
UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー	• ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。プライマリー・ページからブートします。 • ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) ページからブートします。
Notes: 1. ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。 2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。	

システム・ボードの LED およびコントロール

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

問題を切り分けるために、システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後にエラー LED を点灯させることができます。システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後、最大 90 秒間は電力が残り、これらの LED を使用することができます。エラー LED を確認するには、システム・ボード上の Light Path ボタンを押したままにして、エラー LED を点灯します。システム・ボード・トレイの稼働中に点灯したエラー LED が、このボタンを押している間、再度点灯します。

次の図は、システム・ボード上の LED およびコントロールを示しています。

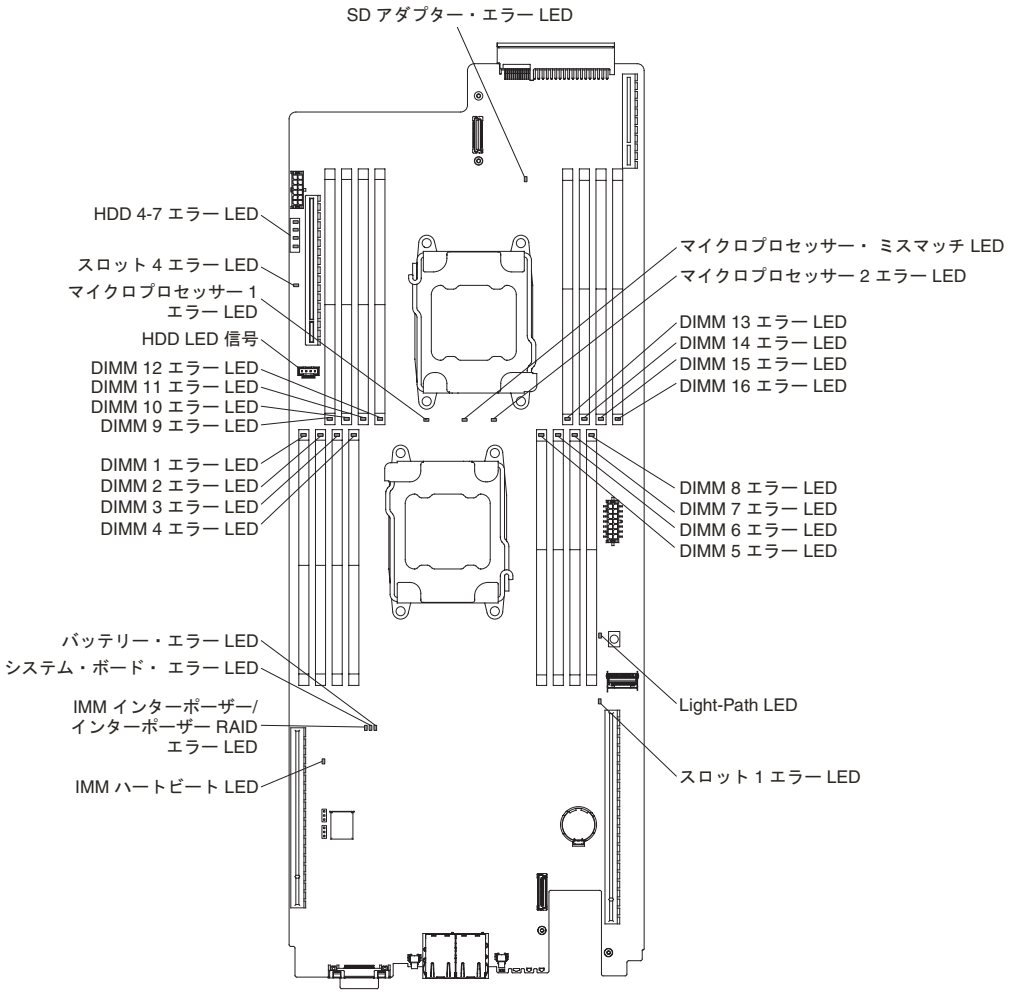


図 12. システム・ボード上の LED およびコントロール

第 2 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、以下の情報を使用します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

© Copyright Lenovo 2015

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  Setup ユーティリティーは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティーを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

- **ブート・マネージャー・プログラム**

  Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用については、41 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **Lenovo *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、30 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **Lenovo FastSetup**

Lenovo FastSetup は、選択された Lenovo BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスカバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせずにすむ機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-FASTSETを参照してください。

- **統合管理モジュール**

  統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、43 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module 2.1 User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、47 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャ

ー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、 44 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラーの構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 48 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

  このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、 48 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Lenovo Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用については、 49 ページの『Lenovo Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 49 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。
- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバーの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムの機能は次のとおりです。
- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーの検出、および SAS/SATA RAID 構成プログラムの実行
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) のレベルの確認、および、もっと新しいレベルが CD から入手可能かどうかの判別
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバーの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスケット不要のインストールの提供。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成には、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。この CD を使用して、サポートされている Lenovo サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注: ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。このセクションでは、標準的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク・コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバーがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハード・ディスクに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するようにプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、 からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去

- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「**<F1> Setup**」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティー・メニューが限定されます。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **システム情報**

  サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

  – **Product Data**

    システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

  – **デバイスおよび I/O ポート**

    この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光ディスク・ドライブ・チャネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

  – **Power**

    消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **動作モード**

    オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

  – **Legacy Support**

    この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

    注: Microsoft Windows Server 2012 および Microsoft Windows Server 2012 R2 では、レガシー・モードはサポートされていません。

    - **Force Legacy Video on Boot**

      この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

    - **Rehook INT 19h**

      装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

    - **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Infinite Boot Retry**

  UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

- **BBS Boot**

  BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

– **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

– **統合管理モジュール**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Power Restore Policy**

  電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

- **Commands on USB Interface**

  この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

  この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。固定 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。固定 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

  IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

  IMM をリセットするには、この項目を選択します。

– **リカバリー**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

  POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Attempts Limit**

  Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

  システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **POST Watchdog Timer**

    この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

  - **POST Watchdog Timer Value**

    この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

  - **Reboot System on NMI**

    この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。**Enable** (使用可能) がデフォルトです。

  - **Halt on Severe Error**

    重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

- **Storage**

  この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

- **Network**

  この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

- **Drive Health**

  サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **日付と時刻**

  この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時:分:秒*) で設定します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

  この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

  この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

  POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

  システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

  重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

  – **POST Event Viewer**

    この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

  – **System Event Log**

    この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

  – **Clear System Event Log**

    この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

- **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、39 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、39 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティーの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、41 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、41 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

- **Restore Settings**

  この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。<!--をリストアします。-->

- **Load Default Settings**

  変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

  この選択項目を選択し、Setup ユーティリティーを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」メニュー選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティーのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティーの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。

  重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- 始動パスワードのスイッチの位置を変更して (システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 3 を使用可能にする)、パスワード検査をバイパスします (詳しくは、22 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』 を参照)。

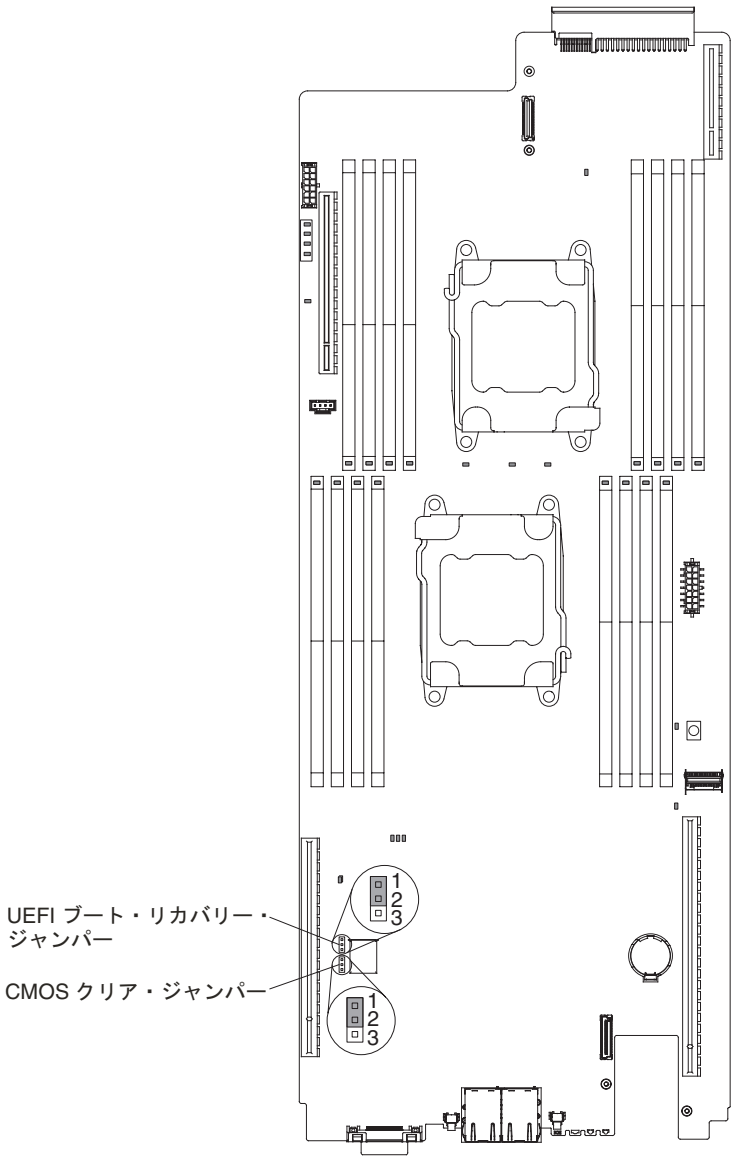


図 13. 始動パスワード・スイッチ

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW3 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、 スイッチ・ブロック (SW3) のスイッチ 4 を「オン」位置に移動して、 始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティーを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには 影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

Boot Manager にはこの情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

注: すべての Intel Xeon™ E5-2600 v3 システムのセキュア・ブート、エージェントレス・サポートは、ServerProven プラン・オプションに関係なく、ファームウェア/ドライバーに依存します (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照)。

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. プロンプト「<F12> Select Boot Device」が表示されたら、F12 を押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・フ

ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を変更し (SW4 のスイッチ 1 を on の位置に変更)、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされた後、サーバーの電源をオフにします。次に、UEFI ブート・バックアップ・スイッチの位置を元に戻します (SW4 のスイッチ 1 を off の位置に変更します)。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

UEFI のデフォルトをロードした後の電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値への変更

電源ポリシー・オプションのデフォルトの設定値は IMM2 によって設定されます。

このタスクについて

電源ポリシー・オプションをデフォルトの設定値に変更するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 20 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティー・メニューが限定されます。
3. 「**System Settings**」 > 「**Integrated Management Module**」を選択してから、「**Power Restore Policy**」の設定を「Restore」に設定します。
4. 「**System Configuration and Boot Management**」 > 「**Save Settings**」に戻ります。
5. 戻って、「**Power Policy**」の設定値をチェックし、これが「Restore」(デフォルト) に設定されていることを確認します。

次のタスク

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサー、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新

- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティー・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

  リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実行することができます。標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれでも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) に組み込まれた機能です。

注: リモート・プレゼンス機能 (リモート制御) は Features on Demand アップグレードであり、すべての nx360 M5 構成で使用できるわけではありません。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。

- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は 『IMM-』 (IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加) です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に 『FF』 と 『FE』 を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。)始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメイン・メニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。
   「**Address**」または「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。
2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSW0RD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ 『Booting OS or in unsupported OS』 が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は 『OS booted』 状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き Lenovo USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクターに取り付けることができます (これらのコネクターの位置については、242 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。
3. Setup ユーティリティーのメイン・メニューから「**Boot Manager**」を選択します。

4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス (+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「*VMware vSphere Installation and Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバーおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、 にアクセスしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand RAID ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*Lenovo Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

RAID アレイを構成するには、Setup ユーティリティーを使用します。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティーにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティー・メニューが限定されます。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

Lenovo Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

Lenovo Advanced Settings ユーティリティー (Advanced Settings Utility: ASU) プログラムは、UEFI 設定を変更するために Setup ユーティリティーの代わりに使用できるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2.1 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

Lenovo Systems Director の更新

以下の情報を使用して、Lenovo Systems Director を更新します。

このタスクについて

サーバーの管理に Lenovo Systems Director を使用する予定がある場合は、Lenovo Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの Lenovo Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. Lenovo Systems Director の最新バージョンを確認します。
   a. http://www-03.ibm.com/systems/software/director/resources.html に進みます。
   b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの Lenovo Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. Lenovo Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. Lenovo Systems Director の Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**View updates**」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「Install」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**Lenovo Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**Lenovo Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから、最新バージョンを選択し、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーから、Lenovo Systems Director の Web インターフェースのウェルカム・ページで「**Manage**」タブをクリックし、「**Update Manager**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。ASU は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. に進みます。
   b. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - *Lenovo_rndis_server_os.inf*
     - *device.cat*
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - *cdc_interface.sh*
4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。`asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]`

   ここで、

   <uuid_value>
   ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     `[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]`

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

     注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.`

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>`

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。「ASU Users Guide」には Lenovo Web サイトからアクセスできます。

  注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

  a. に進みます。
  b. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYs`

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**Lenovo ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。Lenovo Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. に進みます。
   b. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
  - *Lenovo_rndis_server_os.inf*
  - *device.cat*
- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
  - *cdc_interface.sh*

4. ASU をインストールした後、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

   ```
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method] asu set SYSTEM_P
   ```

   ここで、

   <m/t_model>
   サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。`mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

   <s/n> サーバーのシリアル番号。`sn zzzzzzz` と入力します。 ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

   <asset_method>
   サーバーの資産タグ番号。`asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     ```
     [host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
     ```

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM `account` (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

     注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

     以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

     ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.`

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

  注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

  a. に進みます。
  b. パネルの上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。
- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

  ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.Sys`
- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

  imm_external_ip
  外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

  imm_user_id
  IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

  imm_password
  IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

  以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例: `asu set SYSTEM_PROD_DATA.`

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**Lenovo ToolsCenter**」ページをスクロールダウンし、該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 3 章 トラブルシューティング

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用して問題の診断および修正ができない場合は、 555 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』で詳細を確認してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

Lenovo または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED:** Light Path 診断 LED の使用については、「Lenovo NeXtScale n1200 Enclosure Type 5456 インストールとサービスのガイド」の**『ファンと電源機構のコントローラーのインディケーター、コントロール、およびコネクター』**を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、 70 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

© Copyright Lenovo 2015

- **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。Lenovo または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適したブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 27 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC を参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

1) **既存のコード・レベルを判別します。**

   DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

   ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
   http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスしてください。

   更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。Lenovo または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、62 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、27 ページの『第 2 章 構成情報と説明』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは Lenovo ソフトウェアやデバイスに関する問題については、 にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、 にアクセスしてください。
8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、 78 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、Lenovo または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

Lenovo は、サポート Web サイトを継続的に更新して、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法を掲載しています。

Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード サーバーで使用可能な Service Bulletin を見つけるには、 にアクセスして `Type 5465`、および `retain` で検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』 ページから始まる『安全について』をお読みください。
- Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  Exception: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサー問題の診断については、 85 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  Important: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。『クイック』 テストや 『通常』 テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。
- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 481 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、 78 ページの『症状別トラブルシューティング』および 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、 94 ページの『電源の問題の解決』、 90 ページの『電源問題』、および 67 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。

- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 70 ページの『イベント・ログ』および 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。ステップ 2 に進みます。
2. 以下のステップを実行します。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (67 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内蔵装置および外付け装置の互換性を http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ でチェックします。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、 78 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (16 ページの『コンピュート・ノードのコントロール、コネクター、および LED』を参照)。
   i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
      - POST の正常終了 (詳しくは、 73 ページの『POST』を参照)
      - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
   - **いいえ:** 78 ページの『症状別トラブルシューティング』で障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
   - **はい:** DSA を実行します (75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
     – DSA がエラーを報告する場合は、 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。

– DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールについて説明しています。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2.1、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、 70 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール 2.1**

  統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  – 共通情報モデル (CIM)
  – Web ブラウザー

  統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) についての詳細は、 43 ページの『統合管理モジュールの使用』、 247 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module 2.1 User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **Lenovo Dynamic System Analysis**

  問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

  – DSA Portable

    DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

    - ドライブのヘルス情報

- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- IMM 構成情報
- IMM 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo サポートに送信する (Lenovo サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料とダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/management/ を参照してください。

追加情報については、 74 ページの『Lenovo Dynamic System Analysis』とDSA メッセージを参照してください。

– DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- IMM2 構成情報
- IMM2 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- LCD システム情報表示パネルのステータス
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報

- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Broadcom ネットワーク・アダプター
2. Emulex ネットワーク・アダプター
3. FusionIO ストレージ
4. IMM I2C バス
5. LCD システム情報表示パネル
6. Intel GPU
7. LSI コントローラー
8. メモリー・モジュール
9. マイクロプロセッサー
10. Nvidia GPU
11. 光ディスク装置 (CD または DVD)
12. SAS または SATA ドライブ

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、 75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

- **症状別トラブルシューティング**

  これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、 78 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。

パワー・サプライ LED

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 4 つ
- PCI コネクター 1 に 1 個の PCI ライザー・カード・アセンブリー

AC パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、AC パワー・サプライ LED を確認します。

パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

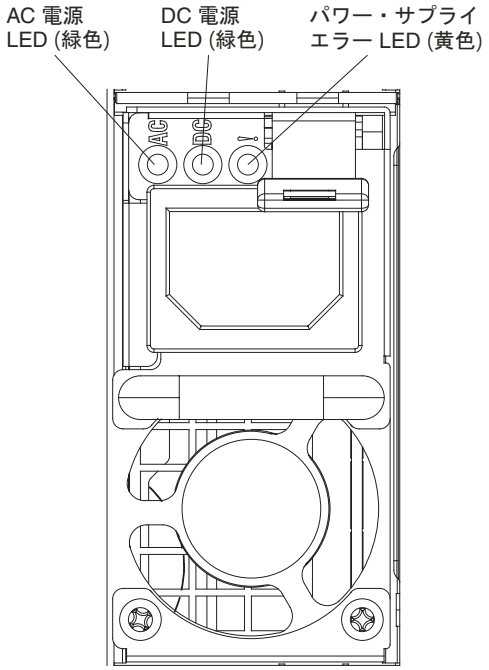


図 14. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	アクション	注
AC	**DC**	**エラー (!)**			
オン	オン	オフ	正常動作。		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 給電部の問題。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。

AC パワー・サプライ LED			説明	アクション	注
AC	DC	エラー (!)			
オフ	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オフ	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サプライに障害が発生しています。	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. 90 ページの『電源問題』 のアクションに従います。 3. 問題が解決するまで、 94 ページの『電源の問題の解決』 のアクションに従います。	一般的には、パワー・サプライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害が起こっている。	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

システム・パルス LED を表示するには、この情報を使用します。

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターします (これらの LED の場所については、 24 ページの『システム・ボードの LED およびコントロール』を参照してください)。

表 3. システム・パルス LED

LED	説明	アクション
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 3. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	アクション
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	以下のステップは、IMM2 ハートビート順序付けプロセスの各種ステージを説明しています。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1HZ) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (33 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、481 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについて詳しくは、247 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印 (↑) キーおよび下矢印 (↓) キーを使用します。

一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、46 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージについて詳しくは、247 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、74 ページの『Lenovo Dynamic System Analysis』および 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源を入れます。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできま

すが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Lenovo Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、46 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 4. イベント・ログを表示する方法

状態	アクション
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 4. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	アクション
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2 の IP アドレスを入力し、「**イベント・ログ**」ページに進みます。詳しくは、 45 ページの『IMM ホスト名の取得』、および 46 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、 75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • または、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを始動して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することができます。詳しくは、 71 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去するには、次のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源を入れます。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択してから、**Enter** キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、**Enter** キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、481 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、 70 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

Lenovo Dynamic System Analysis

Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされていま

す。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳しくは、BoMC の「*インストールおよびユーザーズ・ガイド*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

  – Emulex ネットワーク・アダプター
  – 光ディスク装置 (CD または DVD)
  – テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
  – メモリー
  – マイクロプロセッサー
  – チェックポイント・パネル
  – I2C バス
  – SAS ドライブおよび SATA ドライブ

  サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「**<F2> Diagnostics**」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。
5. 「**gui**」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed (パス): テストはエラーなしに完了しました。

Failed (失敗): テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は `:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了する、あるいはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで `copy` コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、`:x` と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを Lenovo サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

Lenovo は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、Lenovo サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Lenovo Electronic Service Agent

Lenovo エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を Lenovo サポートに直接報告します。データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。

Lenovo エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www-01.ibm.com/support/esa/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、 481 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』、 247 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ』、および 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、 481 ページの『付録 B. UEFI (POST) エラー・コード』、 247 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ』、および 497 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

症状別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては DSA メッセージを、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、 59 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (Light Path 診断を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、DSA メッセージを参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサーまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 103 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 100 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

表 5. ハード・ディスクの現象と処置

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	診断テストで示されたドライブを取り外し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	サーバーが応答を停止したときにテストしていたハード・ディスクを取り外し、再度診断テストを実行します。ハード・ディスクの診断テストが正常に実行される場合は、取り外したドライブを 新しいものと交換します。
オペレーティング・システムの始動中にハード・ディスクが検出されない。	すべてのハード・ディスクとケーブルを取り付け直し、再度ハード・ディスク診断テストを実行します。
ハード・ディスクがハード・ディスク診断テストにパスしたが、問題は継続する。	SCSI ハード・ディスク診断テストを実行します (75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 **注:** このテストは、RAID アレイを備えるサーバー、または SATA ハード・ディスクを備えるサーバーでは使用できません。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (220 ページの『USB フラッシュ・ドライブの取り外し』および 221 ページの『USB フラッシュ・ドライブの取り付け』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログを検査します (70 ページの『イベント・ログ』を参照)。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (POST ウォッチドッグ設定を参照するには、Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**System Recovery**」 > 「**POST Watchdog Timer**」をクリックします)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「**POST Watchdog Timer**」) に十分な時間が使用可能になっていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、UEFI/POST 診断コードおよび DSA メッセージを参照してください。 2. どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (70 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行してキーボードなし操作を有効にします。 3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 4. キーボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネルのエラー LED が何も点灯していない。 • システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。 • メモリー・ミラーリング・チャネルが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性がある。 • サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがない。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 3. POST エラー・ログを確認します。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。その後、Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 4. Setup ユーティリティーですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します (75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. Setup ユーティリティーを使用してすべての DIMM を再度使用可能にし、サーバーを再始動します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 8. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
1 つのチャネル内の複数の DIMM で障害の発生が確認された。	**注:** DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 識別された中から最も大きい番号の DIMM を取り外し、同一で良品と判明している DIMM と取り替えて、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクターに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を、同一で正常と判明している DIMM と交換し、各 DIMM を交換するごとにサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM のテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 確認された DIMM のうち、最も数字の大きいものを交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

マイクロプロセッサーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されているエラーがあればすべて訂正します (Light Path 診断を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行し、「**System Information**」 > 「**System Summary**」 > 「**Processor Details**」と選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用してください。

Lenovo モニターの中には、セルフテスト機能を備えているものがあります。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM2 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に Lenovo ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。 4. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーの電源がオフの場合は、 90 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 6. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 27 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 7. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 8. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 9. 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読 不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **Notes:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (27 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
Wake on LAN 機能を使用してサーバーを起動できない。	1. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用しており、サーバーがイーサネット 5 コネクターを使用してネットワークに接続されている場合、システム・エラー・ログまたは IMM2 システム・イベント・ログを確認して (70 ページの『イベント・ログ』を参照)、次のことを確認します。 a. Emulex デュアル・ポート 10GBase-T 組み込みアダプターが取り付けられている場合、ファン 3 がスタンバイ・モードで稼働していること。 b. 室温が高すぎないこと (6 ページの『機能および仕様』を参照)。 c. 通風孔がふさがれていないこと。 d. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。 2. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します。 3. サーバーの電源をオフにして給電部から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。 4. 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。
SSL が使用可能にされた状態で LDAP アカウントを使用したログインが失敗する。	1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。 2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

オプション装置の問題

オプション装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
新たに取り付けられた Lenovo オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
前に動作していた Lenovo オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない (サーバーは始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	1. 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを切り離します。 b. 電源コードを再接続します。 c. (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 3. サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (前面パネルのシステム・エラー LED がオンになる)。 4. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 5. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. オペレーター情報パネル・コネクター b. 電源機構 6. ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 7. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 8. 67 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 9. 97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システム または非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 a. Ctrl+Alt+Delete を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	97 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

シリアル装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置は適切なコネクターに接続されているか (21 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・ プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

Universal Serial Bus (USB) ポートの問題を解決するには、この情報を使用します。

- **問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**
- **Lenovo Support Web サイト () で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。**

現象	アクション
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. USB 構成のオプションがセットアップ・ユーティリティーで正しく設定されていることを確認します (詳細については、 32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

85 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. オペレーター情報パネル上で点灯している LED を確認します (Light Path 診断を参照)。
4. Light Path 診断パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、IMM イベント・ログで Pwr Rail の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。 95 ページの表 6 は、各 Pwr Rail に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。

a. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (242 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。

b. Pwr Rail A エラーの場合、以下のステップを実行します。

   1) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

   2) (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを交換します。

c. その他の Rail エラーの場合 (Pwr Rail A エラーについては、ステップ 4b を参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある Pwr Rail に関連付けられた各コンポーネントを、表 6 に示されている順序で一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 6. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	**コンポーネント**
Pwr Rail A エラー	• マイクロプロセッサー 1
Pwr Rail B エラー	• マイクロプロセッサー 2
Pwr Rail C エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 1 • DIMM 1 から 6
Pwr Rail D エラー	• デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター • ファン 2 • DIMM 7 から 12
Pwr Rail E エラー	• ハード・ディスク • DIMM 13 から 18
Pwr Rail F エラー	• PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 にあるアダプター (取り付けられている場合) • PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 • ファン 4 • DIMM 19 から 24
Pwr Rail G エラー	• PCI アダプター電源ケーブル (ある場合) • ファン 3 • ハード・ディスク • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー

表 6. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント (続き)

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail H エラー	• ハード・ディスク電源ケーブル • ハード・ディスク • ハード・ディスク・ バックプレーン または • PCI アダプター電源ケーブル • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 に取り付けられているアダプター • PCI ライザー・カード・アセンブリー 2

d. 識別したコンポーネントを交換します。

5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、 67 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての電源コードを再接続し、 サーバーの電源を入れます。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、 67 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。

- イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
- 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。

- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
  - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
  - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

ソフトウェア問題が障害 (連続的または断続的) の原因であると思われる場合は、93 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS クリア・ ジャンパー (JP1) を使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、 22 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、 100 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および Lenovo 以外の装置。
   - 各アダプター
   - ハード・ディスク
   - メモリー・モジュール。必要な最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。

可能であれば、Lenovo に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載されています。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

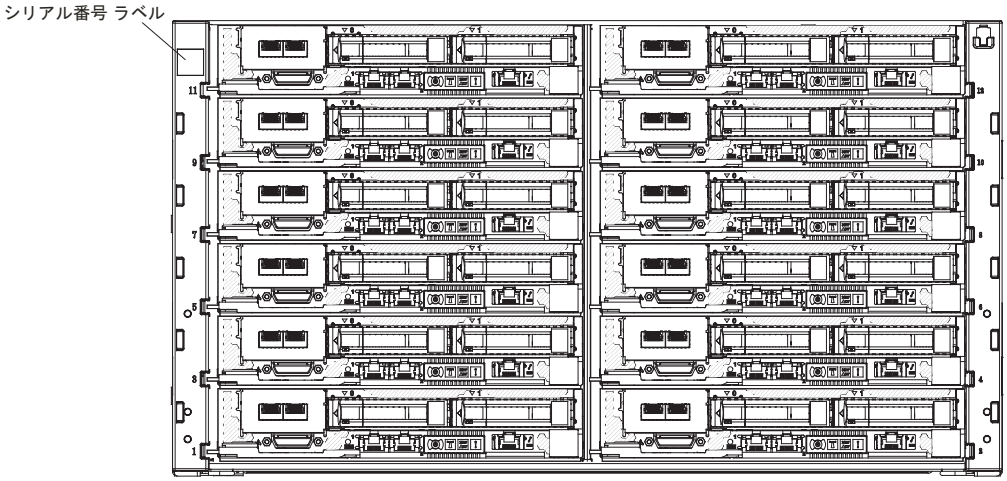


図 15. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは診断テストに失敗しますか?
  - 起こったことは何ですか？いつ？どこで？
  - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
  - その障害は再現可能か。
  - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
  - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
  - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル

- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

Lenovo に保守を依頼する方法については、 555 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- Lenovo サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、 にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
4. システム・ボード上で UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) を見つけます。

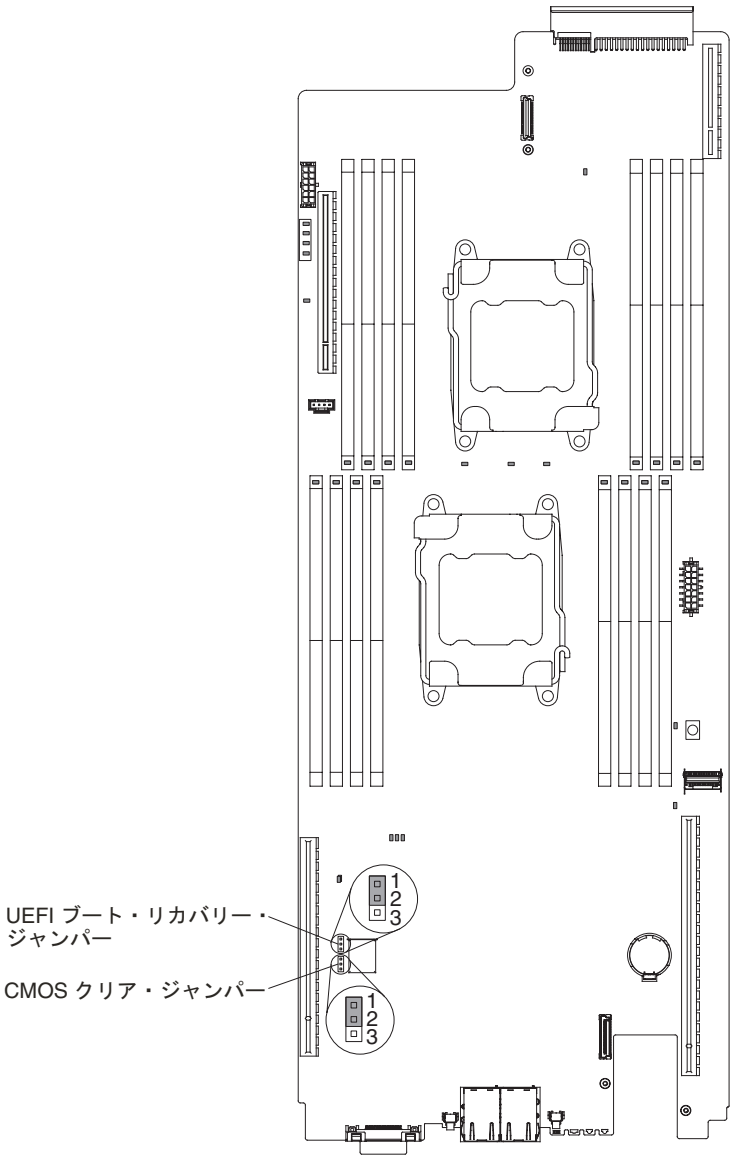


図 16. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) の位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。

7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (JP2) をピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (172 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (174 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、Lenovo サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

インバンドの自動ブート・リカバリー方式を使用するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: オペレーター情報パネル上でシステム・エラー LED が点灯しており、ログ・エントリーがあるか、`Booting Backup Image` がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合は、インバンドの手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

アウト・オブ・バンド方式を使用するには、この情報を使用します。

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346にある IMM2 の資料 (「*統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド*」) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。

このタスクについて

UEFI ファームウェアを回復する指示については、100 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「`Press F3 to restore to primary`」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにし

ます。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード

Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード の部品リスト。

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、『交換可能なサーバー・コンポーネント』で特に指定されている場合を除き、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード サーバーで利用が可能です。更新された部品リストについては、http://support.lenovo.com/ にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

Lenovo の交換可能なサーバー・コンポーネントNeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード。

交換可能なコンポーネントは、構造部品と現場交換可能ユニット (FRU) から構成されます。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、113 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、555 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

最新のオプション・サポート計画については、Lenovo ServerProven Web サイトを参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、113 ページの『構成部品』を参照してください。

© Copyright Lenovo 2015

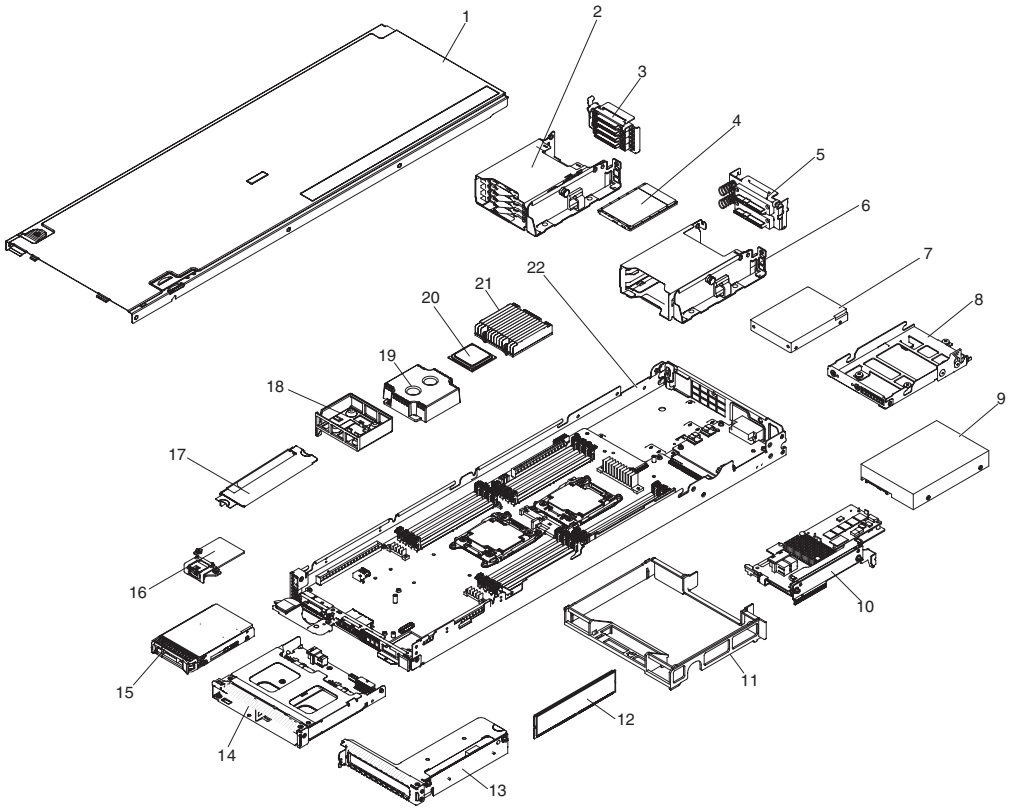


図 17. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 7. 部品リスト、Type 5465

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
2	1.8 型 SSD ケージ・アセンブリー	00AM451	
2	1.8 型 SSD ケージ・アセンブリー	00KA978	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、S3500 80 GB	00AJ041	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、240 GB	00AJ046	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 MLC エンタープライズ値、SATA、400 GB	00AJ051	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA、200 GB	41Y8367	
4	ソリッド・ステート・ドライブ、1.8 型 SATA、400 GB	41Y8372	
6	2.5 型背面ドライブ・ケージ・アセンブリー	00KA973	
7	ハード・ディスク、2.5 型 250 GB、7.2 K 6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD031	
7	ハード・ディスク、2.5 型 500 GB、7.2 K 6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD036	
7	ハード・ディスク、2.5 型 1 TB、6 Gbps SATA 非ホット・スワップ	00AD041	

表 7. 部品リスト、*Type 5465 (続き)*

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
7	ハード・ディスク、2.5 型 300 GB、15 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD051	
7	ハード・ディスク、2.5 型 300 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD056	
7	ハード・ディスク、2.5 型 600 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD061	
7	ハード・ディスク、2.5 型 900 GB、10 K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00AD066	
7	ハード・ディスク、2.5 型 600 GB、15 K 6 Gbps SAS	00AJ291	
7	ハード・ディスク、2.5 型 1.2 TB、10K 6 Gbps SAS 非ホット・スワップ	00FN041	
8	3.5 型 HDD ケージ・アセンブリー	00KA971	
9	ハード・ディスク、3.5 型 1 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD011	
9	ハード・ディスク、3.5 型 2 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD016	
9	ハード・ディスク、3.5 型 3 TB、6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD021	
9	ハード・ディスク、3.5 型 4 TB、7.2 K 6 Gbps、SATA 非ホット・スワップ	00AD026	
9	ハード・ディスク、3.5 型 2 TB、 6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN124	
9	ハード・ディスク、3.5 型 3 TB、 6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN139	
9	ハード・ディスク、3.5 型 4 TB、 6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN154	
9	ハード・ディスク、3.5 型 5 TB、 6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN169	
9	ハード・ディスク、3.5 型 6 TB、 6 Gbps 512e ニアライン SATA	00FN184	
9	ハード・ディスク、3.5 型 2 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN194	
9	ハード・ディスク、3.5 型 4 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN214	
9	ハード・ディスク、3.5 型 6 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN234	
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 2 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN244	
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 4 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN254	
9	自己暗号化ドライブ、3.5 型 6 TB、12 Gbps 512e ニアライン SAS	00FN264	
10	ServeRAID M5110 SAS/SATA コントローラー	00AE807	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9027	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	46C9029	
10	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
10	ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー	46C9115	
10	ServeRAID M5200 シリーズ 512 MB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	

表 7. 部品リスト、*Type 5465 (続き)*

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
10	ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 2 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
10	ServeRAID M5100 シリーズ 4 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8669	
12	メモリー、4 GB single-rank 1.5 V、DDR3、1600 MHz、VLP NVDIMM	00KA733	
12	メモリー、8 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0794	
12	メモリー、16 GB dual-rank 1.2 V、DDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0798	
12	メモリー、4 GB single-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0786	
12	メモリー、8 GB single-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0790	
12	メモリー、32 GB quad-rank 1.2 V、TruDDR4、2133 MHz、LP RDIMM	46W0802	
13	PCI ライザー・ケージ	00KG523	
14	2.5 型前面ホット・スワップ・ドライブ・ケージ	00FK109	
14	2.5 型前面ホット・スワップ・ドライブ・ケージ	00KA961	
15	ハード・ディスク、2.5 型 G3 ホット・スワップ 300 GB、10 K 6 Gbps SAS	00AJ097	
15	ハード・ディスク、2.5 型 G3 ホット・スワップ 600 GB、15 K 6 Gbps SAS	00AJ127	
15	ハード・ディスク、2.5 型 G3 ホット・スワップ 500 GB、7.2 K 6 Gbps ニアライン SATA	00AJ137	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 120 GB SATA	00AJ396	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 240 GB SATA	00AJ401	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 480 GB SATA	00AJ406	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ 800 GB SATA	00AJ411	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 120 GB SATA	00FN021	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 240 GB SATA	00FN026	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 480 GB SATA	00FN031	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ 800 GB SATA	00FN036	

表 7. 部品リスト、*Type 5465 (続き)*

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、G3 ホット・スワップ S3500 1.6 TB SATA	00FN279	
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型 MLC エンタープライズ値、S3500 1.6 TB SATA	00FN294	
16	IMM 管理インターポーザー・アセンブリー	00KG517	
17	ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー	00KG518	
18	リモート・バッテリー・ホルダー	00KA963	
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2697 v3 2.6 GHz、35 MB、2133 MHz、145 W (14 コア)		00AE680
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2695 v3 2.3 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00AE681
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2690 v3 2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、135 W (12 コア)		00AE682
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2680 v3 2.5 GHz、25-30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE683
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2670 v3 2.3 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE684
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2660 v3 2.6 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE685
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650 v3 2.3 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE686
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2650L v3 1.8 GHz、30 MB、2133 MHz、65 W (12 コア)		00AE687
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2640 v3 2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、90 W (8 コア)		00AE688
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630 v3 2.4 GHz、15-20 MB、1866 MHz、85 W (8 コア)		00AE689
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2620 v3 2.4 GHz、15 MB、1866 MHz、85 W (6 コア)		00AE690
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2630L v3 1.8 GHz、20-25 MB、1866 MHz、55 W (8 コア)		00AE691
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2609 v3 1.9 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00AE692
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2603 v3 1.6 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00AE693
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2667 v3 3.2 GHz、20 MB、2133 MHz、135 W (8 コア)		00AE694
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2643 v3 3.4 GHz、25 MB、2133 MHz、135 W (6 コア)		00AE695
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2637 v3 3.5 GHz、25 MB、2133 MHz、135 W (4 コア)		00AE696
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2603 v3 1.6 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00KC788

表 7. 部品リスト、Type 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2699 v3 2.3 GHz、45 MB、2133 MHz、145 W (18 コア)		00KC789
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2698 v3 2.3 GHz、40 MB、2133 MHz、135 W (16 コア)		00KG109
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2683 v3 2.0 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00KG110
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2685 v3 2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00KJ036
20	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2623 v3 3.0 GHz、10 MB、1866 MHz、105 W (4 コア)		00KJ038
21	ヒートシンク、前部		00KA920
21	ヒートシンク、後部		00KA921
22	ノード・プレーナー・トレイ		00MU753
22	ノード・プレーナー・トレイ		00MU798
	3.5 型 HDD ハードウェア RAID ケージ (SAS 6G、第 8 HDD 用)	00KA972	
	3.5 型 HDD ハードウェア RAID ケージ (SAS 12G、第 8 HDD 用)	00MU544	
	エアー・バッフル・ハード・ディスク・ケージ・アセンブリー	46W2801	
	バックプレーン、Persian HDD	00KG126	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	ブラケット、Mellanox ConnectX-3 10 GbE アダプター用 3U	00D9692	
	Broadcom NetXtreme 2x10GbE BaseT アダプター	00E2714	
	Broadcom NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	デュアル・ポート・アダプター	94Y5166	
	クアッド・ポート・アダプター	94Y5167	
	Broadcom NetXtreme デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5182	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5231	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	94Y5233	
	ケーブル、構成	00AM460	
	ケーブル、1x2、2.5 型 12G HDD、短、ハードウェア RAID (stack-up)	00KA975	
	ケーブル、1x2、2.5 型 12G HDD、短、ハードウェア RAID (stack-up) ポート 1	00KA976	
	ケーブル、2.5 型 HDD 2x 直角 (RAID なし)	00KA977	

表 7. 部品リスト、*Type 5465 (続き)*

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、1.8 型背面 SSD サーバー・ノード 4 SSD - プレーナー間 (RAID なし)	00KA979	
	ケーブル、4x SDD ハードウェア、長	00KA980	
	ケーブル、1.8 型 12G SSD、短、垂直、ハードウェア RAID	00KA981	
	ケーブル、ハード・ディスク・バックプレーン電源 (1 対 1)	00FK110	
	ケーブル、ハード・ディスク・バックプレーン電源 (Y ケーブル)	00MU547	
	ケーブル、背面 SSD、1.8 型 4 SSD - プレーナー間	00AM452	
	ケーブル、背面 SSD、1.8 型 4 計算ノード 4 SSD - ServeRAID コントローラー間	00AM453	
	ケーブル、12G SFF ハードウェア、長	00KA974	
	ケーブル、0.75 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF026	
	ケーブル、1 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF027	
	ケーブル、1.25 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF028	
	ケーブル、1.5 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF029	
	ケーブル、3 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF030	
	ケーブル、ハイブリッド 3 m Mellanox パッシブ DAC 銅線	00KF037	
	ケーブル、3 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP569	
	ケーブル、5 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP570	
	ケーブル、10 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP571	
	ケーブル、15 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP572	
	ケーブル、20 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP573	
	ケーブル、30 m Mellanox QSFP 光 FDR14 InfiniBand	00MP574	
	ケーブル、ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール、925 mm	46C9793	
	ケーブル・カバー・アセンブリー	00AM459	
	ケーブル・カバー・アセンブリー	00MU546	
	ケーブルの仕切り	00KA959	
	カム・ハンドル	00KA957	
	計算ノード・ラベル GBM	00KA982	
	DIMM フィラー	00KG569	
	Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10 GbE SFP+ アダプター	94Y5195	
	Emulex VFA IIIr デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	00D8543	
	Emulex FC シングル・ポート 16 Gb HBA	00D8546	
	Emulex FC デュアル・ポート 16Gb HBA	00D8548	
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0500	
	Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	47C8153	
	E-net デュアル・ポート 10 アダプター	49Y7912	
	E-net NetX II 1K デュアル・ポート・アダプター	49Y7947	

表 7. 部品リスト、Type 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Mellanox ConnectX-3 40 GbE/DR IB VPI アダプター	00D9552	
	Mellanox QSFP - SFP+ アダプター間	00D9678	
	Mellanox ConnectX-3 Pro ML2 2x40 GbE/FDR VPI アダプター	00FP652	
	GPU トレイ	00KA793	
	GPU トレイ	00MU761	
	ハード・ディスク・ケージ、第 8	00AM461	
	ハード・ディスク・フィラー、3.5 型 (1U 内部ストレージ・トレイ用)	00AM462	
	ハード・ディスク・フィラー・アセンブリー、Gen 3	00FW856	
	ハイパーバイザー、USB 組み込み、フラッシュ・デバイス	42D0545	
	Intel x540 ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	47C8152	
	Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1752	
	Intel x520 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	49Y7962	
	Intel x540-T2 10G デュアル・ポート BaseT アダプター	49Y7972	
	インターポーザー・カード・フィラー	00KA967	
	ラベル、GPU システム・サービス	00KG622	
	マイクロプロセッサー・ブランク・フィラー	00KA968	
	マイクロプロセッサー・ホット・スワップ・キー	00KA960	
	各種キット	00KA984	
	各種キット、ストレージ・トレイ	00AM463	
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	nVidia Tesla K10 PCI express x16	90Y2338	
	nVidia Tesla K80	90Y2424	
	PCI ブラケット・キット	00KA969	
	PCI-E ダミー・フィラー	00KA966	
	QLogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
	QLogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
	QLogic 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816	
	Qlogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4605	
	冗長 SD カード RAID アダプター	00JY064	
	ライザー、RAID	00KG132	
	SD フラッシュ・メモリー・カード、32 GB	00ML701	
	Solarflare SFN7122F 2x10GbE SFP+ Flareon Ultra	47C9980	
	ストレージ・ネイティブ拡張トレイ、12G	00MU633	
	スーパーキャップ・パック	47C8696	
	T8 トルクス・ドライバー (シャーシ背面で提供)	00FK488	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292

表 7. 部品リスト、Type 5465 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	アルコール・ワイプ		59P4739

構成部品

構造部品は、Lenovo 保証の内容と制限ではカバーされません。構造部品は Lenovo 小売店で注文できます。

以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 8. 構造部品、Type 5465

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	00AM442
11	エアー・バッフル	00KA958
	ML2 フィラー・ブラケット	00KA962
	Lenovo ロゴ・ベゼル	00MU782
	シリアル・ラベル・プレート	00KA970

構成部品は、以下の手順で注文してください。

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. http://www.lenovo.com に進みます。
2. 「**製品 (Products)**」メニューから、「**アップグレード、アクセサリー、および部品 (Upgrades, accessories & parts)**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される Lenovo 電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) にリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご 使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地 端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定 の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線 コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお 求めいただけます。

電源コードの<?linebreak?>部品番号	**説明**
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130 39M5179	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel

電源コードの<?linebreak?>部品番号	説明
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5076 39M5512	United States of America
39M5463	Taiwan
39M5087	Thailand
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240 39M5241	Brazil
39M5375 39M5378 39M5509	Canada, Germany, United States of America

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

交換可能なコンポーネントには、次のタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、105 ページの『第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、555 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

取り付けツール

Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードで部品の取り外しまたは交換を行うには、以下のツールが必要です。

- プラス・ドライバー
- T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
- マイナス・ドライバー

オプション装置の取り付け

一部のコンピュート・ノード・コンポーネントは、オプション装置としても交換可能コンポーネントとしても使用可能です。取り付け手順は、オプション装置でも交換可能コンポーネントでも同じです。

© Copyright Lenovo 2015

取り付けのガイドライン

取り付けについて、以下の情報を使用します。

重要: コンピュート・ノードの電源が入っているときに、コンピュート・ノード内のコンポーネントへ静電気が放出されると、システムが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』および 120 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』に記載されている安全上の注意をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付ける装置がサポートされていることを確認します。コンピュート・ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- 新規のコンピュート・ノードを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、コンピュート・ノードが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。コンピュート・ノードのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。

  Important: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

  ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/) を参照してください。
- オプションのハードウェアを取り付ける前に、コンピュート・ノードが正しく作動していることを確認してください。コンピュート・ノードを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はそのオペレーティング・システムが始動することを確認します。または、19990305 エラー・コードが表示されていることを確認します。このエラー・コードは、オペレーティング・システムが検出されていないが、コンピュート・ノードが正しく作動していることを示します。コンピュート・ノードが正常に作動しない場合は、75 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。

  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- コンピュート・ノード、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) を用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、コンピュート・ノードを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、コンピュート・ノードの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってコンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってコンピュート・ノードから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色の表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをコンピュート・ノードから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉したりするときなどに、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色の ラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・ スワップが可能な場合、コンピュート・ノードとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能を サポートしていれば、コンピュート・ノードの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けが行えます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネント の取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。
- コンピュート・ノードに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィラーが取り付けられている。
- コンピュート・ノードに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- コンピュート・ノード冷却システムが正しく機能するように、コンピュート・ノードの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm の空きスペースを

計算ノードの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、コンピュート・ノード・カバーを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。コンピュート・ノードのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) コンピュート・ノードを操作すると、コンピュート・ノードのコンポーネントが損傷を受けることがあります。

- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ファンは、取り外してから 30 秒以内に元どおりに取り付けること。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けずにコンピュート・ノードを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずにコンピュート・ノードを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサーのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサーとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサー・オプションを取り付けた場合、4 つ目および 6 つ目のファンが取り付け済みであること。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってコンピュート・ノードやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたコンピュート・ノードの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような 場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、コンピュート・ノードの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接コンピュート・ノードに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに 戻します。部品をコンピュート・ノードのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

コンピュート・ノード構成の更新

コンピュート・ノード構成を更新するには、この情報を使用します。

内部デバイスの追加または取り外しを行った後に初めてコンピュート・ノードを始動する場合、構成が変更されたことを示すメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように Setup ユーティリティーが自動的に開始します。Setup ユーティリティーについて詳しくは、32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

一部の装置の場合、インストールが必要なデバイス・ドライバーがあります。必要なデバイス・ドライバーのインストールについては、デバイスに付属の資料を参照してください。

コンピュート・ノードは、取り付けられているマイクロプロセッサーの数に関わらず、対称マルチプロセッシング (SMP) コンピュート・ノードとして作動します。最適のパフォーマンスを発揮するためには、SMP をサポートするオペレーティング・システムにアップグレードする必要があります。詳しくは、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し

NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードからコンピュート・ノードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

コンピュート・ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押してコンピュート・ノードの電源をオフにします (詳しくは、20 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』を参照)。

手順

コンピュート・ノードをシャーシから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. 図に示されているように、前面ハンドルを開きます。コンピュート・ノードが、ノード・ベイから約 0.6 cm 外に出ます。

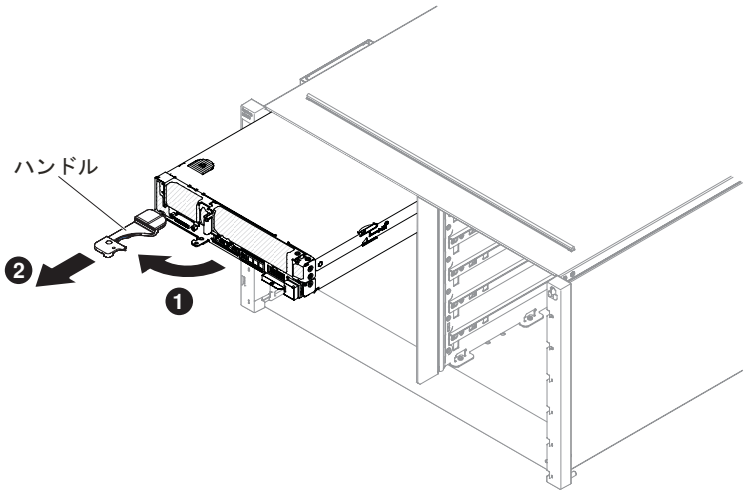


図 18. シャーシからの NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード の取り外し

重要:

- 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイにコンピュート・ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに NeXtScale n1200 Enclosureを稼働させないでください。
- コンピュート・ノードを取り外す場合は、ノード・ベイ番号をメモしてください。コンピュート・ノードを取り外したときとは別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。一部の構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。コンピュート・ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、コンピュート・ノードの再構成が必要になる場合があります。

2. コンピュート・ノードをノード・ベイから引き出します。
3. 1 分以内にノード・ベイにノード・ベイ・フィラーまたは別のコンピュート・ノードのいずれかを取り付けてください。

次のタスク

コンピュート・ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け

NeXtScale n1200 Enclosureにコンピュート・ノードを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、 vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

安全 21



注意:
給電部にコンピュート・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュート・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュート・ノード・カバーを交換してください。

内蔵イーサネット・コントローラーのないコンピュート・ノード・モデルを取り付けている場合、コンピュート・ノードをシャーシに取り付ける前に、管理ネットワーク通信用にネットワーク・インターフェース・アダプターを取り付ける必要があります。コンピュート・ノードでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

手順

以下の表は、ノードのすべての DIMM スロット、PCIe スロット、およびハード・ディスクが装着された状態であると想定して、特定のプロセッサー・タイプでシャーシに取り付けることができるノードの数量を示しています。これらの表は、900 ワットまたは 1300 ワットのパワー・サプライおよび示されている電源設定に基づいています。ただし、NeXtScale n1200 エンクロージャー・ソリューションを構築する場合、最新バージョンの Lenovo Power Configurator を使用して構成の電源要件を検証することにより、選択されたパワー・サプライの数がそのシャーシ構成をサポートするのに十分であるか確認する必要があります。Lenovo Power Configurator ツールを使用して構成を検証しなかった場合、システム・エラーが発生したり、電源が入らなかったり、マイクロプロセッサーのスロットルが起こる可能性があり、マイクロプロセッサーの性能をフル活用するためのシステムの能力が制限される可能性があります。Power Configurator ツールは http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.htmlから入手できます。構成および Power Configurator に関して質問または問題がある場合は、power@us.ibm.com までお問い合わせください。
コンピュート・ノードをシャーシに取り付けるには、以下のステップを実行してください。

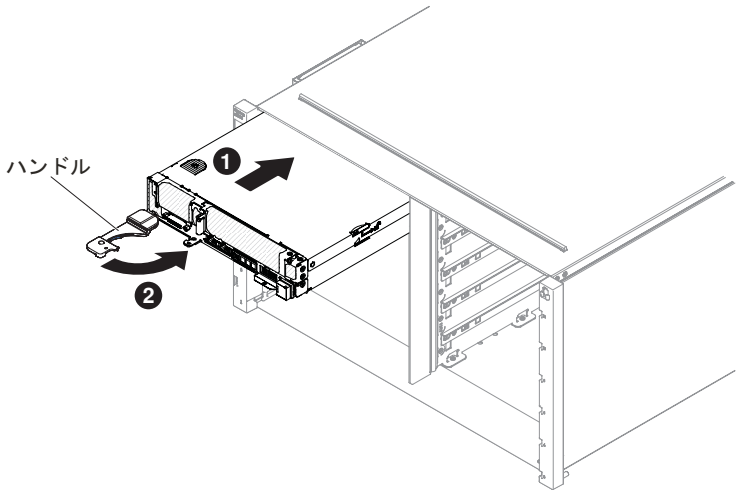


*図 19. NeXtScale n1200 Enclosure*へのコンピュート・ノードの取り付け

1. ノード・ベイを選択します。

   Notes:

   a. 取り外したコンピュート・ノードを再取り付けする場合は、取り外したときと同じノード・ベイに取り付ける必要があります。一部のコンピュート・ノードの構成情報および更新オプションは、ノード・ベイ番号に従って設定されます。コンピュート・ノードを別のノード・ベイに再取り付けすると、予期しない影響がある可能性があります。コンピュート・ノードを別のノード・ベイに再取り付けする場合は、コンピュート・ノードの再構成が必要になる場合があります。

   b. 適切なシステム冷却を維持するために、各ノード・ベイにコンピュート・ノードまたはノード・ベイ・フィラーのいずれも取り付けずに NeXtScale n1200 Enclosureを稼働させないでください。

2. コンピュート・ノードの前面ハンドルが開いた位置にあることを確認します。
3. コンピュート・ノードを、止まるまでノード・ベイに押し込みます。
4. コンピュート・ノード前面にある前面ハンドルを閉じた位置まで押します。

   注: コンピュート・ノードを取り付けると、コンピュート・ノード内の IMM2 が初期化およびシャーシ・マネージメント・モジュールとの同期を行います。このプロセスは約 90 秒かかります。電源 LED が高速で点滅し、コンピュート・ノード上の電源ボタンは、このプロセスが完了するまで応答しません。

5. コンピュート・ノードの電源をオンにします (手順については 19 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』を参照)。
6. コンピュート・ノードのコントロール・パネル上の電源 LED が継続的に点灯していることを確認します。これは、コンピュート・ノードに電力が供給され、電源がオンになっていることを示します。
7. 他に取り付けるコンピュート・ノードがある場合は、ここで取り付けます。
8. コンピュート・ノードの前面からアクセスできるラベル・タブに、識別情報を記載することができます。

次のタスク

コンピュート・ノードを初めてシャーシに取り付ける場合は、Setup ユーティリティーを使用してコンピュート・ノードを構成し、コンピュート・ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要があります (121 ページの『コンピュート・ノード構成の更新』を参照)。

コンピュート・ノードの構成を変更した場合、あるいは取り外したコンピュート・ノードとは別のコンピュート・ノードを取り付ける場合は、Setup ユーティリティーを使用してコンピュート・ノードを構成する必要があります。また、コンピュート・ノードのオペレーティング・システムをインストールする必要がある場合があります (32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。

計算ノードからのストレージ・トレイの取り外し

ストレージ・トレイをNeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードから取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ストレージ・トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押してコンピュート・ノードの電源をオフにします (詳しくは、20 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』を参照)。

手順

ストレージ・トレイをコンピュート・ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. イージー・スワップ・ハード・ディスク #6 を取り外します (189 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
3. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイから切り離します。
4. リリース・ラッチを押し、ストレージ・トレイをコンピュート・ノードの後部に向けてスライドさせます。

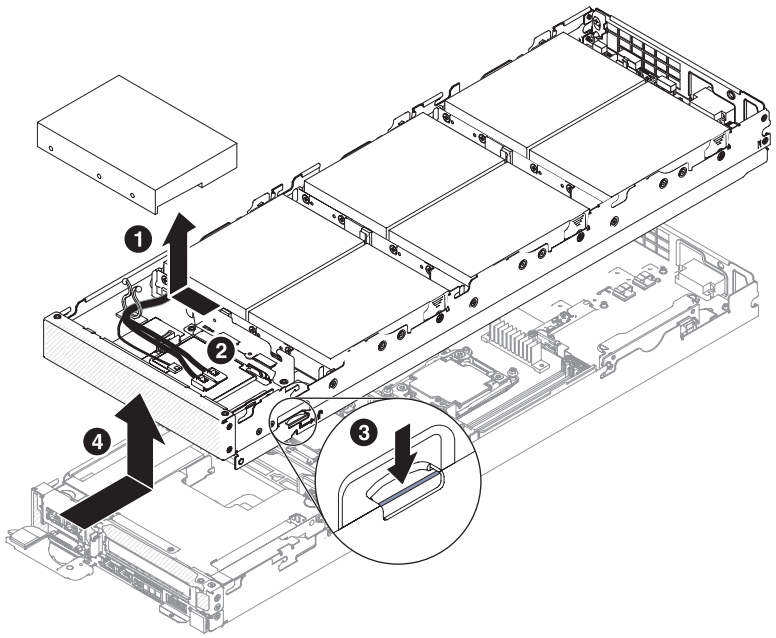


図 20. ストレージ・トレイの取り外し

5. ストレージ・トレイをコンピュート・ノードから引き出します。

次のタスク

ストレージ・トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ストレージ・トレイの計算ノードへの取り付け

ストレージ・トレイをNeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードに取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、 vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

ストレージ・トレイをコンピュート・ノードに取り付けるには、以下のステップを実行してください。
ハード・ディスクがフル装着されていない場合は、以下の表を参照して、ハード・ディスク・フィラーを取り付ける必要があります。

表 9. ストレージ・トレイ用のハード・ディスク構成

凡例: HDD=> ハード・ディスク									
	HDD の数量	**7**	**6**	**5**	**4**	**3**	**2**	**1**	**0**
内部ストレージ・ノード	**ドライブ・ベイ 0**	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラー
	ドライブ・ベイ 1	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラー	フィラー
	ドライブ・ベイ 2	HDD	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラー	フィラー	フィラー
	ドライブ・ベイ 3	HDD	HDD	HDD	HDD	フィラー	フィラー	フィラー	フィラー
	ドライブ・ベイ 4	HDD	HDD	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク
	ドライブ・ベイ 5	HDD	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク
	ドライブ・ベイ 6	HDD	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク	ブランク

ハード・ディスクに障害がある場合は、新しいハード・ディスクまたはフィラーを取り付けるまで、その障害のあるハード・ディスクをストレージ・トレイ内に入れておくことをお勧めします。

1. ストレージ・トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面にストレージ・トレイを注意して置きます。
2. ストレージ・トレイ内側の円柱がコンピュート・ノードのスロットに差し込まれるように、ストレージ・トレイの向きを合わせます。

   注: ストレージ・トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、コンピュート・ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

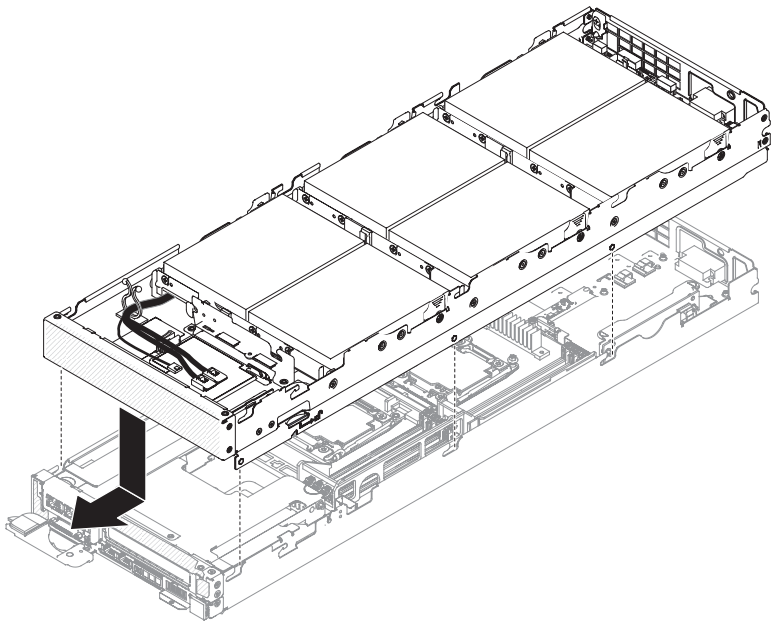


図 21. ストレージ・トレイの取り付け

3. コンピュート・ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでストレージ・トレイを前方にスライドさせて閉じます。
4. 構成ケーブル、ハードウェア RAID (信号) ケーブル、および mini-SAS ケーブルをストレージ・トレイに接続します。
5. イージー・スワップ・ハード・ディスク #6 を取り付けます (190 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
6. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。

計算ノードからのGPU トレイの取り外し

GPU トレイをNeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードから取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

GPU トレイを計算ノードから取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. コンピュート・ノードが稼働中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。
3. 電源ボタンを押してコンピュート・ノードの電源をオフにします (詳しくは、20 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』を参照)。

手順

GPU トレイをコンピュート・ノードから取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外します (206 ページの『GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. リリース・ラッチを押し、GPU トレイをコンピュート・ノードの後部に向けてスライドさせます。

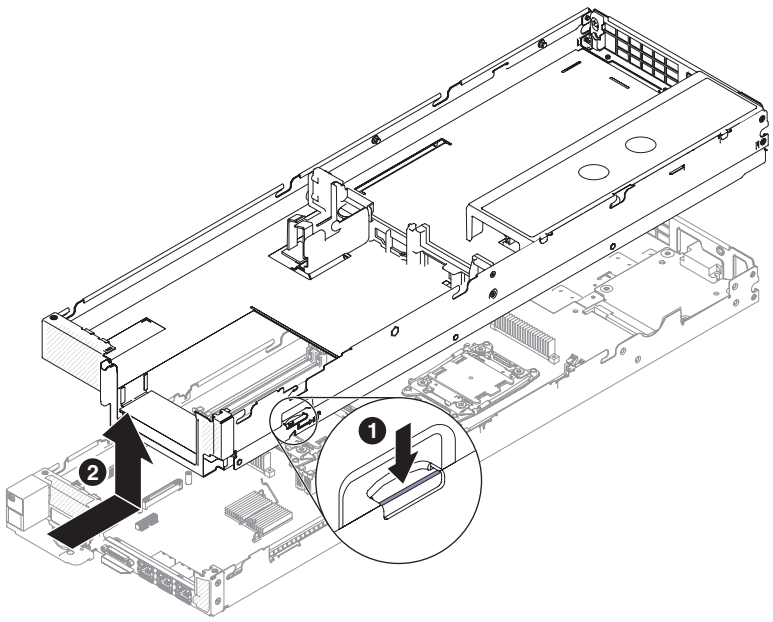


図 22. GPU トレイの取り外し

4. GPU トレイを計算ノードから引き出します。

次のタスク

GPU トレイの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

GPU トレイの計算ノードへの取り付け

GPU トレイをNeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードに取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

重要: 新しい GPU トレイを取り付ける際は、最新のファームウェアで GPU トレイを更新する必要があります。最新のファームウェアがあることを確認してから作業を進めてください。詳しくは、 27 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

注: GPU トレイは、高回線 Vin の 1300 ワット・パワー・サプライ・ユニット (AC 200 ボルトから 240 ボルト) のみをサポートします。

計算ノードをシャーシに取り付ける前に、 vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

手順

GPU トレイを計算ノードに取り付けるには、以下の手順を実行します。

1. GPU トレイのリリース・ラッチを右側にして、帯電防止されている平らな面に GPU トレイを注意して置きます。
2. GPU トレイ内側の円柱が計算ノードのスロットに差し込まれるように、GPU トレイの向きを合わせます。

   注: GPU トレイを取り付ける前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、計算ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

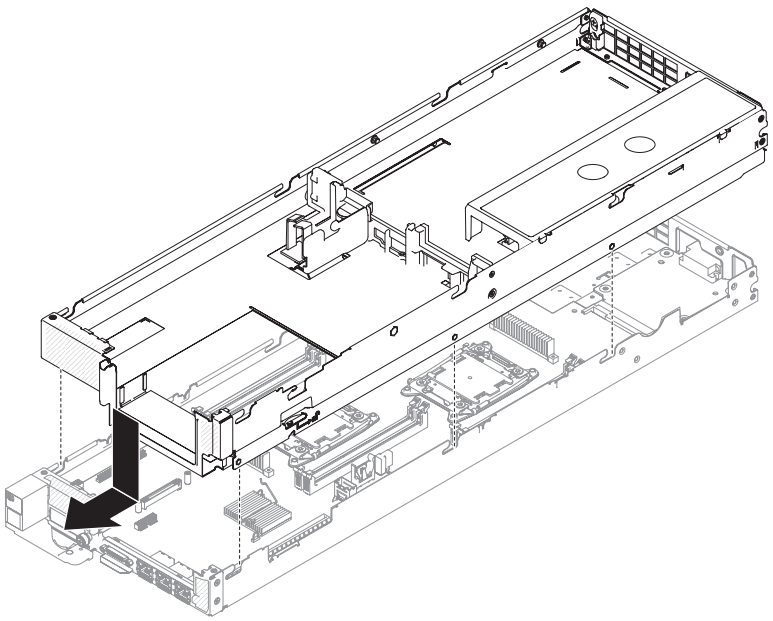


図 23. GPU トレイの取り付け

3. 計算ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでGPU トレイを前方にスライドさせて閉じます。
4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに再取り付けします (208 ページの『GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
5. GPU トレイから切り離したケーブルを接続します。
6. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。

構成部品の取り外しと交換

以下の情報を使用して、消耗部品および構造部品の取り外しおよび交換を行います。

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

コンピュート・ノード・カバーの取り外し

コンピュート・ノードからカバーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

コンピュート・ノード・カバーを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

安全に関する注記 12



注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 21



注意:
給電部にコンピュート・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュート・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュート・ノード・カバーを交換してください。

手順

コンピュート・ノード・カバーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. リリース・ラッチおよびプッシュ・ポイントを同時に押し、カバーをコンピュート・ノードの後部に向けてスライドさせます。

2. カバーを持ち上げてコンピュート・ノードから取り外します。

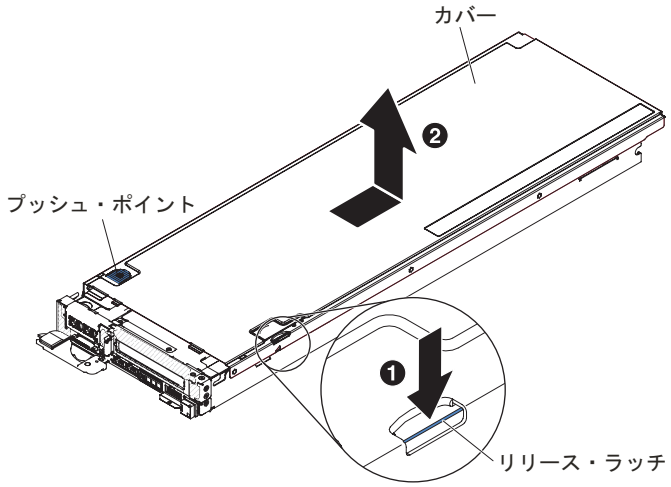


図 24. コンピュート・ノード・カバーの取り外し

重要: リリース・ラッチを押す場合には、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。それらを使用すると、リリース・ラッチに永久的な損傷を与える可能性があります。

3. カバーを水平に置くか、将来利用するために保管しておきます。

次のタスク

カバーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

コンピュート・ノード・カバーの取り付け

コンピュート・ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

始める前に

コンピュート・ノード・カバーを取り付ける前に、 vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

カバーの交換 (取り付け) を行う場合は、手順で使用するシステム・サービス・ラベル・キットが準備されていることを確認してください (105 ページの『第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード』を参照)。

重要: カバーを取り付けて閉じなければ、コンピュート・ノードを NeXtScale n1200 Enclosureに挿入することはできません。この保護措置は必ず実施してください。



注意:
給電部にコンピュート・ノードを接続すると危険な電力が印加されます。コンピュート・ノードを取り付ける前には、必ずコンピュート・ノード・カバーを交換してください。

手順

コンピュート・ノード・カバーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
2. カバー内側の円柱がコンピュート・ノードのスロットに差し込まれるように、カバーの向きを合わせます。

   注: カバーを閉じる前に、エアー・バッフルとすべてのコンポーネントが正しく取り付けおよび装着されていること、コンピュート・ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。

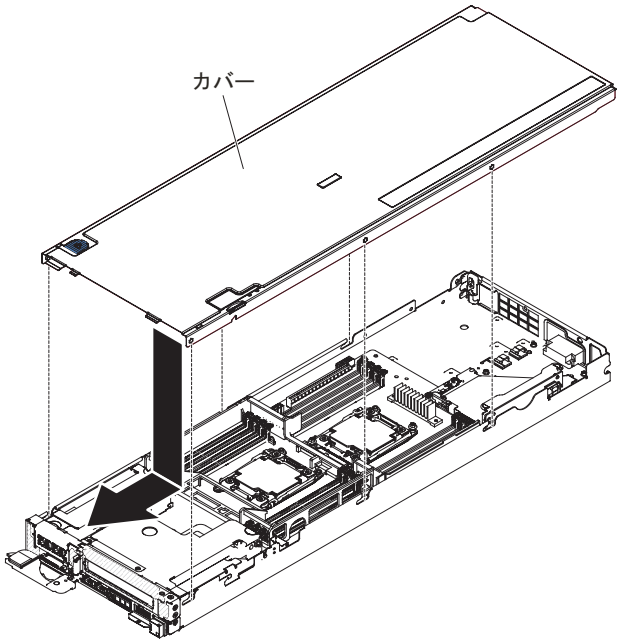


図 25. コンピュート・ノード・カバーの取り付け

3. コンピュート・ノードの前部を持ち、カチッと音がして所定の位置に収まるまでカバーを前方にスライドさせて閉じます。

次のタスク

コンピュート・ノード・カバーを取り付けた後、コンピュート・ノードをシャーシに取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

始める前に

このエアー・バッフルを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフルをつかみ、ピン・ホールからピンを外したら、エアー・バッフルを持ち上げます。

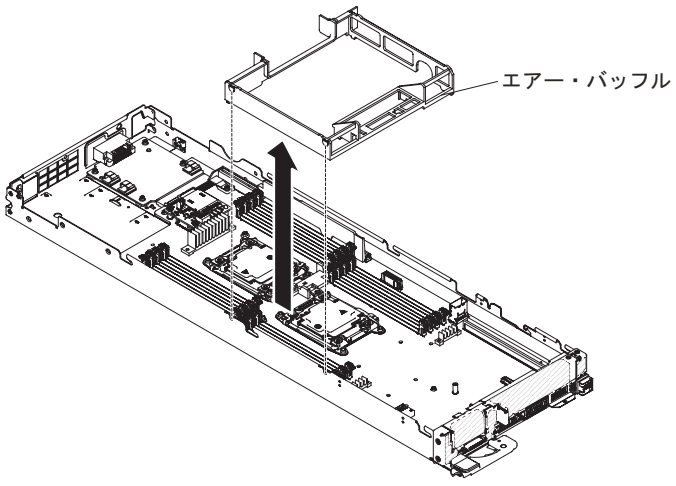


図 26. エアー・バッフルの取り外し (コンピュート・ノード)

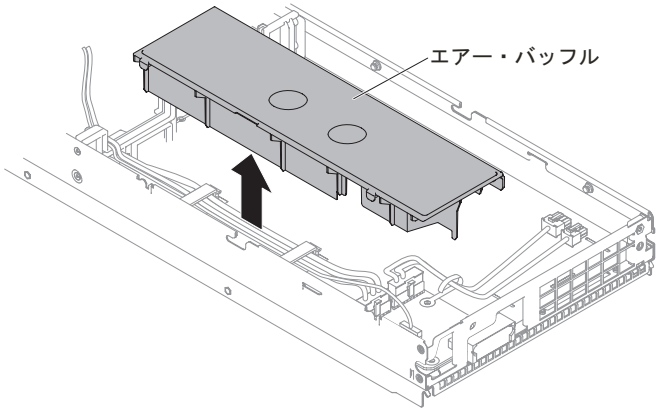


図 27. エアー・バッフルの取り外し (GPU トレイ)

3. コンピュート・ノード/GPU トレイからエアー・バッフルを取り外して横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外した状態でコンピュート・ノードを作動させると、コンピュート・ノード・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り付けます。

始める前に

このエアー・バッフルを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

このエアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフル・フックを、左側のエアー・バッフル用のシャーシ左側のバッフル・フック・スロットに位置合わせし、エアー・バッフルを計算ノード内に下ろします。エアー・バッフルを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

注: 適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

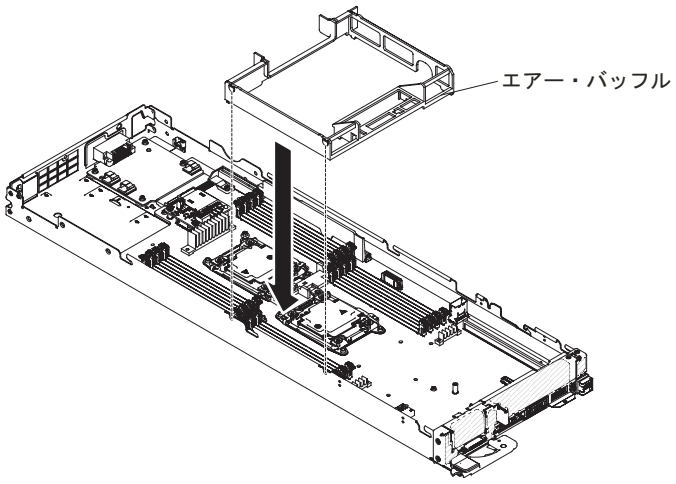


図 28. エアー・バッフルの取り付け (コンピュート・ノード)

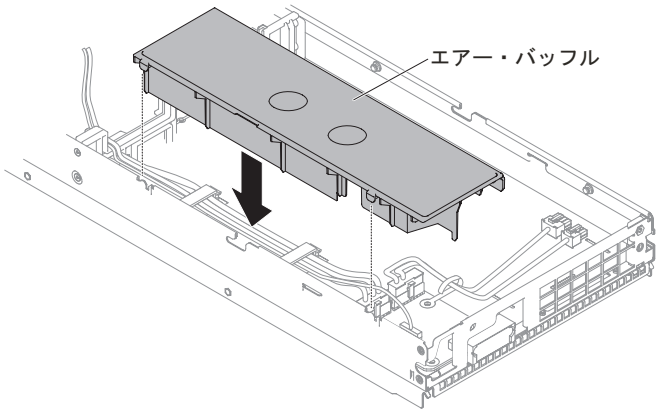


図 29. エアー・バッフルの取り付け (GPU トレイ)

3. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
4. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

PCI ライザー・フィラーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り外します。

始める前に

PCI ライザー・フィラーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

PCI ライザー・フィラーを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・フィラーをつかんで持ち上げます。

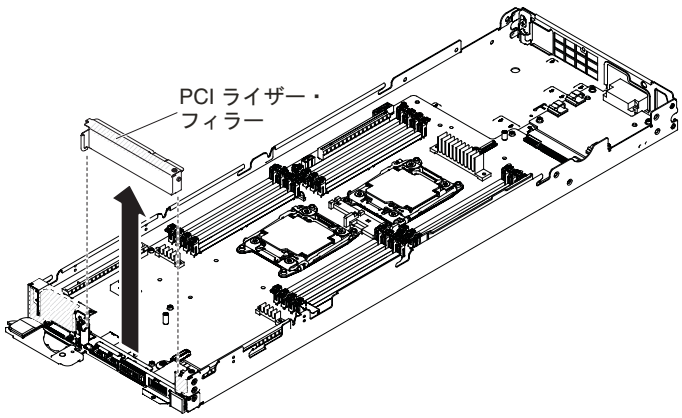


図 30. PCI ライザー・フィラーの取り外し

3. コンピュート・ノードから PCI ライザー・フィラーを取り外して横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、PCI ライザー・フィラーを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。PCI ライザー・フィラーを取り外した状態でコンピュート・ノードを作動させると、コンピュート・ノードのコンポーネントが損傷する場合があります。

PCI ライザー・フィラーの再取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・フィラーを取り付けます。

始める前に

PCI ライザー・フィラーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。

3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

PCI ライザー・フィラーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・フィラーのピンをシャーシ右側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、PCI ライザー・フィラーをコンピュート・ノード内に下ろします。PCI ライザー・フィラーを下に押して、しっかりと収まった状態にします。

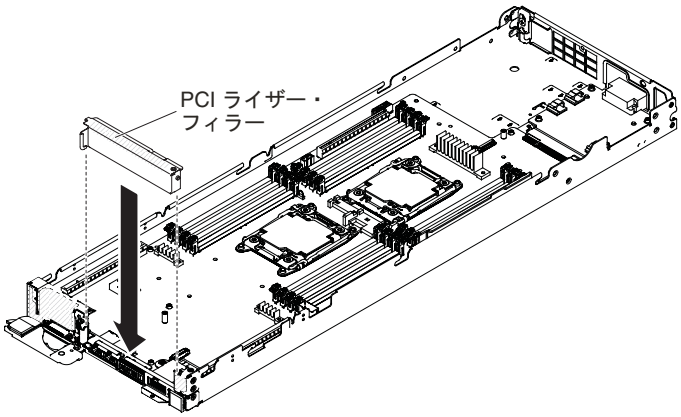


図 31. PCI ライザー・フィラーの取り付け

3. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
4. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ベゼルを取り外す前に、次の手順を行います。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 六角ねじドライバーで 2 本の六角ねじを取り外します。

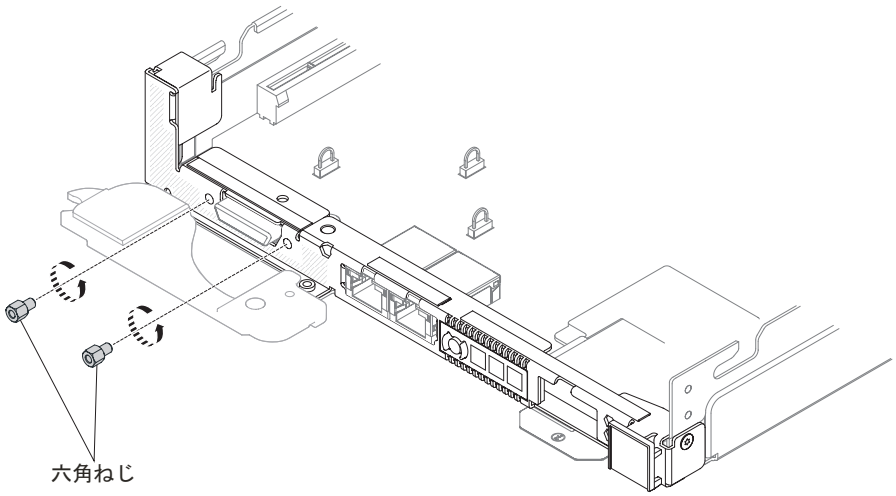


図 32. 六角ねじの取り外し

3. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で 3 本の M3 ねじを取り外します。

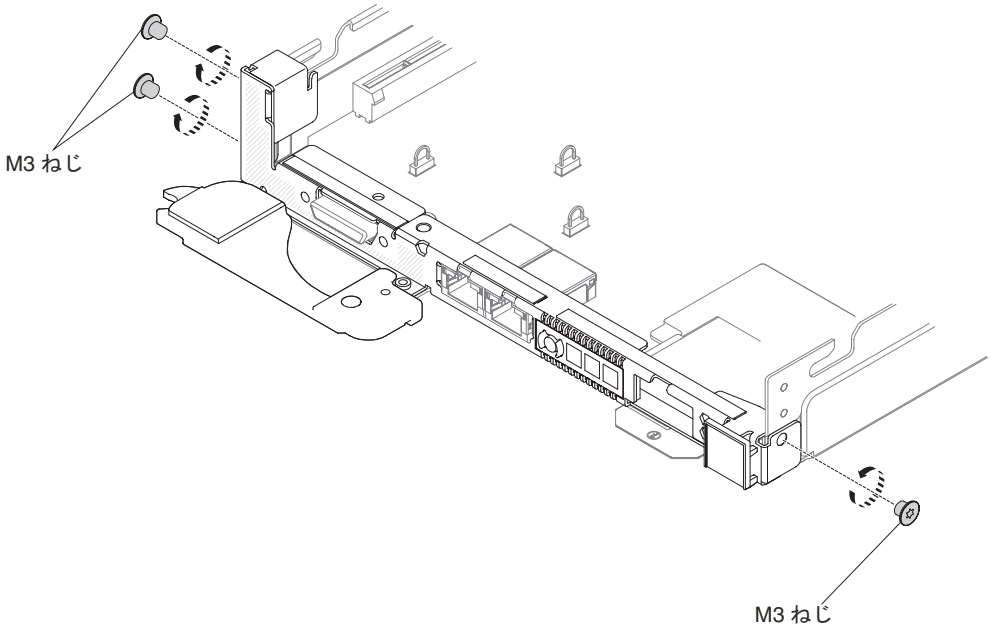


図 33. M3 ねじの取り外し

4. #2 のプラス・ドライバーでカム・ハンドルねじを取り外します。

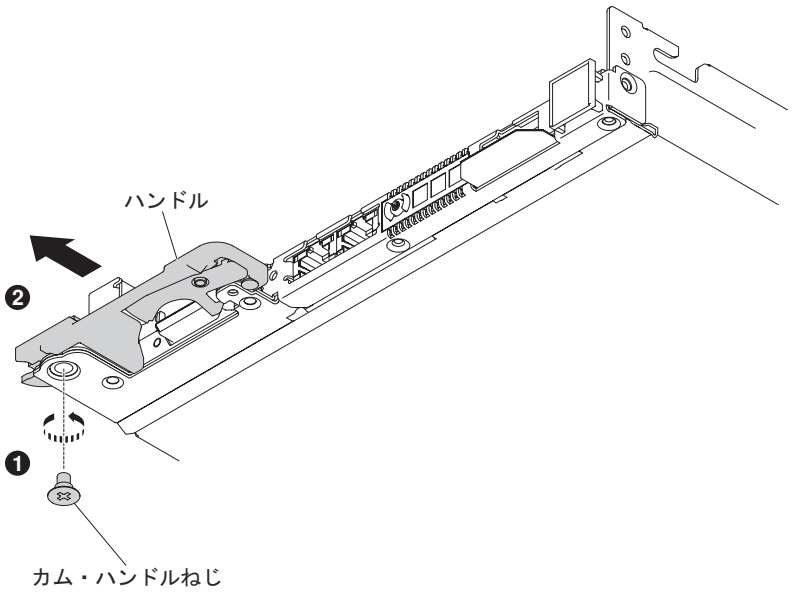


図 34. カム・ハンドルねじの取り外し

5. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で 4 本の M3 ねじを取り外します。

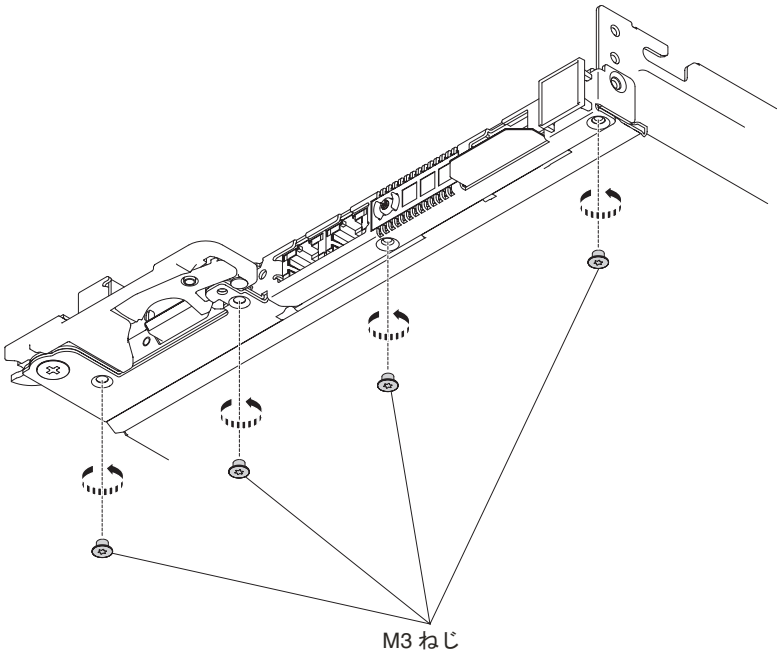


図 35. M3 ねじの取り外し

6. ベゼルをつかんで、ベゼルを計算ノードから取り外します。

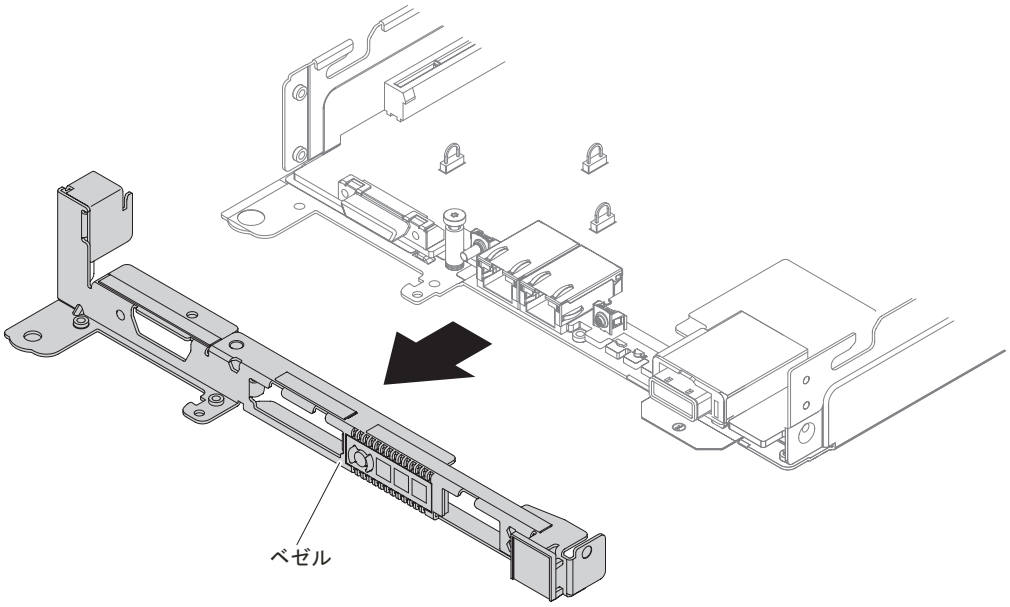


図 36. 前面ベゼルの取り外し

ベゼルの再取り付け

ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ベゼルを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

ベゼルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ベゼルをつかんで、ベゼルを計算ノードに取り付けます。

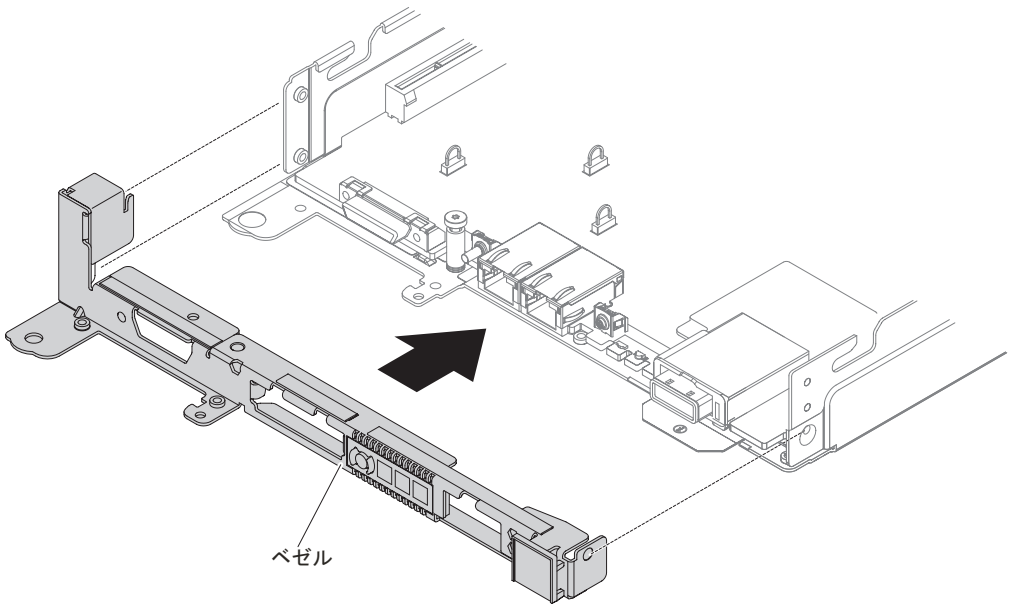


図 37. 前面ベゼルの取り付け

3. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で 4 本の M3 ねじを取り付けます。

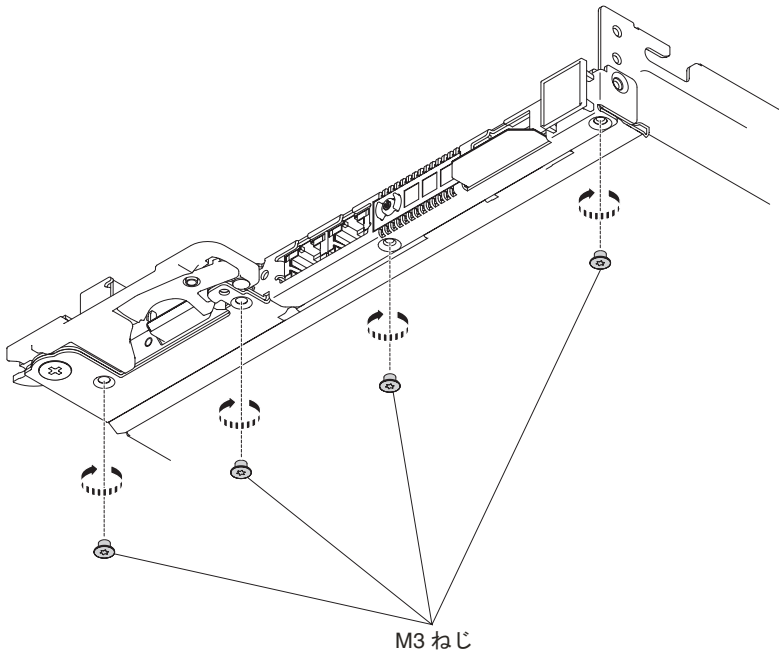


図 38. M3 ねじの取り付け

4. #2 のプラス・ドライバーでカム・ハンドルねじを取り付けます。

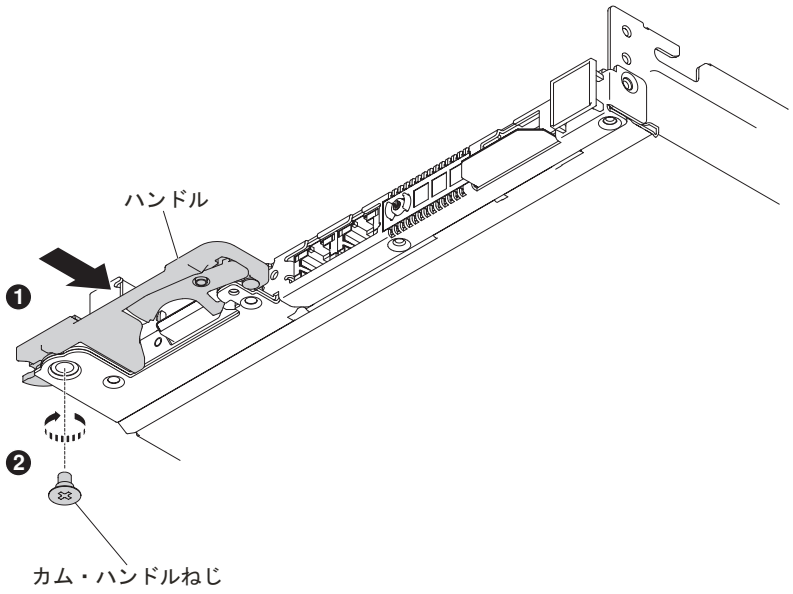


図 39. カム・ハンドルねじの取り付け

5. T8 TORX ドライバー (シャーシ背面で提供) で 3 本の M3 ねじを取り付けます。

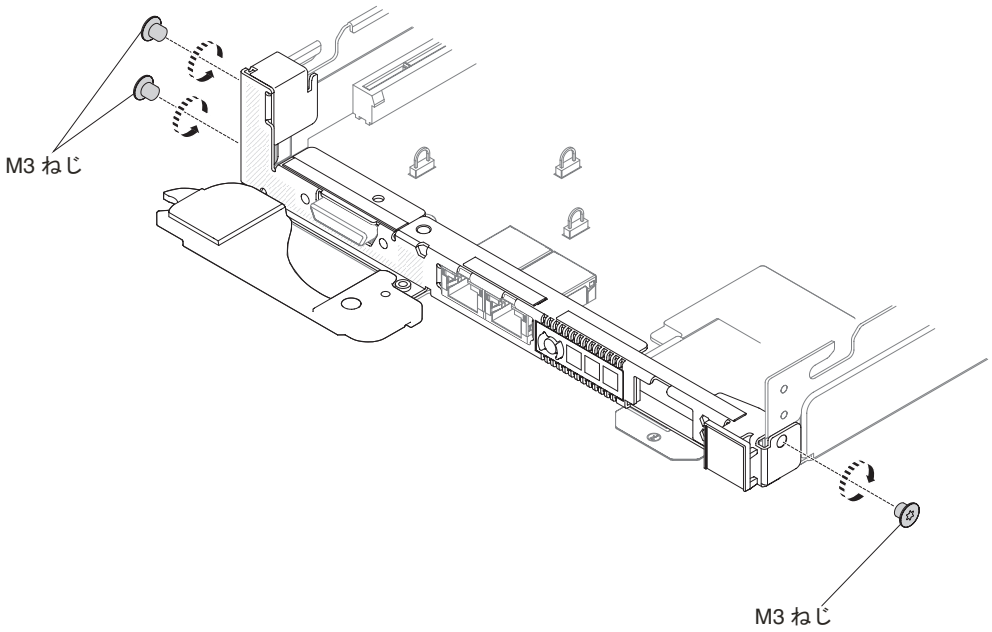


図 40. M3 ねじの取り付け

6. 六角ねじドライバーで 2 本の六角ねじを取り付けます。

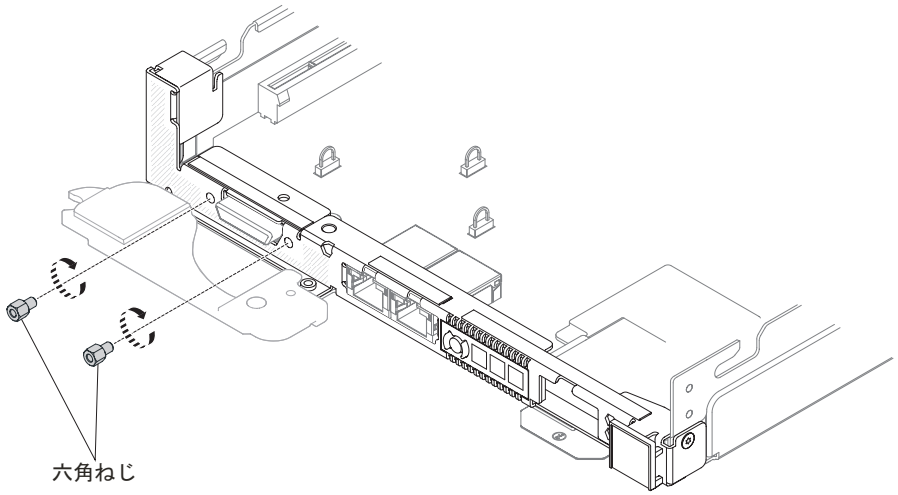


図 41. 六角ねじの取り付け

7. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
8. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

GPU トレイからのフィラーの取り外し

フィラーを GPU トレイから取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

GPU トレイからフィラーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

フィラーを GPU トレイから取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. フィラーのタッチ・ポイントを押して、フィラーを持ち上げます。

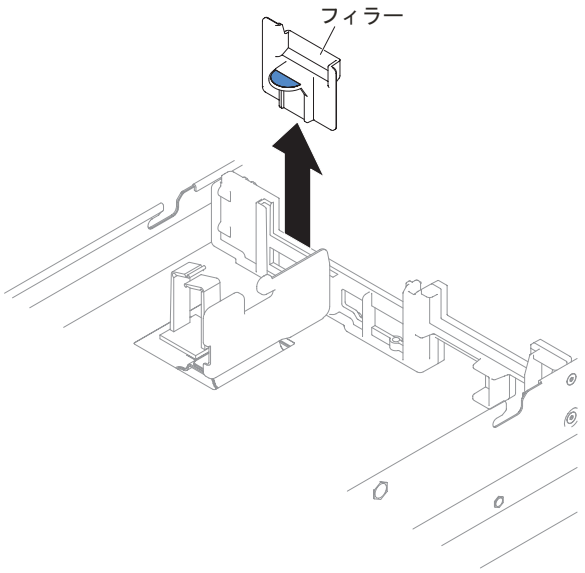


図 42. フィラーの取り外し

3. フィラーを GPU トレイから取り外し、横に置きます。

   重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、フィラーを元通りに取り付けてからコンピュート・ノードの電源をオンにしてください。フィラーを取り外した状態でコンピュート・ノードを作動させると、GPU トレイのコンポーネントが損傷する可能性があります。

GPU トレイへのフィラーの再取り付け

フィラーを GPU トレイに取り付けるには、以下の情報を使用します。

始める前に

GPU トレイにフィラーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

フィラーを GPU トレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. フィラーを GPU トレイ中央のブラケットと位置合わせし、GPU トレイ内にフィラーを下ろします。フィラーがしっかり収まるまで押し下げます。

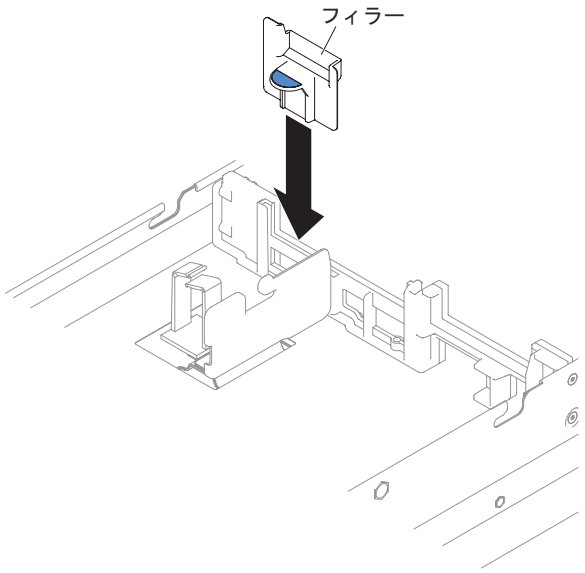


図 43. フィラーの取り付け

3. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
4. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

前面ハンドルの取り外し

前面ハンドルを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

前面ハンドルを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にしてコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り外すには、以下のステップを実行します。

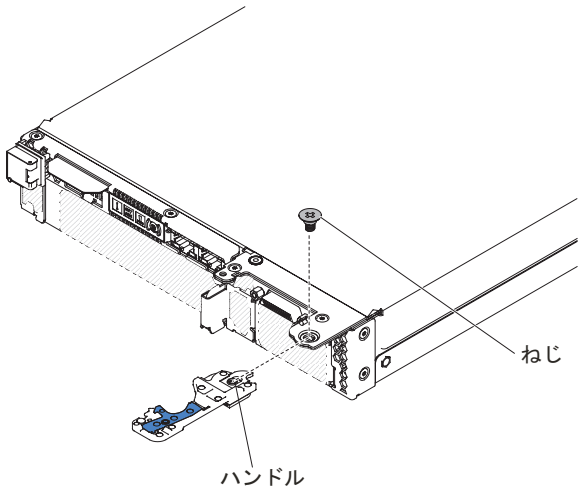


図 44. 前面ハンドルの取り外し

1. ハンドルをコンピュート・ノードに取り付けているねじを見つけます。
2. プラス・ドライバーを使用して、前面ハンドルからねじを取り外し、ねじを安全な場所に保管します。前面ハンドルを取り付けるときに、そのねじを使用します。

次のタスク

前面ハンドルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面ハンドルの取り付け

前面ハンドルを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

前面ハンドルを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にカバー側を下にしてコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

前面ハンドルを取り付けるには、以下のステップを実行します。

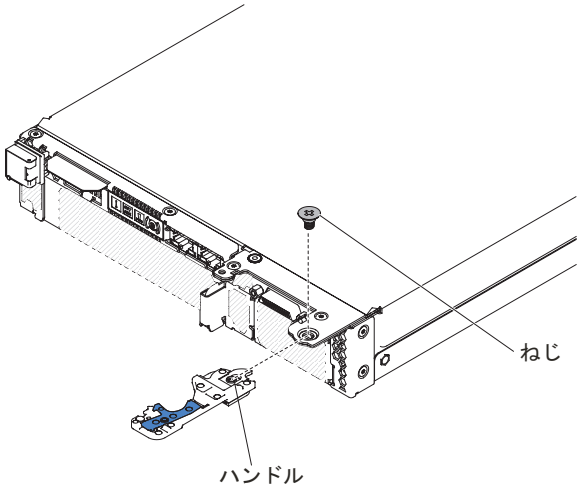


図 45. 前面ハンドルの取り付け

1. 青色のリリース・ラッチがコンピュート・ノードの中央に向くように、前面ハンドルの向きを合わせます。
2. ハンドルの穴を、ハンドルを取り付けるコンピュート・ノードの穴に位置合わせします。
3. プラス・ドライバーを使用して、ハンドルを固定する #2 プラスねじを取り付けます。ハンドルを取り外したときに取り外したねじを取り付けます。

次のタスク

前面ハンドルを取り付けた後、コンピュート・ノードをシャーシに取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

背面ハード・ディスク・ケージの取り外し

背面ハード・ディスク・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

背面ハード・ディスク・ケージを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

背面ハード・ディスク・ケージを取り外すには、以下のステップを実行します。

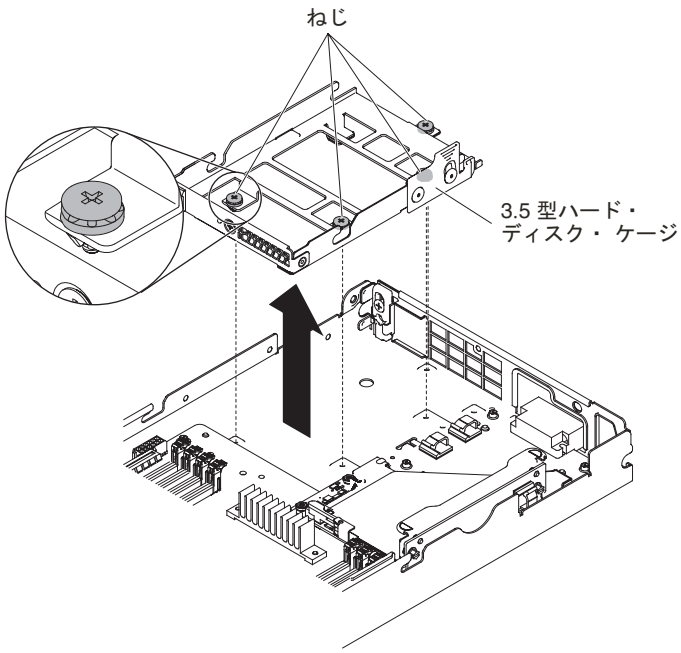


図 46. ハード・ディスク・ケージの取り外し (3.5 型)

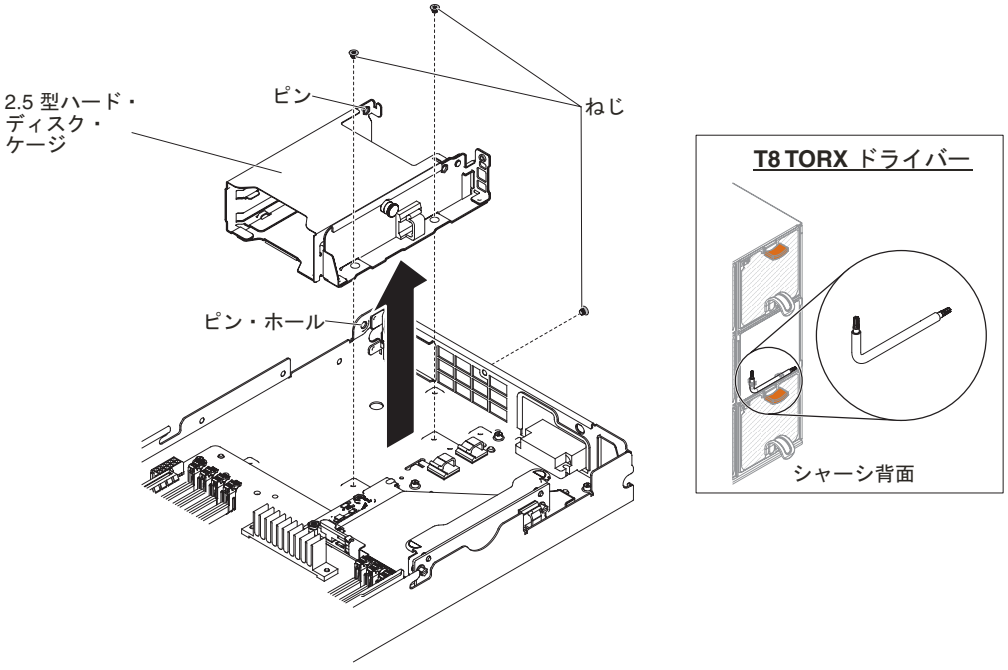


図 47. ハード・ディスク・ケージの取り外し (2.5 型)

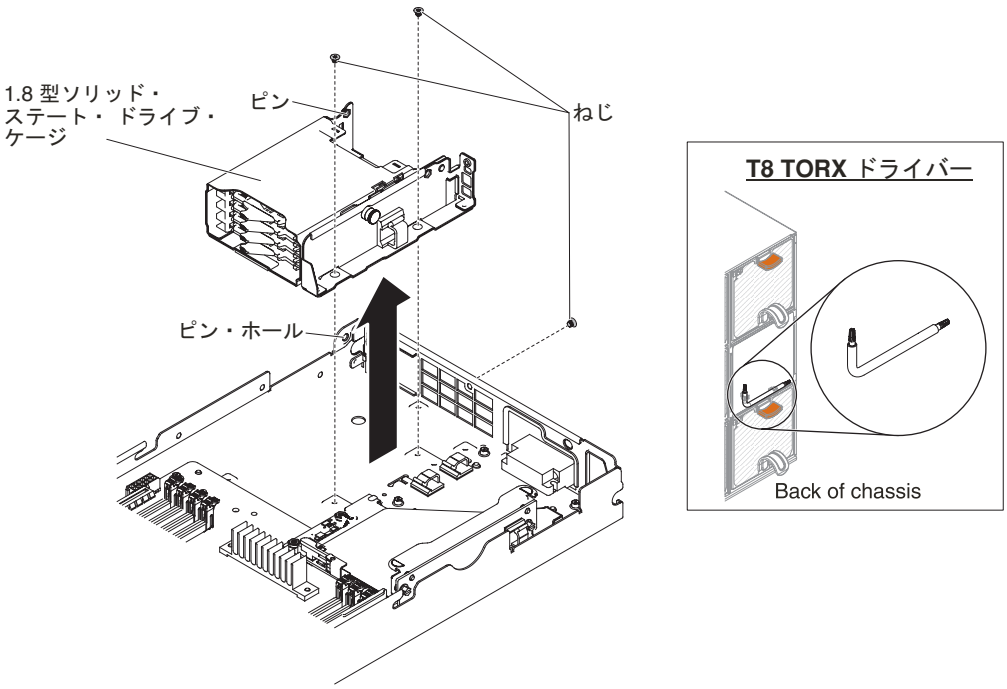


図 48. ハード・ディスク・ケージの取り外し (1.8 型)

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. イージー・スワップ・ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブを取り外します (188 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
3. ハード・ディスク・バックプレートがある場合は、取り外します (185 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り外し』を参照)。
4. プラス・ドライバー (3.5 型ハード・ディスク・ケージの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (3.5 型ハード・ディスク・ケージの場合は 4 本、2.5 型または1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合は 3 本) をケージから取り外します。次に、ケージを計算ノードから斜めに取り外します。
5. ケーブルの配線については、 242 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

背面ハード・ディスク・ケージの取り付け

背面ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

背面ハード・ディスク・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

背面ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。

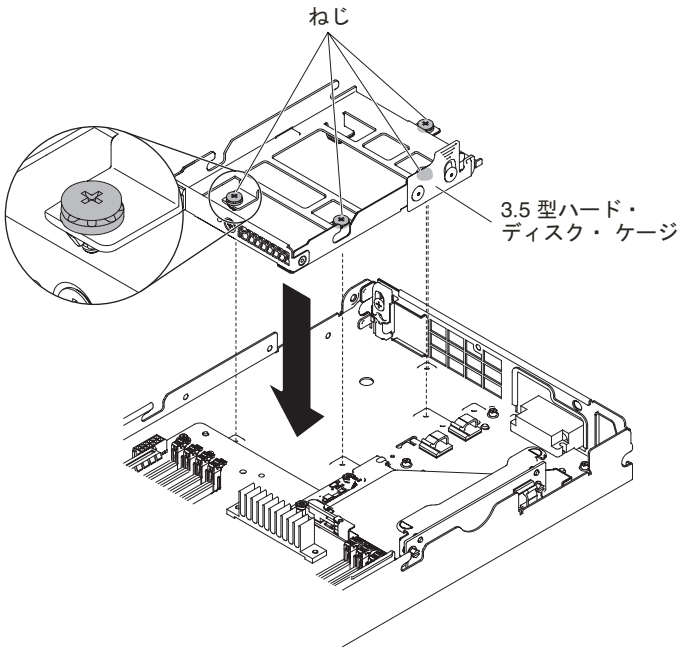


図 49. ハード・ディスク・ケージの取り付け (3.5 型)

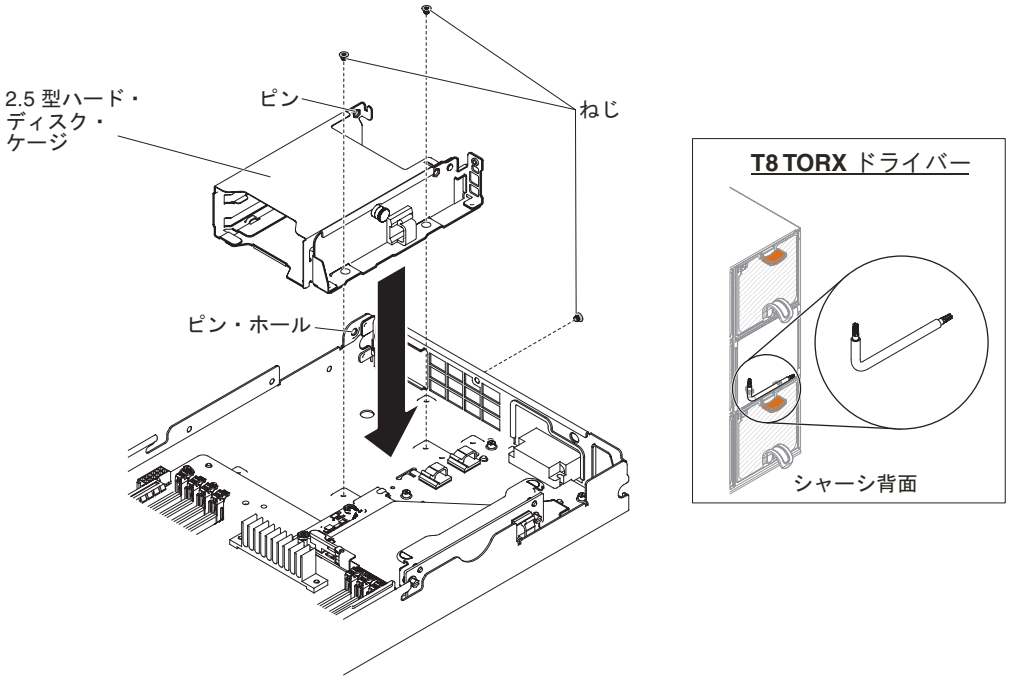


図 50. ハード・ディスク・ケージの取り付け (2.5 型)

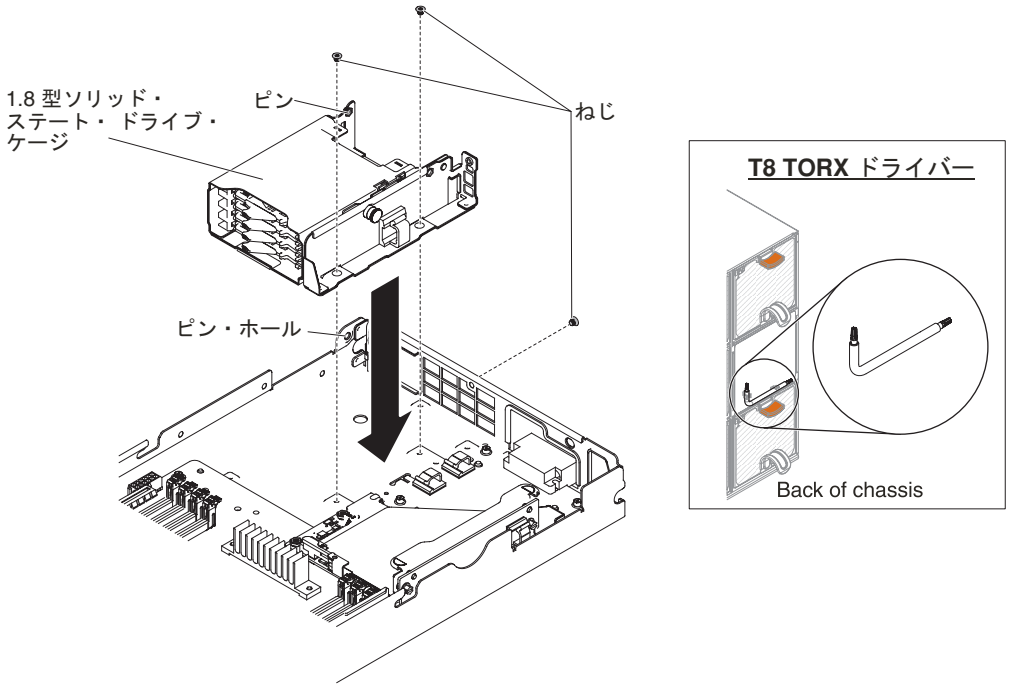


図 51. ハード・ディスク・ケージの取り付け (1.8 型)

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ケージを斜めに配置して、ケージをシステム・ボード上の所定の位置に回転させます。
3. ケージをプレーナー・トレイ上のねじ穴に位置合わせします。

4. プラス・ドライバー (3.5 型ハード・ディスク・ケージの場合) または T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、2.5 型または 1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合。シャーシ背面で提供) を使用して、ねじ (3.5 型ハード・ディスク・ケージの場合は 4 本、2.5 型または 1.8 型ハード・ディスク・ケージの場合は 3 本) を挿入し、ケージを計算ノードに固定します。
5. ハード・ディスク・バックプレートがある場合は、取り付けます (187 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り付け』を参照)。
6. イージー・スワップ・ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブを挿入します (188 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
7. ケーブルの配線については、242 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・ケージを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

RAID アダプター・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します。

始める前に

RAID アダプター・バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. バッテリーをつかんでバッテリー・ホルダーから取り外します。

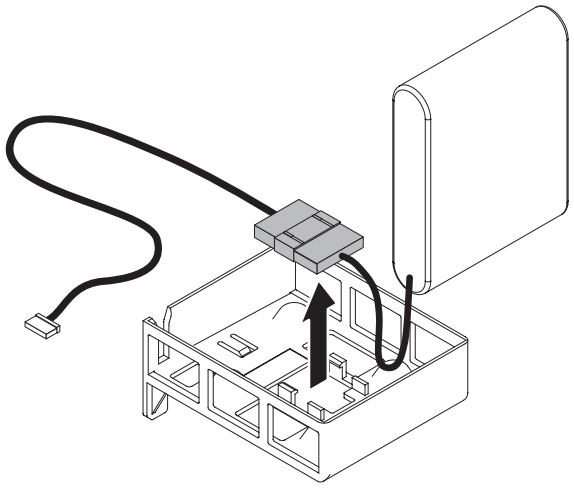


図 52. RAID アダプター・バッテリーの取り外し

3. スーパーキャップ・ケーブル・ラッチからバッテリー・ケーブルを取り外します。

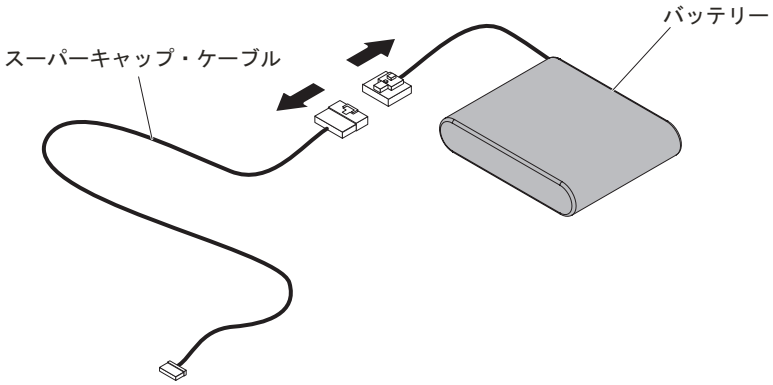


図 53. RAID アダプター・バッテリー・ケーブルの取り外し

タスクの結果

RAID アダプター・バッテリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・バッテリーの再取り付け

RAID アダプター・バッテリーを再取り付けするには、この情報を使用します。

始める前に

RAID アダプター・バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. スーパーキャップ・ケーブルを RAID アダプター・バッテリーに接続します。

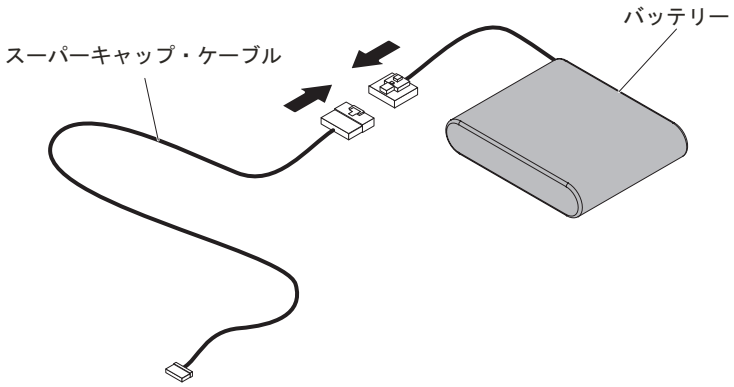


図 54. ケーブルの取り付け

3. バッテリー・ケーブル・ラッチ (下向き) を RAID アダプター・バッテリー・ホルダー内に取り付けます。ラッチが切り欠きの中に収まり、しっかりと取り付けられていることを確認します。

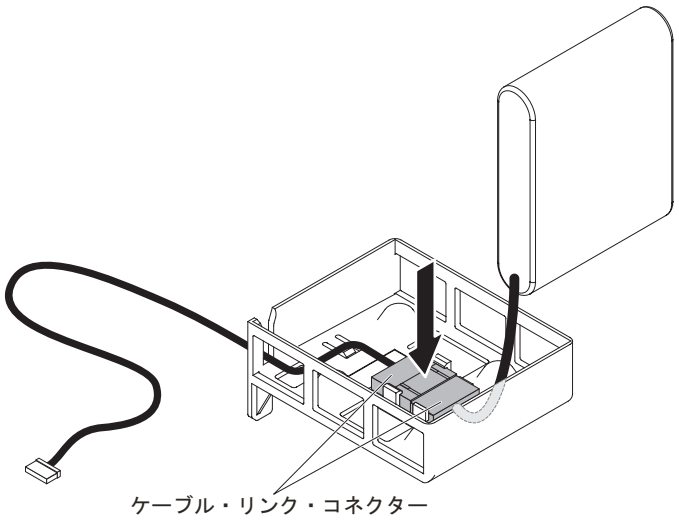


図 55. ケーブル・ラッチの取り付け

4. RAID アダプター・バッテリー・ホルダー内にバッテリーを取り付け、バッテリーがホルダーにしっかりと固定されていることを確認します。

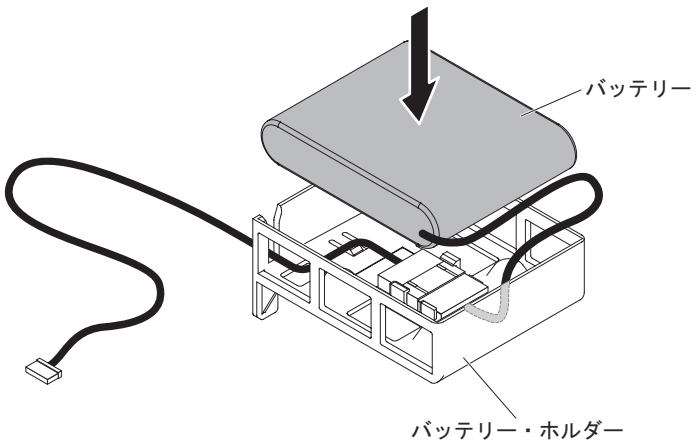


図 56. RAID アダプター・バッテリーの取り付け

重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

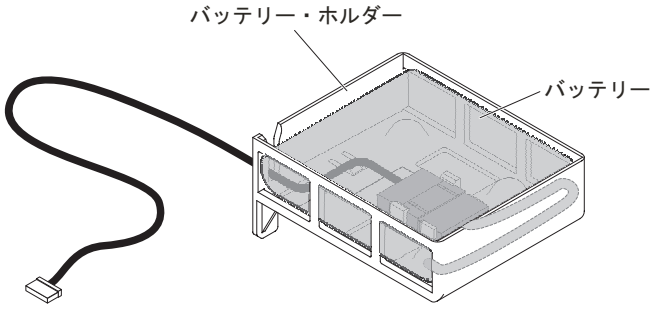


図 57. 取り付けた RAID アダプター・バッテリー

5. ケーブルのもう一方の端をプレーナー・トレイに接続します。
6. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します。
3. エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. マイナス・ドライバーなどの工具を使用して、ラッチを押します。次に、バッテリー・ホルダーを解放します。

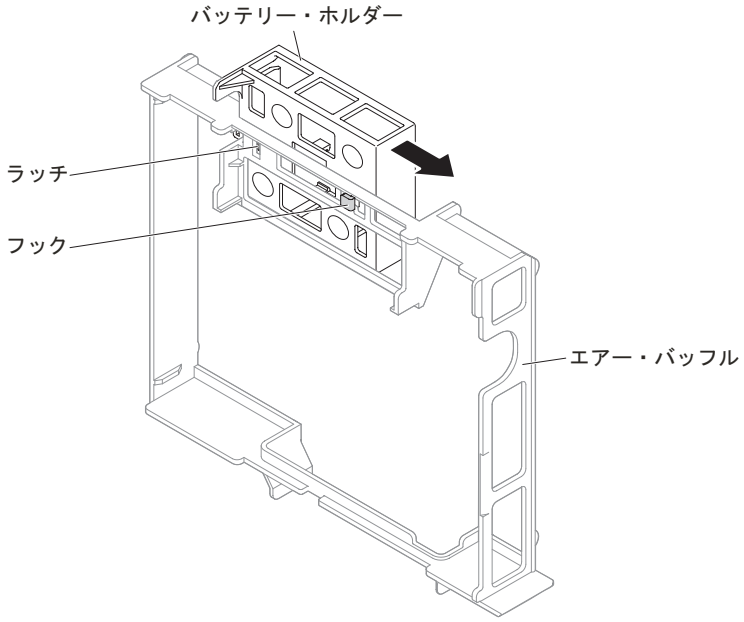


図 58. 解放された RAID アダプター・バッテリー・ホルダー

5. バッテリー・ホルダーを持ち上げて、エアー・バッフルからバッテリー・ホルダーを取り外します。

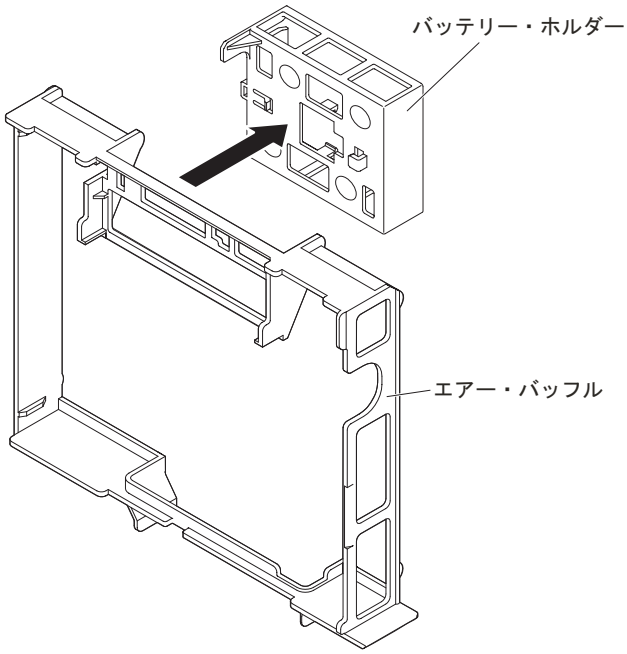


図 59. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り外し

タスクの結果

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの交換

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリー・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. バッテリー・ホルダー・フックを位置合わせし、エアー・バッフル上にバッテリー・ホルダーを設置します。

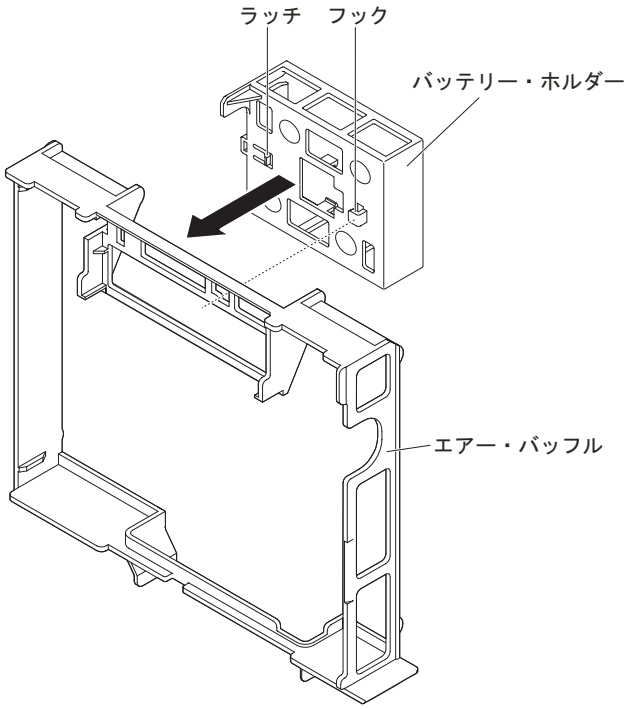


図 60. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの位置合わせ

3. ラッチを押し、フックに向かってバッテリー・ホルダーを押します。

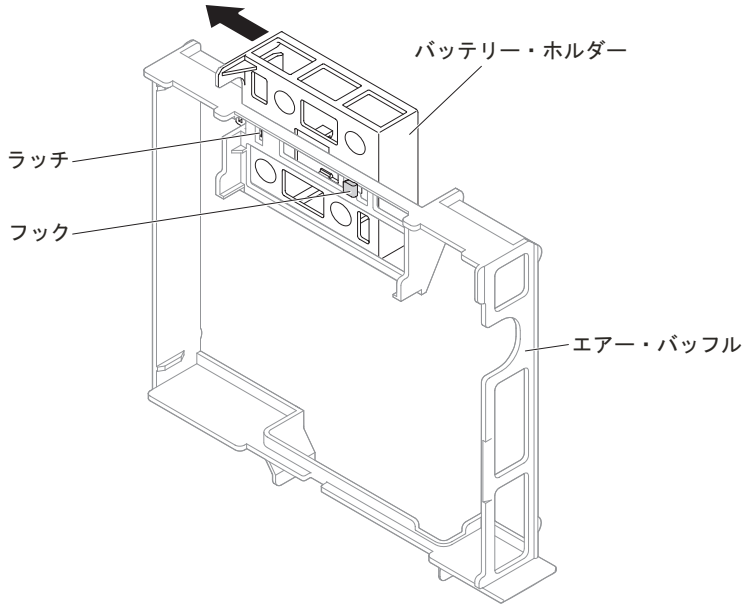


図 61. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの取り付け

4. エアー・バッフルを再取り付けします (135 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
5. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
6. ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。

7. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り外し

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ハード・ディスクがある場合は、取り外します (188 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
3. プランジャーを引き上げ、バックプレーンを内側にスライドさせてバックプレーンを取り外します。

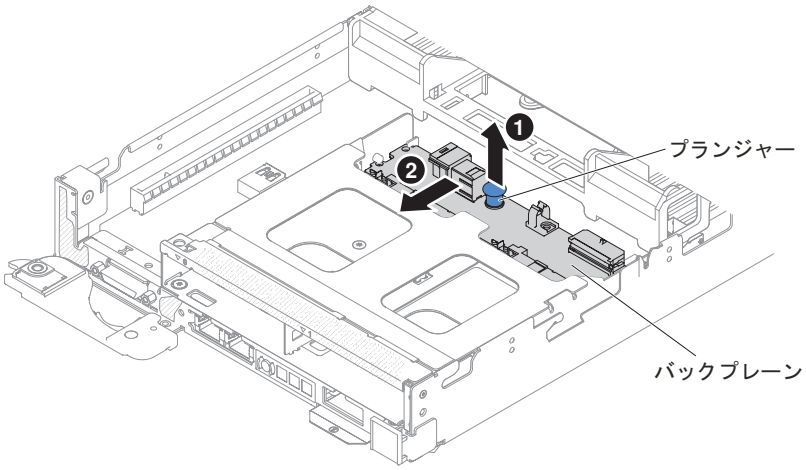


図 62. バックプレーンの取り外し

4. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージから 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。

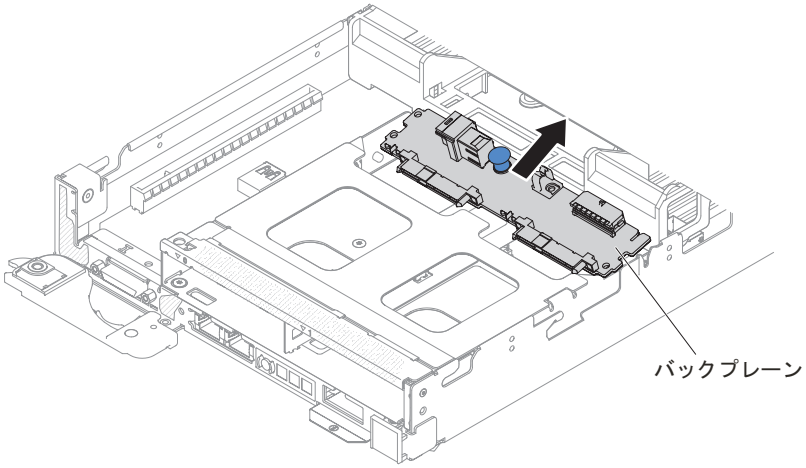


図 63. バックプレーンの取り外し

5. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンおよび電源コネクターから取り外します (245 ページの図 149 を参照)。
6. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージからねじを取り外します。

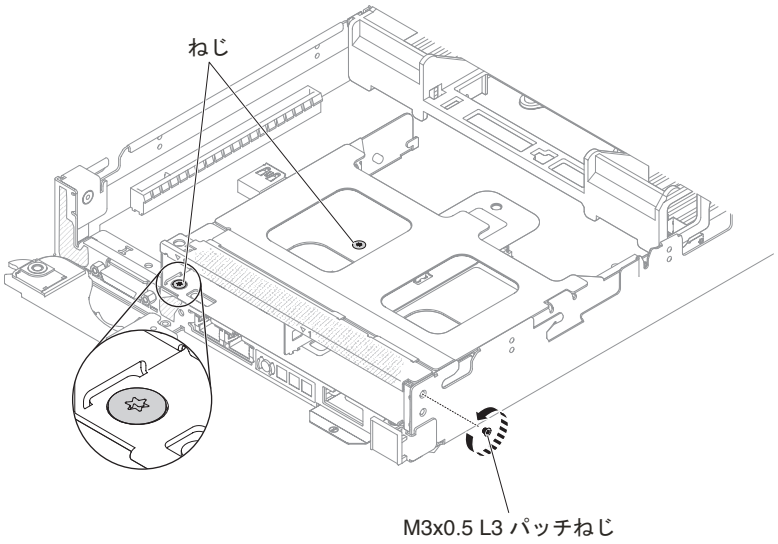


図 64. ねじの取り外し

7. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージをゆっくりとノードから持ち上げます。

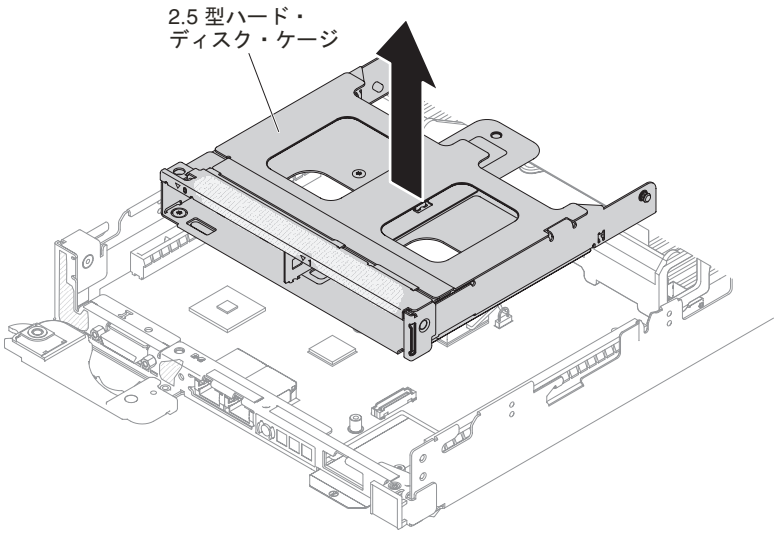


図 65. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り外し

8. オプションの前面ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り付け

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注: 16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ケージ・フィラー、右側の PCI ブラケット、および左側の PCI ブラケットが取り付けられている場合は取り外します。
3. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージをゆっくりとノードに下ろします。

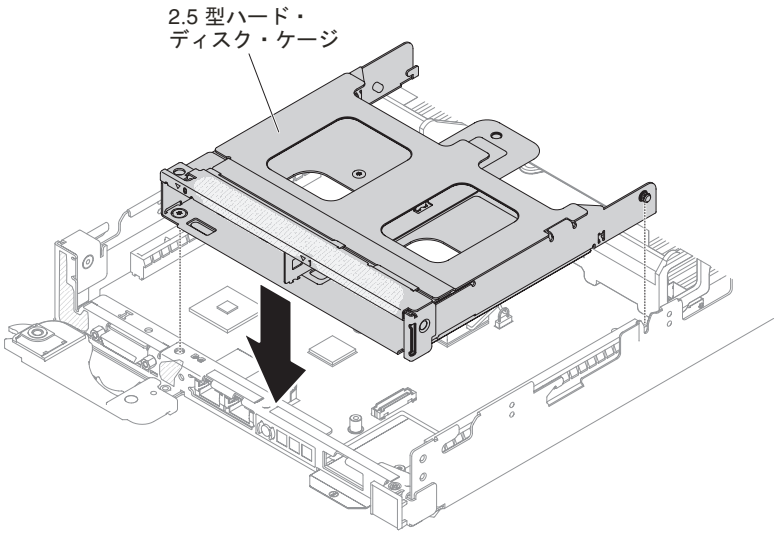


図 66. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージの取り付け

4. ねじを締め、オプションの前面ハード・ディスク・ケージをノードに固定します。

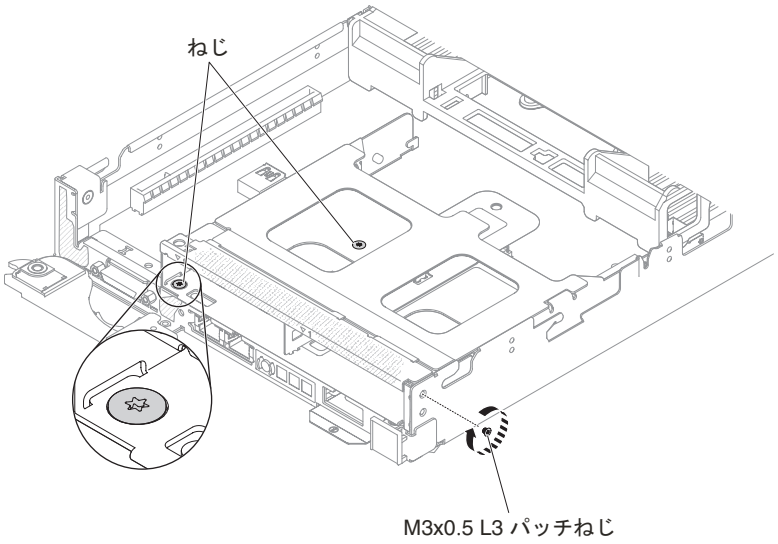


図 67. ねじの位置

5. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを、オプションの前面ホット・スワップ・バックプレーンに接続します (245 ページの図 149 を参照)。
6. オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージにバックプレーンを取り付けます。

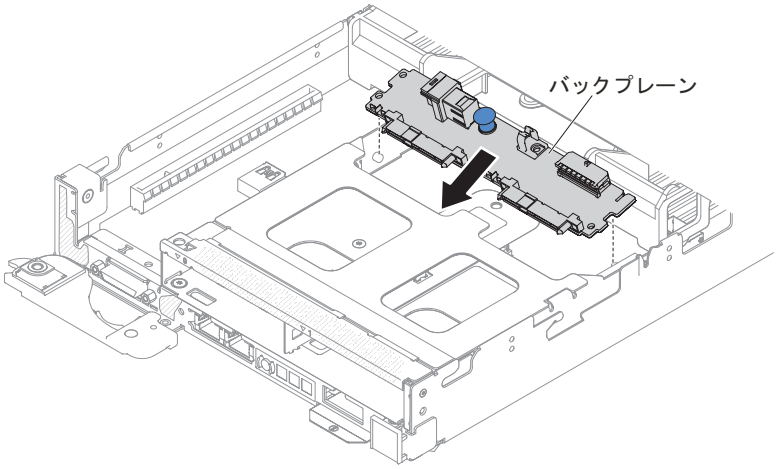


図 68. バックプレーンの取り付け

7. バックプレーンがカチッと音を立てて所定の位置にはまるまで、バックプレーンを押し下げ、スライドさせます。

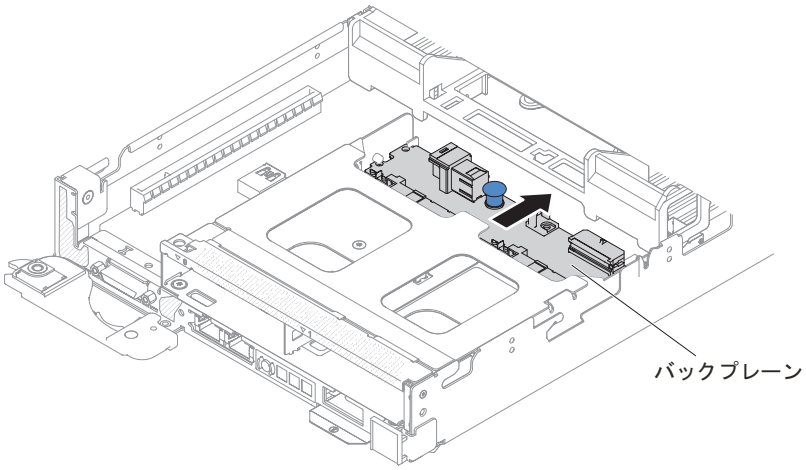


図 69. バックプレーンの取り付け完了

8. ケーブルを配線し、Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルのもう一方の端を RAID アダプターおよびプレーナー電源コネクターに接続します (. を参照)。
9. ハード・ディスクがある場合は、取り付けます (188 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
10. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
11. ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
13. 周辺装置とノードの電源をオンにします。

IMM インターポーザー・アセンブリーの取り外し

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. IMM インターポーザー・アセンブリーを計算ノードに固定している 2 本のねじを外します。ねじは後で使用するために取っておきます。

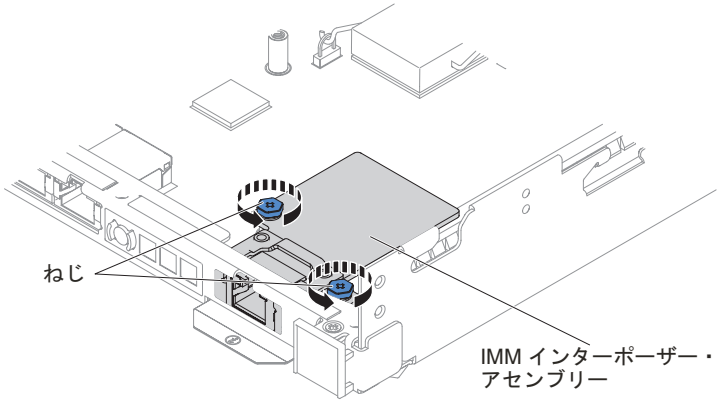


図 70. IMM インターポーザー・アセンブリーから外されるねじ

3. IMM インターポーザー・アセンブリーをスライドさせて計算ノードから取り外します。

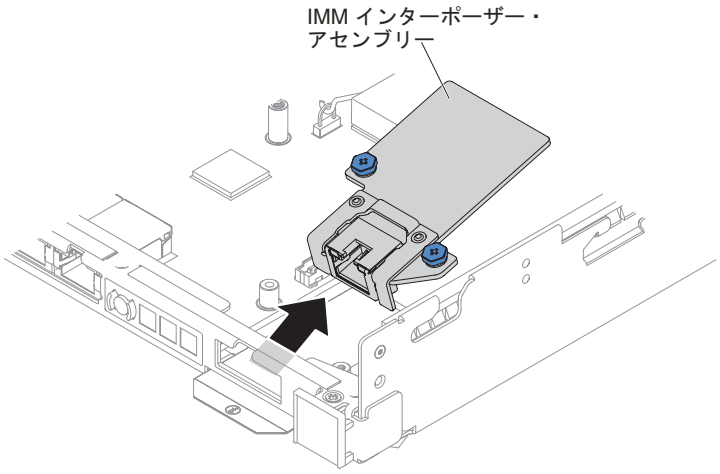


図 71. IMM インターポーザー・アセンブリーの取り外し

4. IMM インターポーザー・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

IMM インターポーザー・アセンブリーの再取り付け

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

IMM インターポーザー・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. IMM インターポーザー・アセンブリーを計算ノード内に取り付けます。

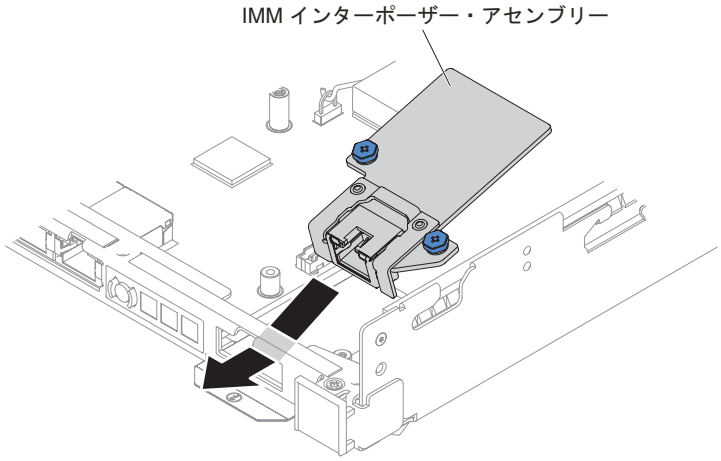


図 72. IMM インターポーザー・アセンブリーの取り付け

3. IMM インターポーザー・アセンブリーを計算ノードに固定する 2 本のねじを取り付けます。

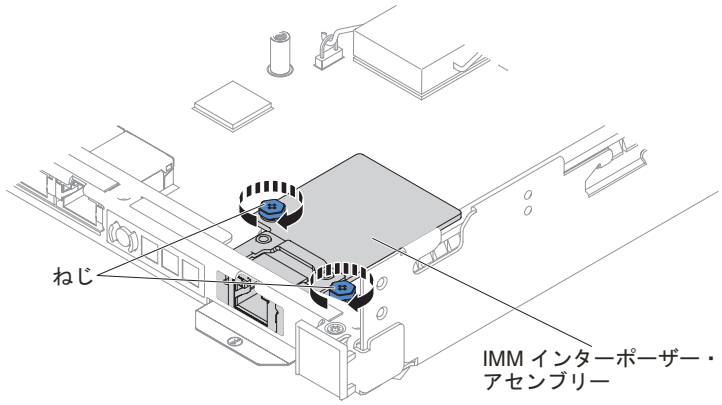


図 73. IMM インターポーザー・アセンブリーの取り付け

4. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
5. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

GPU トレイからの電源パドル・カードの取り外し

パドル・カードを GPU トレイから取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

パドル・カードを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

パドル・カードを GPU トレイから取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』を参照)。
2. GPU エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 電源パドル・カードに接続されているケーブルの接続位置を書き留めてから、ケーブルを切り離します。

4. 電源パドル・カードを GPU トレイに固定している 4 つのねじを取り外します。ねじは後で使用するために取っておきます。

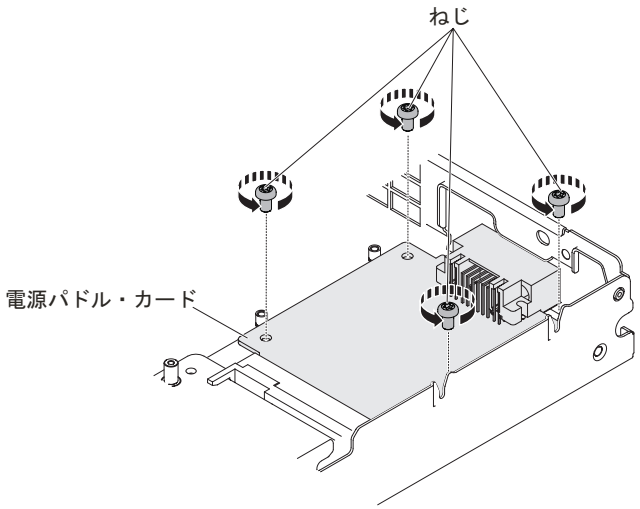


図 74. 電源パドル・カードねじの取り外し

5. 電源パドル・カードを GPU トレイから斜めに取り外します。

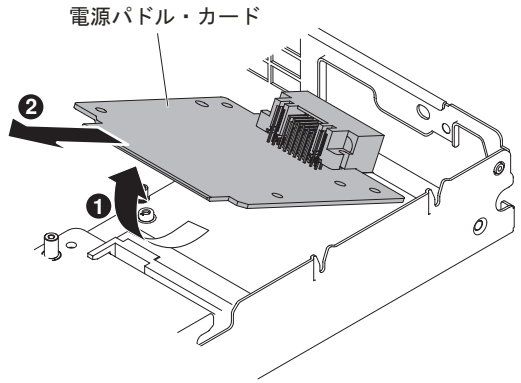


図 75. 電源パドル・カードの取り外し

6. 電源パドル・カードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従ってください。部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

GPU トレイへの電源パドル・カードの再取り付け

電源パドル・カードを GPU トレイに取り付けるには、以下の情報を使用します。

始める前に

パドル・カードを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

電源パドル・カードを GPU トレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 電源パドル・カードを GPU トレイの止め金具上に斜めに置きます。

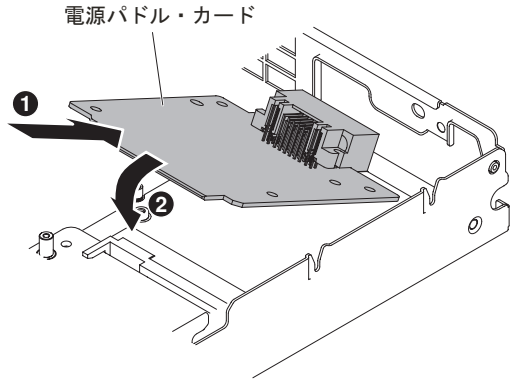


図 76. 電源パドル・カードの取り付け

3. 電源パドル・カードを GPU トレイに固定する 4 本のねじを取り付けます。

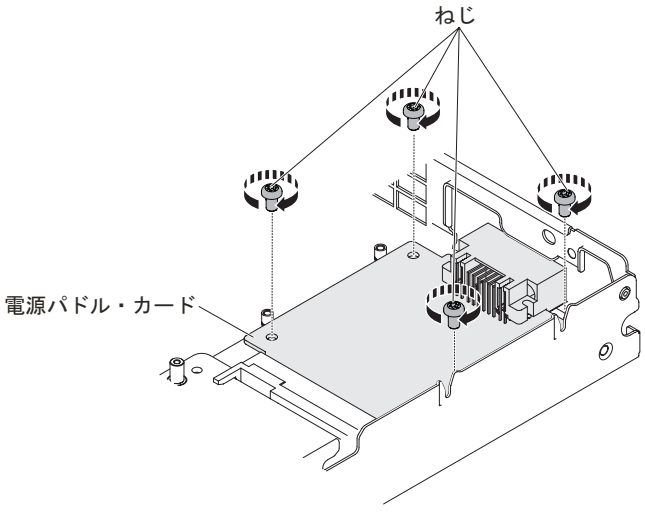


図 77. 電源パドル・カードねじの取り付け

4. 電源パドル・カードのケーブルを再接続します。

5. GPU エアー・バッフルを再び取り付けます (135 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
6. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
7. コンピュート・ノードをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とコンピュート・ノードの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、CMOS バッテリーを取り外します。

始める前に

システム・バッテリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。
- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、 Lenovo 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを 使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100°C (212°F) 以上に加熱する**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (204 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。
   a. 指の爪で、バッテリー・クリップの上部を押してバッテリーから離します。バッテリーは解放されると持ち上がります。
   b. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

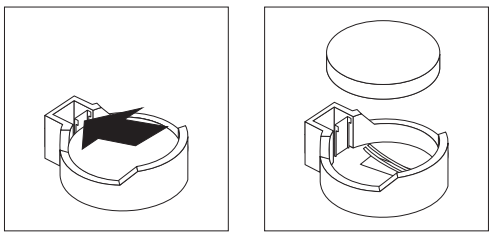


図 78. システム・バッテリーの取り外し

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

4. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、Lenovo *Documentation* CD の「*Lenovo Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

始める前に

システム・バッテリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、 Lenovo 営業担当員または認定リセラーに電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全に関する注記 2



注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、 Lenovo 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを 使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100°C (212°F) 以上に加熱する**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
3. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を完全に引き上げます (204 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
   a. バッテリーの向きを、プラス側が上を向くようにします。
   b. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。

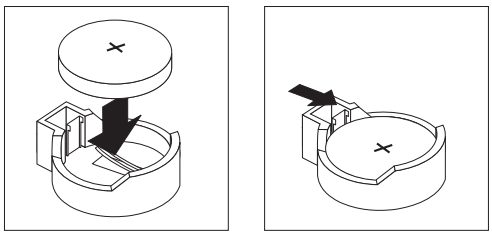


図 79. システム・バッテリーの取り付け

   c. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認 します。
5. 必要があれば、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を再び取り付けます (205 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
6. カバーを取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
9. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
   - システムの日付と時刻を設定します。
   - 始動パスワードを設定します。
   - サーバーを再構成します。

   詳しくは、 32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

始める前に

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. DIMM 13、DIMM 14、DIMM 15、または DIMM 16 を取り外す場合は、先に ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します。
4. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

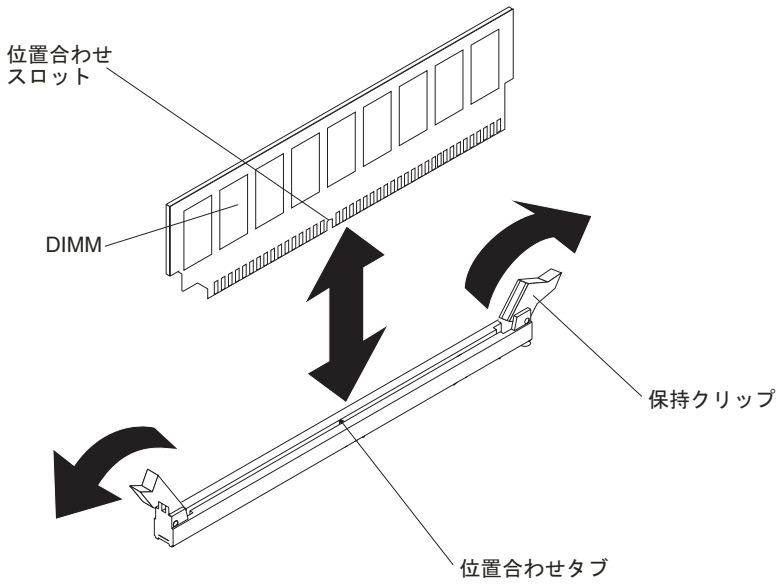


図 80. DIMM の取り外し

5. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、コンピュート・ノードがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付ける際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、コンピュート・ノードの構成情報が変更されます。コンピュート・ノードを再始動すると、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージがシステムで表示されます。
- この計算ノードは、業界標準の double data rate 4 (DDR4)、1600、1866、または 2133 MHz、PC4-12800、PC4-14900、または PC4-17000 Registered あるいは Load Reduction、SDRAM エラー修正コード (ECC) 付きデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。このコンピュート・ノードに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
  - DDR4 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

    ggggg eRxff PC3*v-wwwwwm-aa-bb-ccd*

    ここで、それぞれ以下の意味があります。
    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
    - *eR* はランク数です。

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。

      x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)

      x8 = x8 編成

      x16 = x16 編成
    - *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
      - ブランク = 1.2 V 指定
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      12800 = 12.80 GBps (DDR4-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      14900 = 14.93 GBps (DDR4-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      17000 = 17.00 GBps (DDR4-2133 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
    - *m* は、DIMM のタイプです。

      E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

      L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)

      R = Registered DIMM (RDIMM)

      U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
    - *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
    - *bb* は、JEDEC SPD 改訂のエンコードおよび追加レベルです。
    - *cc* は、DIMM 設計のリファレンス設計ファイルです。

- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、 xxxxx *n*Rxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx という形式です。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (*n*=1) であるか、dual-rank (*n*=2) であるか、quad-rank (*n*=4) であるかを示します。

- チャネル内の RDIMM 数に応じて、DDR4 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
  - チャネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1866 MHz で稼働します。
  - チャネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けた場合、メモリーは 1600 MHz で稼働します。
  - サーバー内のすべてのチャネルは、最も高速な共通周波数で稼働します。
  - registered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサー、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、コンピュート・ノードは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
  - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-ranl、または quad-rank RDIMM、または LRDIMM が同じチャネルに取り付けられている。Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。1.35 V UDIMM、RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- 計算ノードは、最大 16 個の single-rank、dual-rank RDIMM または 16 個の quad-rank LRIMM をサポートします。
- 次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 10. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
16	Single-rank RDIMM	4 GB	64 GB
16	Single-rank RDIMM	8 GB	128 GB
16	Dual-rank RDIMM	8 GB	128 GB
16	Dual-rank RDIMM	16 GB	256 GB
16	Quad-rank LRDIMM	32 GB	512 GB

- このコンピュート・ノードで使用可能な RDIMM オプションは、4 GB、8 GB および 16 GB です。このコンピュート・ノードは、RDIMM を使用した場合、最小 4 GB、最大 256 GB のシステム・メモリーをサポートします。

- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB です。この計算ノードは、LRDIMM を使用した場合、最小 32 GB、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- それぞれのマイクロプロセッサーごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、コンピュート・ノードに 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、少なくとも 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサーについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- 計算ノードが適切に作動することを確実にするために、計算ノード内の DIMM は同じタイプでなければなりません。
- チャネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサーから最も遠い DIMM コネクターに取り付けてください。

Notes:

1. マイクロプロセッサー 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサー 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサー 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。
2. DIMM スロット 9 から 16 は、マイクロプロセッサー 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 9 から 16 は、マイクロプロセッサー 2 を取り付けた場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

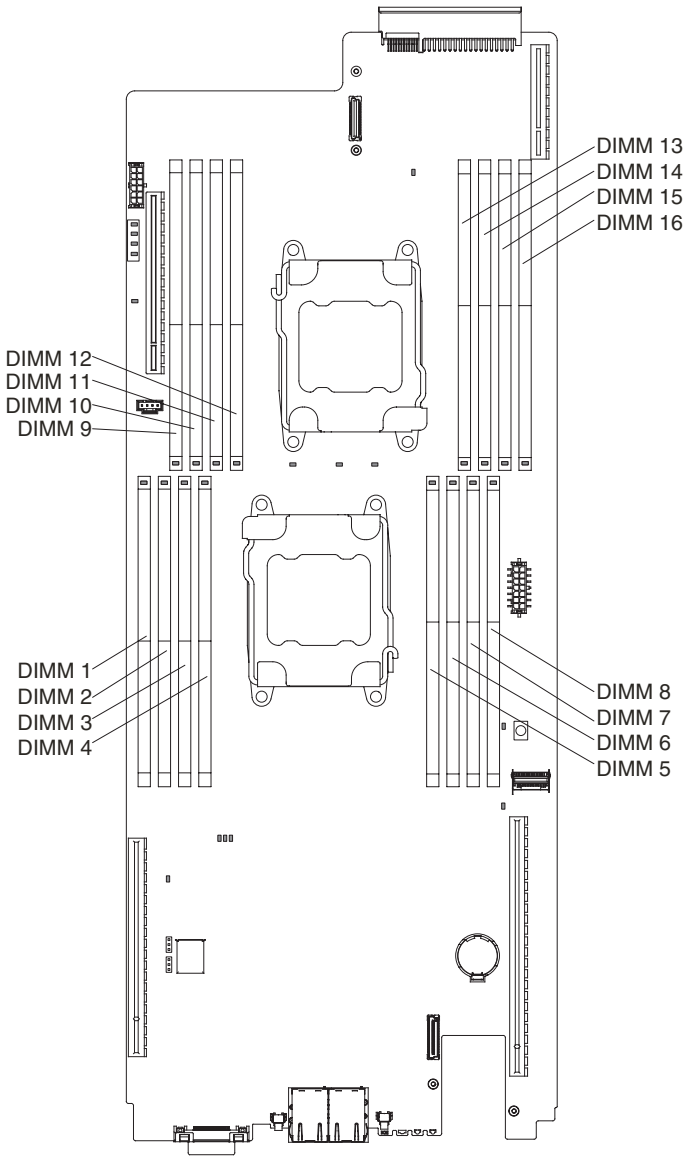


図 81. DIMM コネクターの位置

DIMM の取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 4 GB DIMM がスロット 4 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサーのメモリー・インターフェース上のチャネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 11. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	8, 1, 6, 3, 7, 2, 5, 4
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	8, 9, 1, 16, 6, 11, 3, 14, 7, 10, 2, 15, 5, 12, 4, 13

メモリー・ランク・スペアリング

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストしています。

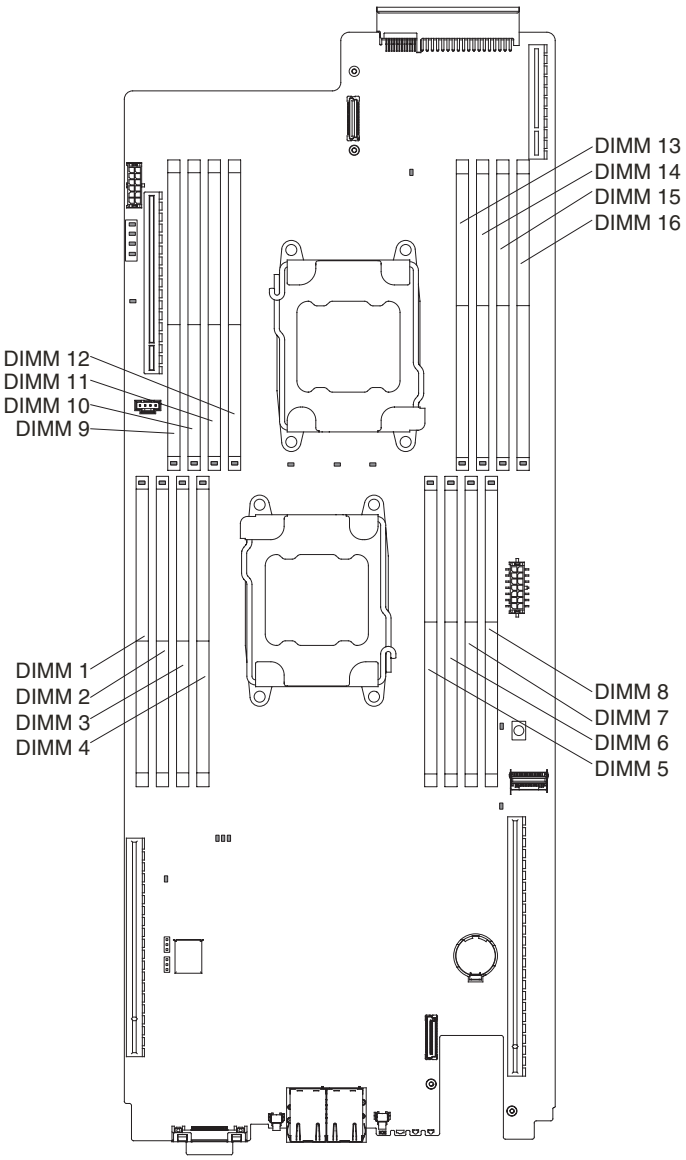


図 82. 各メモリー・チャネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。
- 偶数個の single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 12. quad-rank RDIMM のみが取り付けられた場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	7, 8-> 1, 2-> 5, 6-> 3, 4
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	7, 8-> 9, 10-> 1, 2-> 15, 16-> 5, 6-> 11, 12-> 3, 4-> 13, 14

メモリー・ミラーリング・チャネル

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、データが 2 つのチャネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでは、メモリの内容がチャネル 0 とチャネル 1 の間およびチャネル 2 とチャネル 3 の間でミラーリングされます。ミラーリングの結果、システムで使用可能な物理メモリーの合計は装着されているサイズの半分になります。ミラーリング・チャネル・モードでは、チャネル 0 とチャネル 1 の間およびチャネル 2 とチャネル 3 の間で、装着されているサイズと編成が同一である必要があります。チャネル内での DIMM スロットの装着が同一である必要はありませんが、チャネル 0 とチャネル 1、およびチャネル 2 とチャネル 3 における同じ DIMM スロットの位置は同様に装着されていなければなりません。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。Setup ユーティリティーを使用してメモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にするには、「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択します。詳しくは、32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャネル機能を使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が同一である必要はありません。チャネルは、すべてのチャネル内で最も遅い速度の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 8 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャネルを使用すると 4 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの取り付け順序を示しています。

表 13. メモリー・ミラーリング・チャネル・モードでの DIMM の装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサー数	**DIMM コネクター取り付け順序**
マイクロプロセッサーを 1 つ取り付け済み	6, 8-> 1, 3-> 5, 7-> 2, 4
マイクロプロセッサーを 2 つ取り付け済み	6, 8-> 9, 11-> 1, 3-> 14, 16-> 5, 7-> 10, 12-> 2, 4-> 13, 15

メモリー・モジュールの交換

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

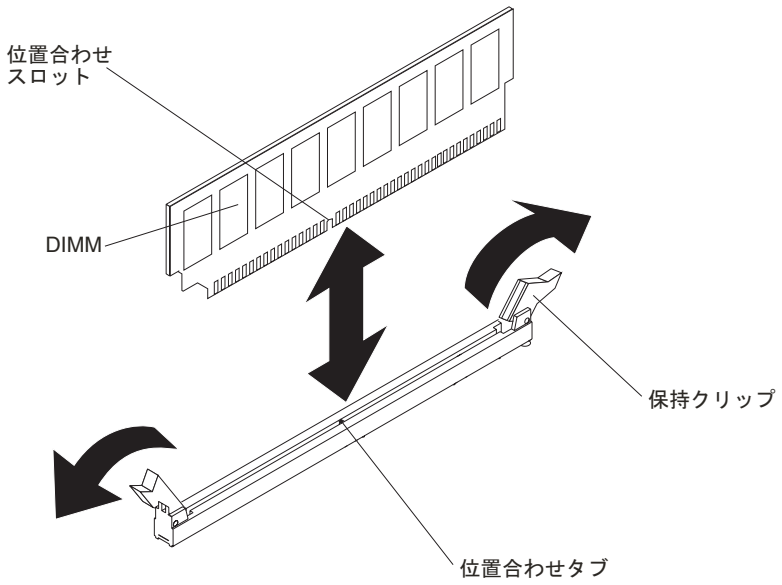


図 83. DIMM の取り付け

4. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
5. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
6. DIMM の両端を DIMM コネクターの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクターに挿入します。
7. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

8. エアー・バッフルを再取り付けします (135 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

   注: エアー・バッフルを交換する前に、DIMM の取り付けられていないスロットも含め、すべての保持クリップを閉じてください。

9. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ハード・ディスク・バックプレートの取り外し

ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・バックプレートを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、以下のステップを実行してください。

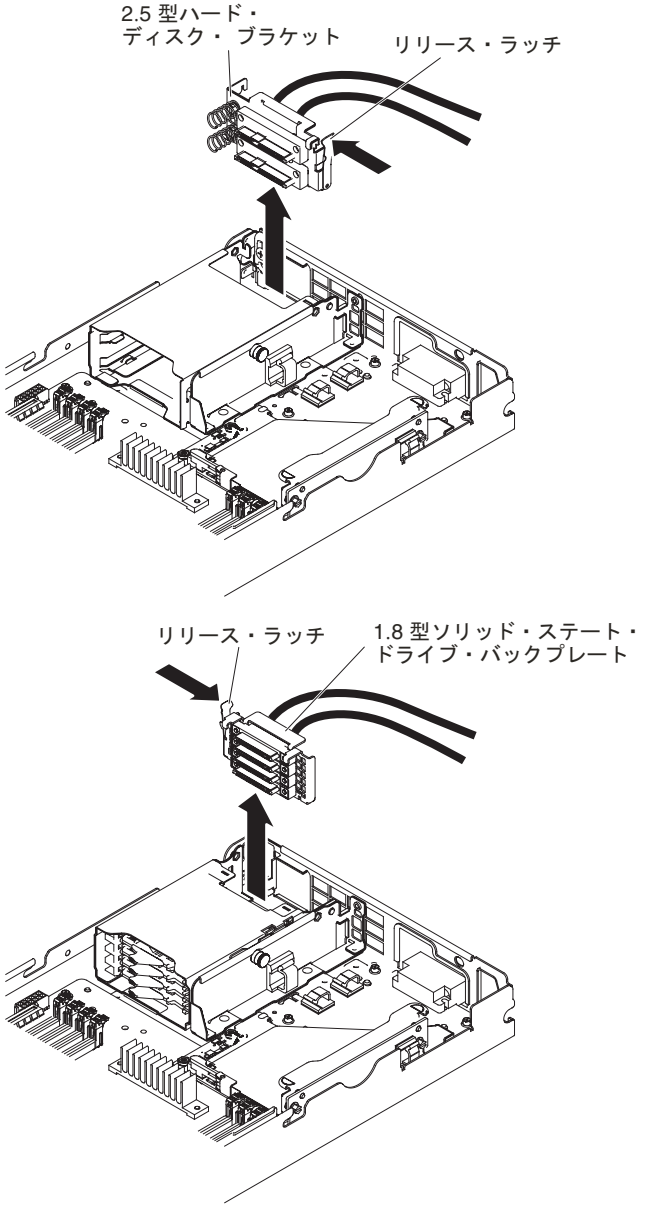


図 84. 2.5 型および 1.8 型それぞれにおける HDD バックプレートの取り外し

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ハード・ディスクを取り外します (188 ページの『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
3. イージー・スワップ・ハード・ディスクのラッチを解除して、(ドライブまたはフィラーを外せるようになるまで) わずかに外側に引き出します。
4. プレーナーまたは RAID アダプターからケーブルを取り外します。
5. リリース・ラッチを解除し、ハード・ディスク・バックプレートを持ち上げて取り外します。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ハード・ディスク・バックプレートの取り付け

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

ハード・ディスク・バックプレートを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けるには、次のステップを実行してください。

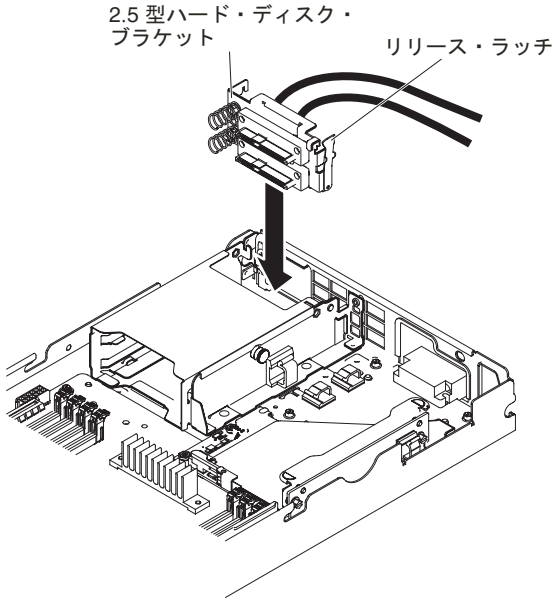


図 85. 2.5 型のバックプレートの取り付け

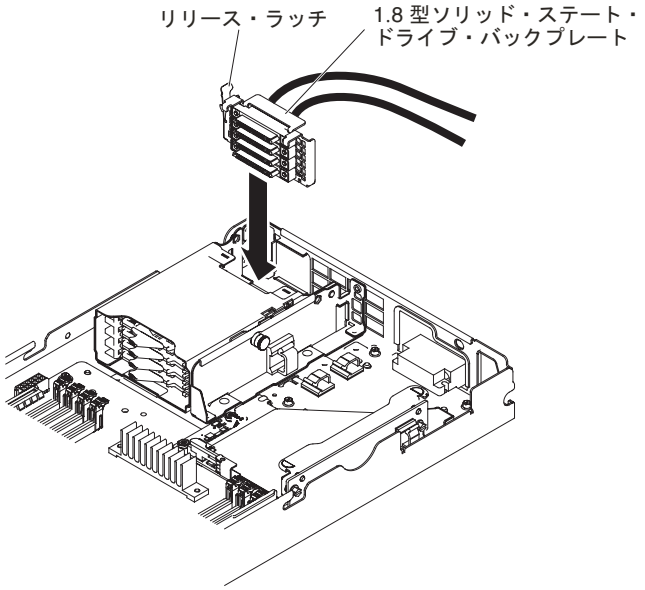


図 86. 1.8 型のバックプレートの取り付け

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ハード・ディスクを取り外します (『ドライブの取り外しと取り付け』を参照)。
3. バックプレートとハード・ディスク・ケージの位置を合わせ、バックプレートを所定の位置に押し込みます。
4. リリース・ラッチを閉じます。
5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをプレーナー・コネクターまたは RAID アダプターに接続します。
6. ハード・ディスクをベイの中にスライドさせて入れ、コネクターにしっかり装着します。
7. 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブの場合は、リリース・レバーを閉じて、ハード・ディスクを所定の位置にロックします。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

ドライブの取り外しと取り付け

ドライブの取り外しと取り付けを行うには、この情報を使用します。

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポー

トされているハード・ディスクのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- 計算ノードは、最大 2 個の 2.5 型 ホット・スワップ SFF、1 個の 3.5 型、2 個の 2.5 型、イージー・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク、または 4 個の 1.8 型 ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。
- サーバーがサポートするオプション装置の完全なリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

3.5 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り外します。

このタスクについて

3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. リリース・ラッチを押し下げます。
6. ハード・ディスクを外側に押して、持ち上げてベイから外します。

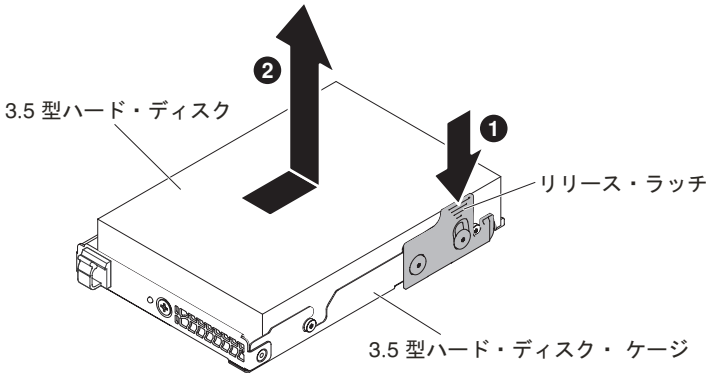


図 87. 3.5 型ハード・ディスクの取り外し

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

3.5 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

3.5 型ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。

このタスクについて

3.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. ディスク・ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからディスク・ドライブを取り出して、帯電防止面に置きます。

6. ドライブをベイのガイド・レールに位置合わせし、ドライブ・アセンブリーが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

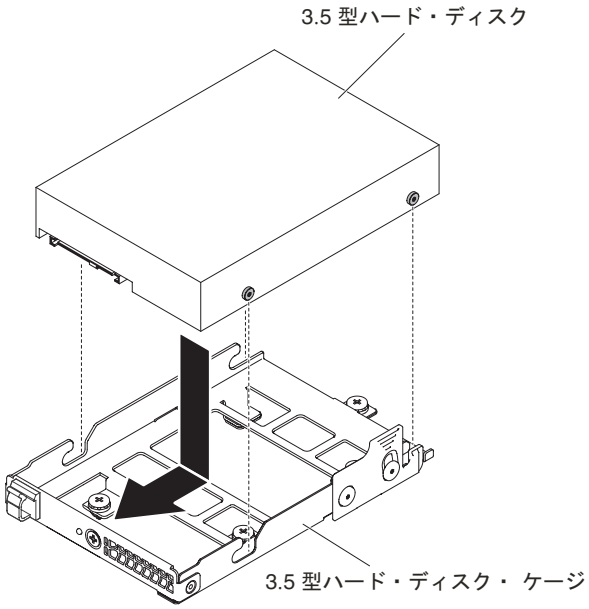


図 88. 3.5 型ハード・ディスクの取り付け

7. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 79 ページの『ハード・ディスクの問題』を参照してください。

   注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID アダプターについて詳しくは、Lenovo Web サイト (http://support.lenovo.com/) の RAID 資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

2.5 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、2.5 型ハード・ディスクを取り外します。

始める前に

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

2.5 型ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

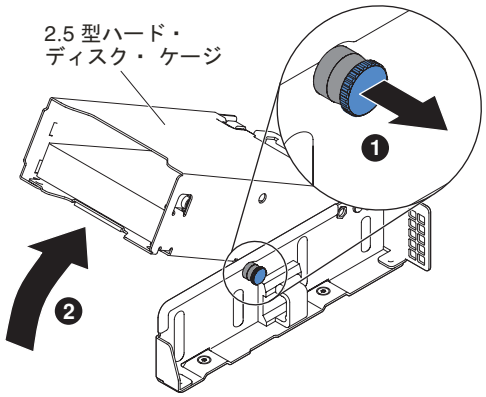


図 89. 2.5 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. このラッチを慎重に外側に少し押して、ねじをラッチ・ホールから解放します。次に、ハード・ディスクを取り外します。

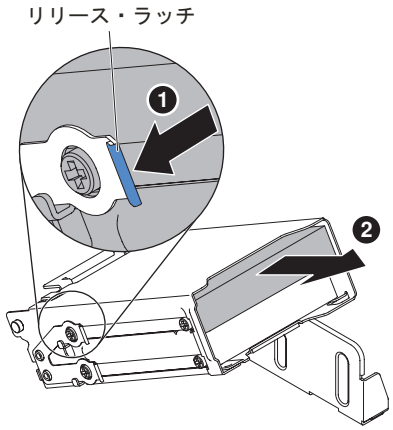


図 90. 2.5 型ハード・ディスクの取り外し

7. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

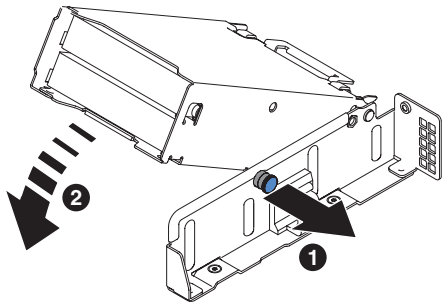


図 91. 2.5 型ハード・ディスクを下げる

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

2.5 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、2.5 型ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- コンピュート・ノードはそのモデルに応じて、ベイ内に最大 2 個の 2.5 型 SAS/SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。

- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスループット速度で作動することがあります。
- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、コンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

2.5 型ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

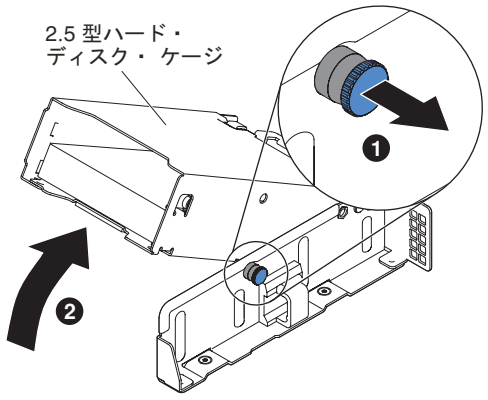


図 92. 2.5 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
7. ドライブをハード・ディスク・ケージのベイに位置合わせし、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

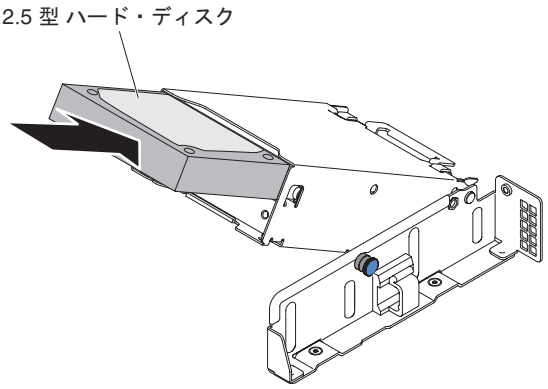


図 93. 2.5 型ハード・ディスクの取り付け

8. 2.5 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

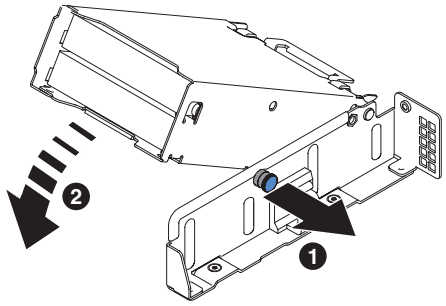


図 94. 2.5 型ハード・ディスクを下げる

注:

a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*Lenovo ServeRAID Support* CD に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

1.8 型ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、1.8 型ハード・ディスクを取り外します。

始める前に

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

1.8 型ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

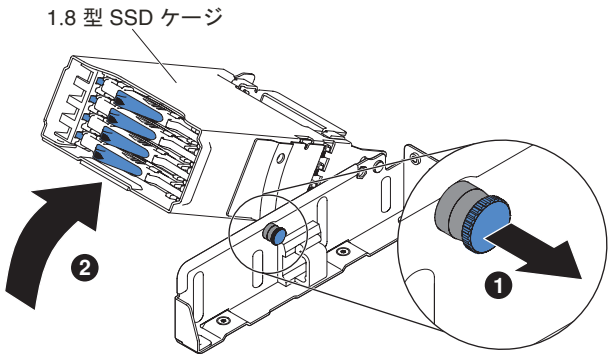


図 95. 1.8 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. リリース・ラッチを外側に押してドライブ・ハンドルを解放します。

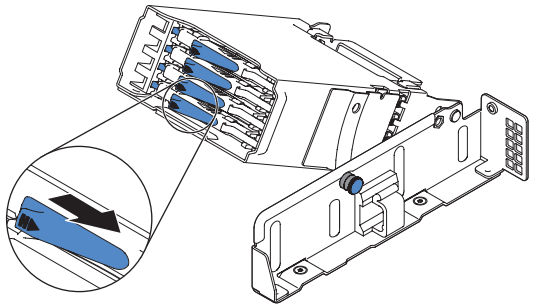


図 96. 1.8 型ハード・ディスクの取り外し

7. ドライブ・ハンドルのラッチを解除します。

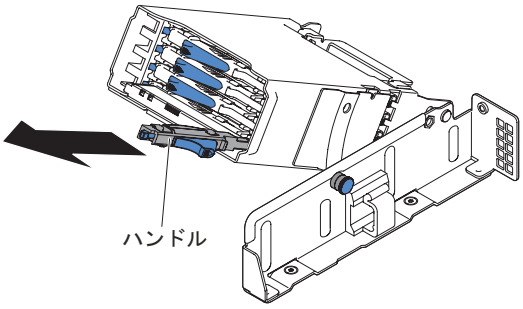


図 97. 1.8 型ハード・ディスクの取り外し

8. 次に、ドライブ・ベイからドライブを引き抜きます。

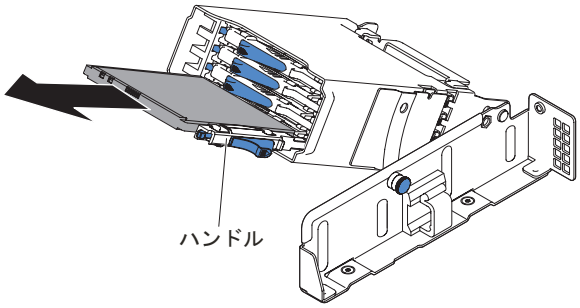


図 98. 1.8 型ハード・ディスクの取り外し

9. ケージ・ハンドルを所定の位置まで閉じます。
10. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

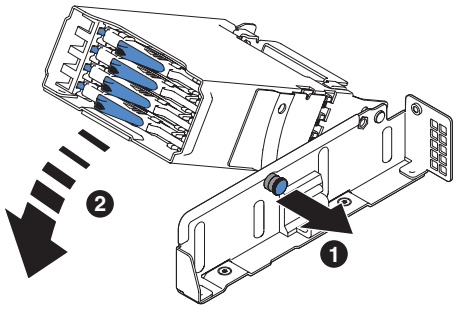


図 99. 1.8 型ハード・ディスクを下げる

次のタスク

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

1.8 型ハード・ディスクの取り付け

以下の情報を使用して、1.8 型ハード・ディスクを取り付けます。

始める前に

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- コンピュート・ノードはそのモデルに応じて、ベイ内に最大 4 個の 1.8 型 SAS/SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。

- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット定格速度でなければなりません。異なる定格速度のドライブを使用した場合、すべてのドライブが最低のスループット速度で作動することがあります。
- ケーブルの取り付けまたは取り外しを含む手順を実行する場合、コンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このタスクについて

1.8 型ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
5. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージを上側に回転させます。

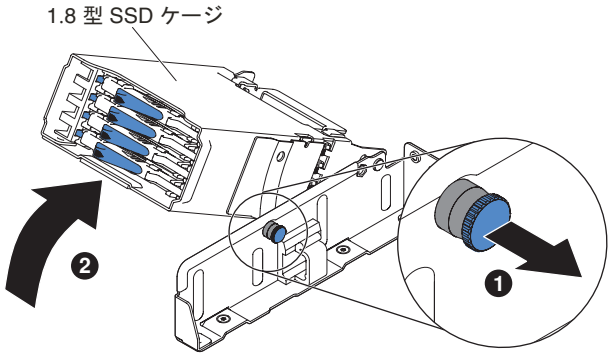


図 100. 1.8 型ハード・ディスク・ケージを持ち上げる

6. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
7. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。

8. トレイ・ハンドルが開いていることを確認し、ドライブが所定の位置にカチッと音を立てて収まるまでドライブ・ベイに慎重にスライドして挿入します。

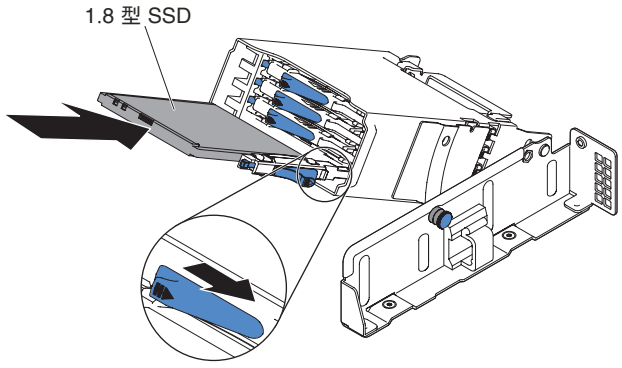


図 101. 1.8 型ハード・ディスクの取り付け

9. 1.8 型ハード・ディスク・ケージのプランジャーを外側に引き、ケージがカチッと音を立てて所定の位置になるまで、ケージを下側に回転させます。

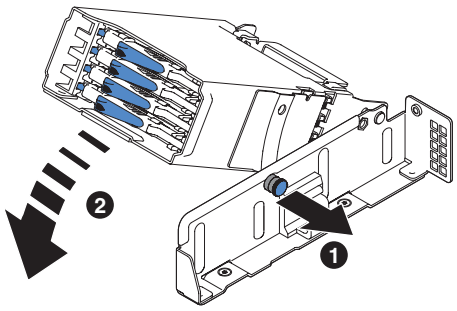


図 102. 1.8 型ハード・ディスクを下げる

注:

a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、*Lenovo ServeRAID Support* CD に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

次のタスク

ハード・ディスク・バックプレートを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。

2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

始める前に

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ML2 ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 ML2 ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指で計算ノードの左側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、システム・ボードの ML2 ライザー・ケージ・スロットから持ち上げて取り外します。

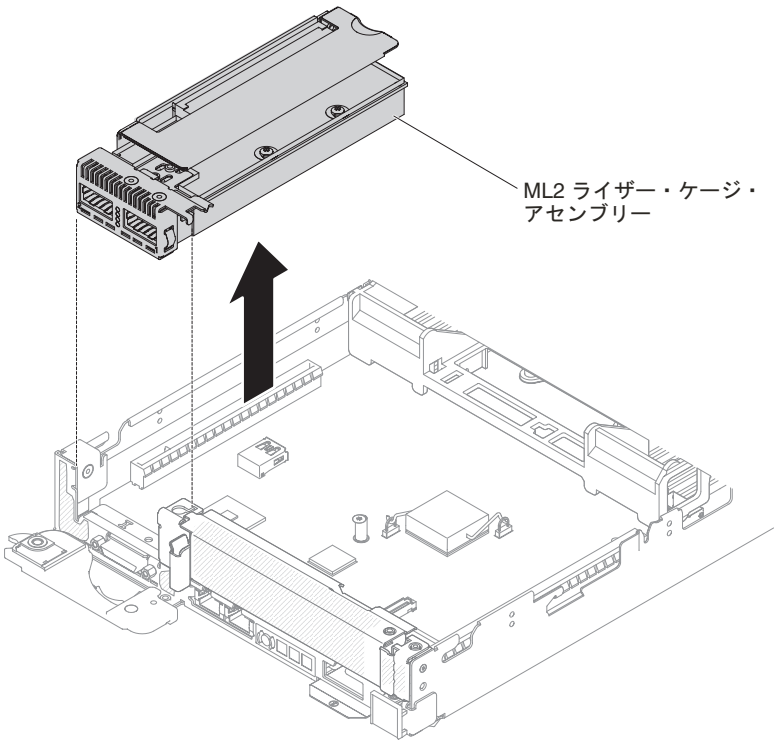


図 103. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

3. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
4. アダプターがある場合は、それを ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (209 ページの『アダプター/GPU アダプターの取り外し』を参照)。
5. アダプターと ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
6. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け

始める前に

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注: 16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ML2 フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー前面から取り外します。
3. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある ML2 ライザー・コネクターと位置合わせしてから、ML2 ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
4. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクターに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

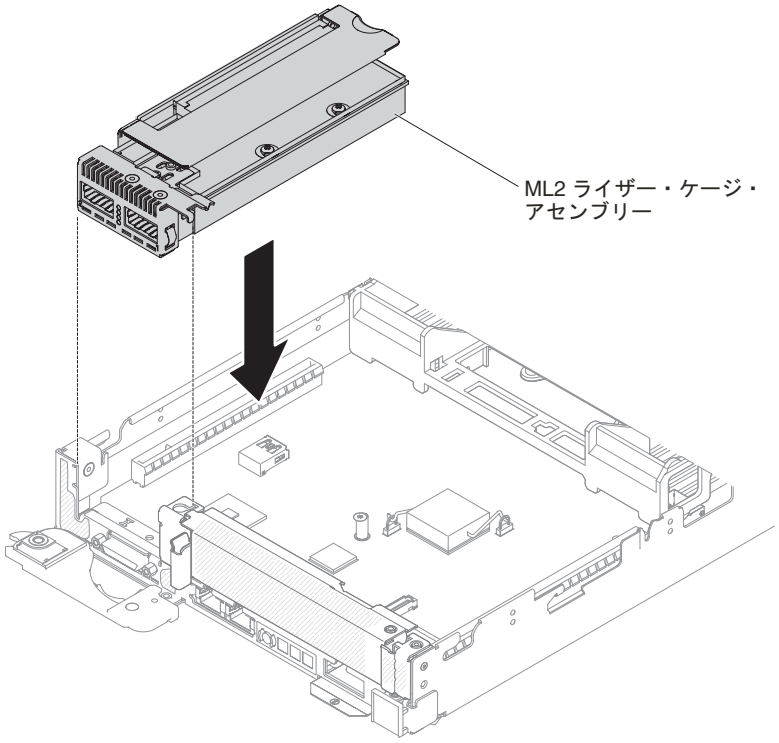


図 104. ML2 ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

5. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

始める前に

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指でコンピュート・ノードの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・ケージ・スロットから出します。

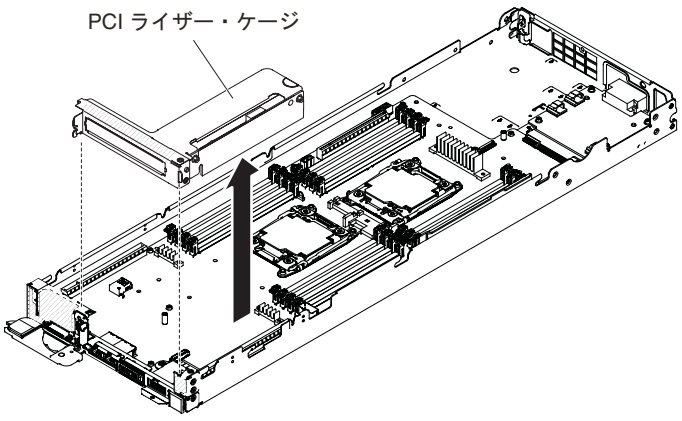


図 105. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて取り外します。
4. アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (209 ページの『アダプター/GPU アダプターの取り外し』を参照)。
5. アダプターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。

6. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け

始める前に

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注:

1. アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。
2. 16 個すべての DIMM スロットに、DIMM または DIMM フィラーを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー前面から取り外します。
3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある PCI ライザー・コネクターと位置合わせしてから、PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクターに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

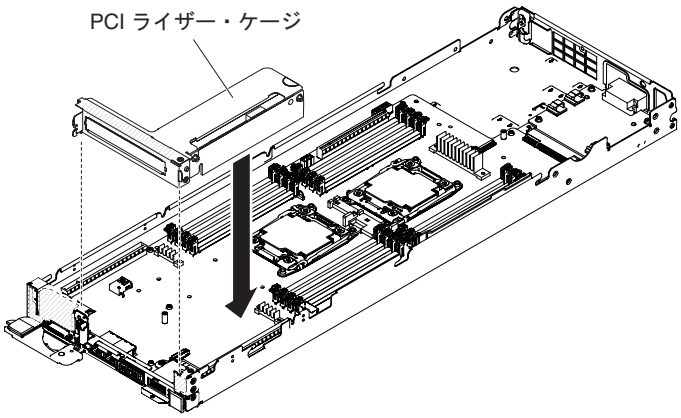


図 106. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

5. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

始める前に

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイから取り外す前に、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注: GPU アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

GPU トレイの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部 PCI ライザー・ケージの適切な場所をつかみます。親指でコンピュート・ノードの右側のベゼル (小さい四角の面) を押し下げ、持ち

上げてシステム・ボードの PCI ライザー・ケージ・スロットから出します。

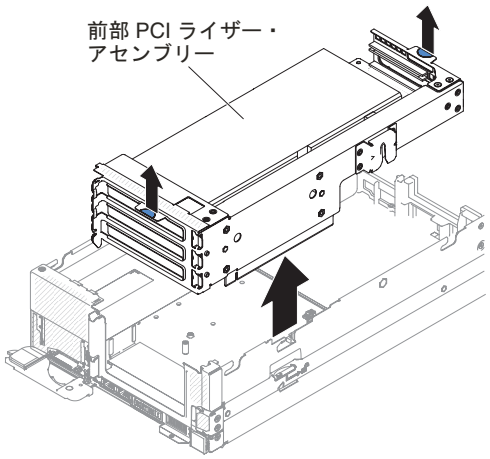


図 107. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

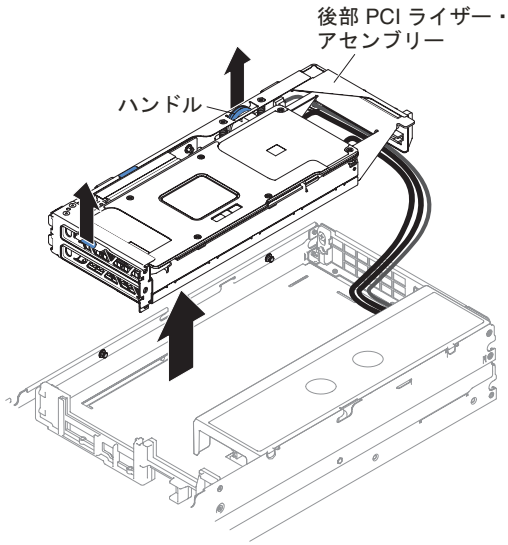


図 108. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し

3. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーに GPU アダプターが取り付けられている場合は、そのアダプターに接続されているケーブルをすべて切り離します。
4. GPU アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから取り外します (209 ページの『アダプター/GPU アダプターの取り外し』を参照)。
5. GPU アダプターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを脇に置いておきます。
6. GPU トレイを計算ノードから取り外します (128 ページの『計算ノードからの GPU トレイの取り外し』を参照)。
7. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

GPU トレイへの PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け

始める前に

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに取り付ける前に、以下の手順を実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

注: GPU アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・ケージ・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを GPU トレイに取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 新しい PCI ライザー・ケージ・アセンブリーに GPU アダプターを取り付けます (211 ページの『アダプター/GPU アダプターの再取り付け』を参照)。
3. PCI フィラー・パネル (取り付けられている場合) をサーバーから取り外します。
4. GPU トレイを計算ノードに再び取り付けます (129 ページの『GPU トレイの計算ノードへの取り付け』を参照)。
5. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを、システム・ボードにある PCI ライザー・コネクターと位置合わせしてから、PCI ライザー・ケージのタッチ・ポイント後部、および PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの前部の適切な場所をつかみます。
6. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボードのコネクターに正しく収まるまで、しっかりと押し下げます。

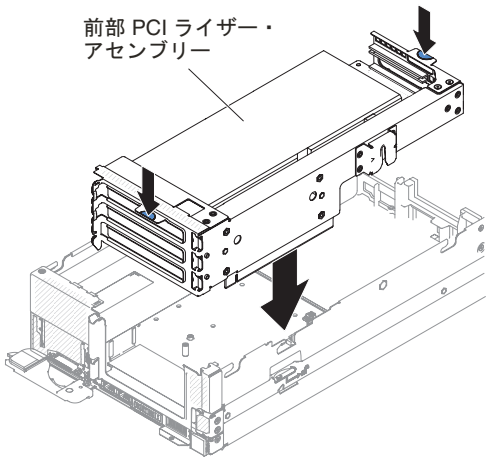


図 109. 前部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

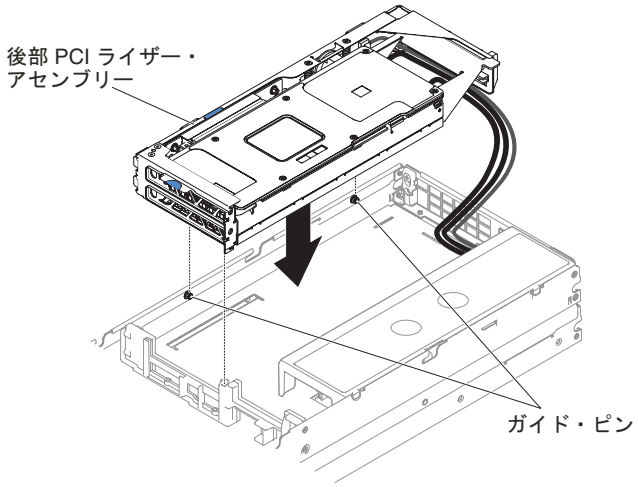


図 110. 後部 PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り付け

7. カバーを取り付け直します (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプター/GPU アダプターの取り外し

アダプター/GPU アダプターを取り外すには、以下の情報を使用します。

始める前に

アダプター/GPU アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

アダプター/GPU アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを青色のタブをつかんで持ち上げ、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外します。
3. アダプター/GPU アダプターからケーブルをすべて切り離します。
4. 平らな帯電防止面の上に PCI ライザー・ケージ・アセンブリーを置きます。
5. アダプター/GPU アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーから引き抜きます。

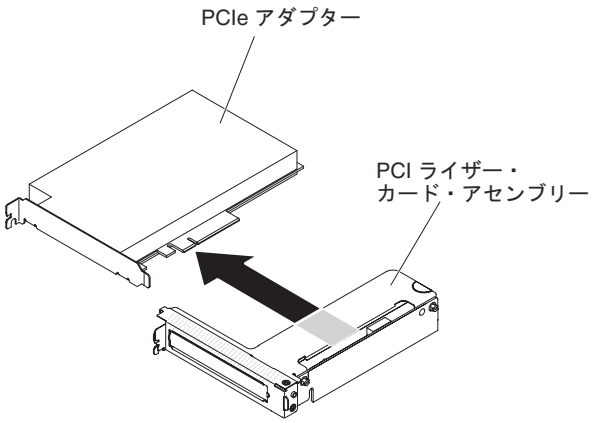


図 111. アダプターの取り外し

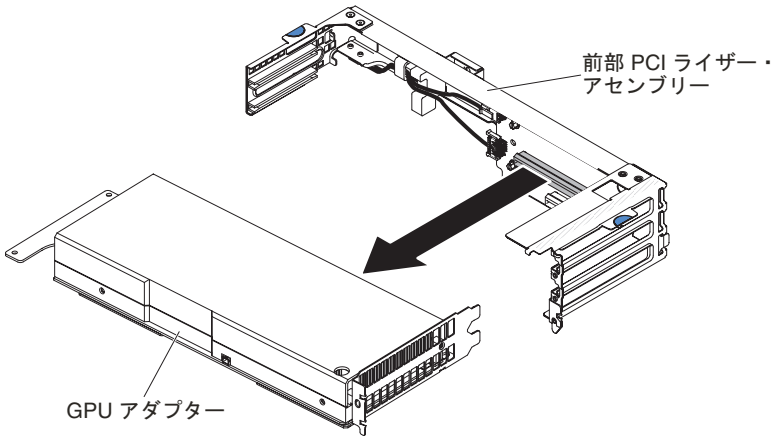


図 112. GPU アダプターの取り外し (前部 PCI ライザー・アセンブリー)

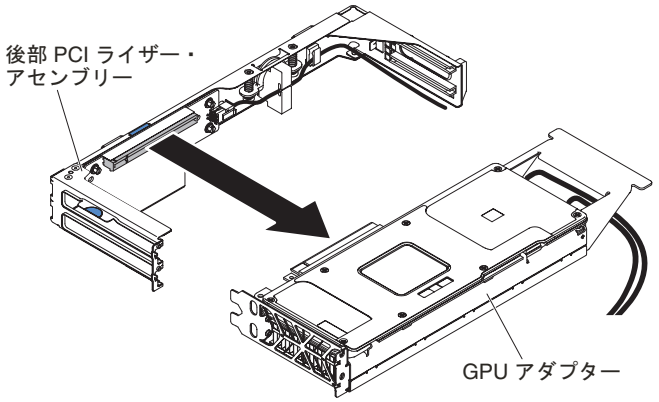


図 113. GPU アダプターの取り外し (後部 PCI ライザー・アセンブリー)

タスクの結果

アダプター/GPU アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法のすべての説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプター/GPU アダプターの再取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

始める前に

アダプター/GPU アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。

3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- 構成情報については、ServeRAID 資料 () を参照してください。
- どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・ケージ・アセンブリーを取り外す前に、給電部から電源コードを切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。

アダプター/GPU アダプターを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. アダプター/GPU アダプターに付属している配線指示書があれば、その指示に従います。アダプター/GPU アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
3. アダプター/GPU アダプター上のエッジ・コネクターと PCI ライザー・ケージ・アセンブリーのコネクターとを位置合わせして、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにアダプター/GPU アダプターを挿入します。コネクターの端を、PCI ライザー・ケージ・アセンブリーにしっかりと 押し込みます。アダプター/GPU アダプターが PCI ライザー・ケージ・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

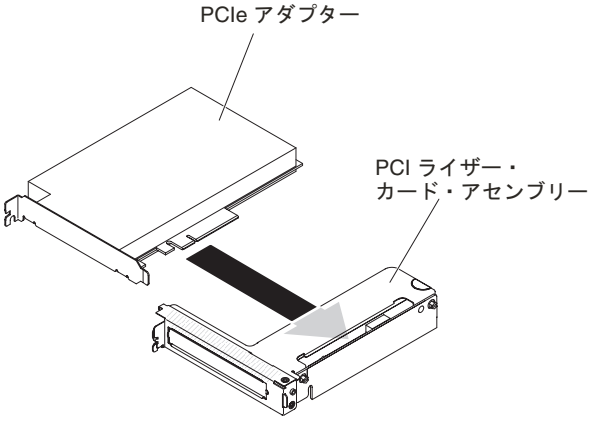


図 114. アダプターの取り付け

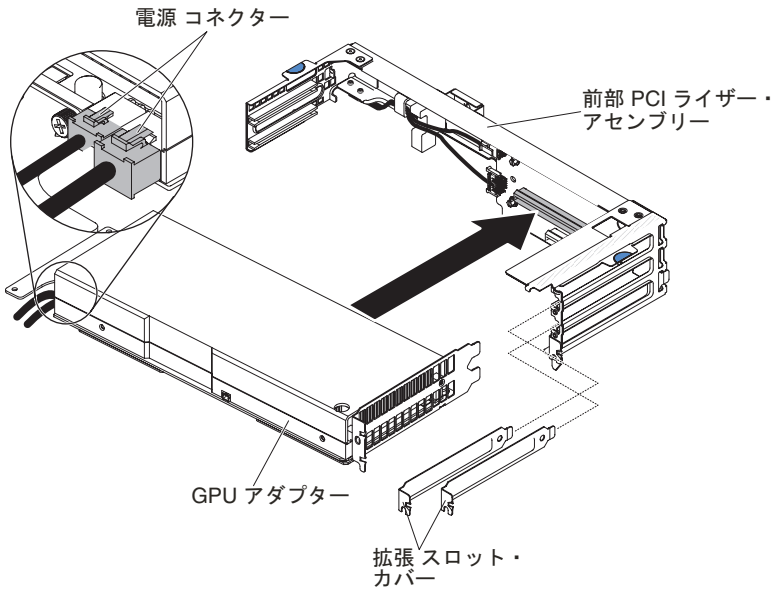


図 115. GPU アダプターの取り付け (前部 PCI ライザー・アセンブリー)

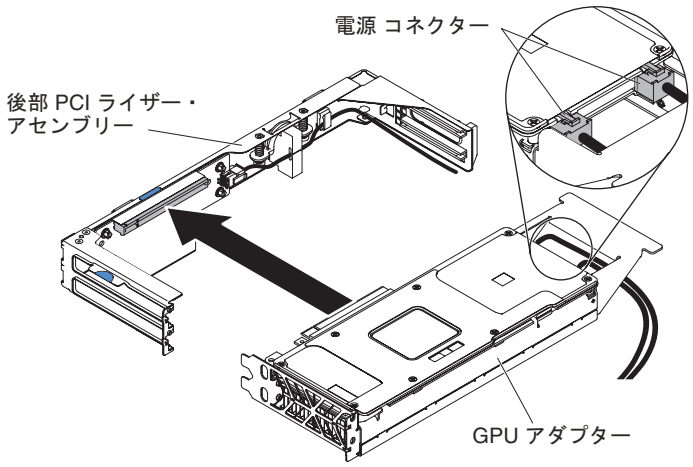


図 116. GPU アダプターの取り付け (後部 PCI ライザー・アセンブリー)

重要: アダプター/GPU アセンブリーの取り付け時に、アダプター/GPU アダプターがライザー・ケージ・アセンブリーに正しく収まっていること、およびライザー・ケージ・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・ケージ・コネクターにしっかり取り付けられていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプター/GPU アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・ケージ・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

4. PCI ライザー・ケージ・アセンブリーをサーバー内に取り付けます (205 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの再取り付け』を参照)。
5. 新しく取り付けたアダプター/GPU アダプターがある場合は、ケーブルを接続します。
6. アダプター/GPU アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

7. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

SD アダプターの取り外し

SD アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

SD アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

SD アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (204 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. 2 つのねじを緩めます。
4. SD アダプターを持ち上げてサーバーから取り出します。
5. SD カードを取り外します。

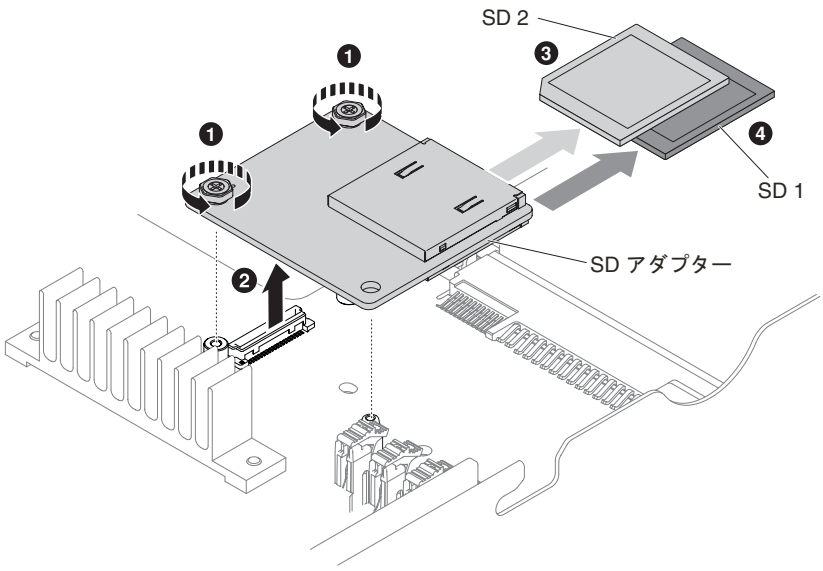


図 117. SD アダプターの取り外し

タスクの結果

SD アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

SD アダプターの交換

以下の情報を使用して、SD アダプターを交換します。

始める前に

重要: プリロードされた VMware vSphere ESXi ソフトウェアに SD アダプター・オプションが付属している場合は、計算ノードに SD アダプターを取り付ける*前*に、システム UEFI の構成を変更する必要があります。詳細および手順については、SD アダプターに付属している資料および 32 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。

SD アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

SD アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (204 ページの『PCI ライザー・ケージ・アセンブリーの取り外し』を参照)。
3. SD カードを SD アダプターに挿入します。
4. SD アダプターを位置合わせピンおよびコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで押し下げます。
5. 2 個のねじを締めます。

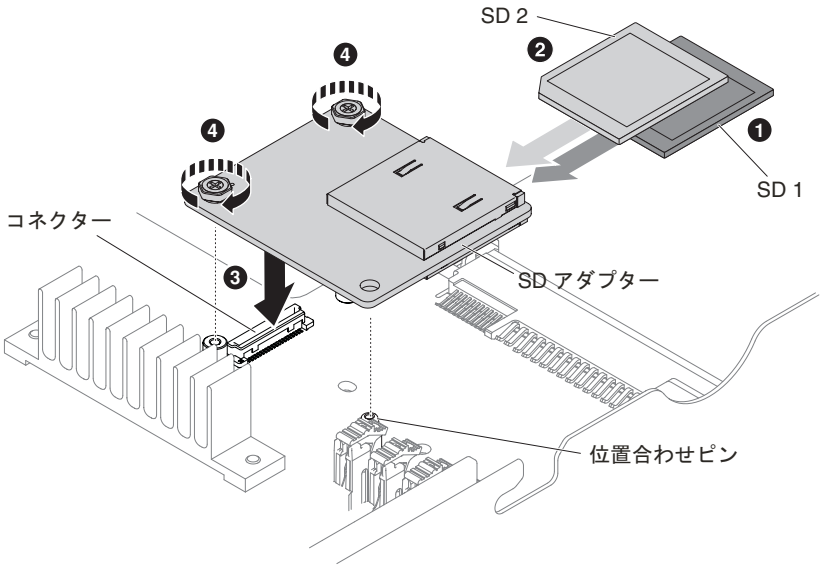


図 118. SD アダプターの取り付け

6. SD アダプターの構成方法については、オプションに付属の http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5096845 を参照してください。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外す前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA アダプター* または *ServeRAID アダプター* と記載することがあります。

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. ライザー・ケージの両側にあるタッチ・ポイントをつかみます。次に、計算ノードからライザー・ケージを持ち上げて取り外します。

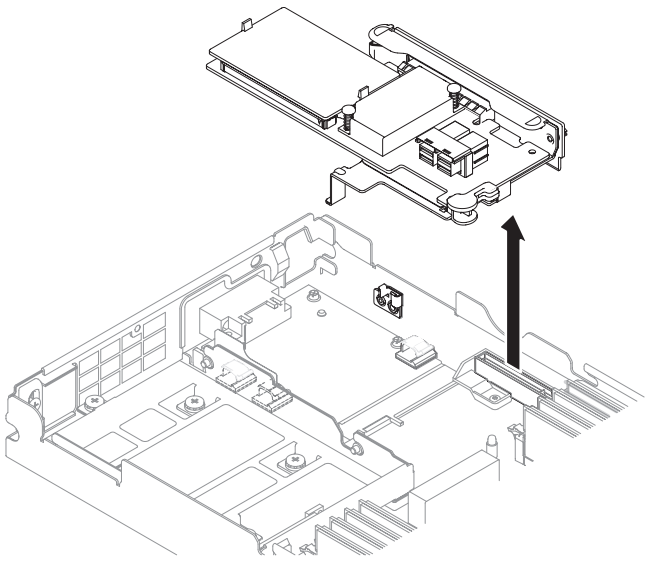


図 119. ServeRAID アダプターの取り外し

3. SAS/SATA アダプターのコネクターから信号ケーブルを取り外し、位置をメモします。
4. 保持ブラケットを開き、ライザー・ケージから SAS/SATA アダプターを取り外します。

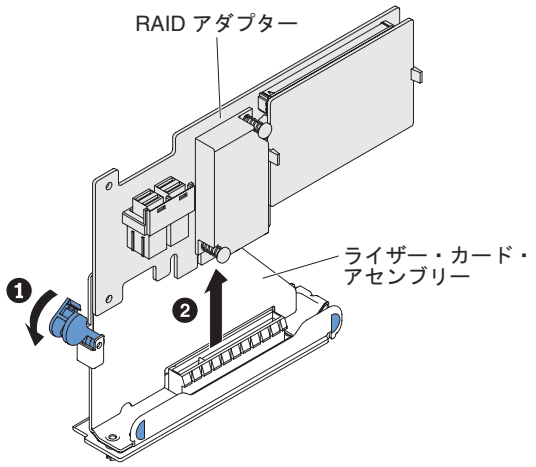


図 120. RAID アダプターの取り外し

タスクの結果

SAS/SATA アダプターを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

システム・ボードに SAS/SATA アダプターを取り付ける前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

サーバー・モデルによって、サーバーには ServeRAID N2215 または ServeRAID M5225 SAS/SATA アダプターのいずれかが取り付けられた状態で出荷されます。

注: ServeRAID M5225 アダプターをシステム・ボードの専用コネクターに取り付ける前に、付属の PCI ブラケットを取り外してください。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して *SAS/SATA アダプター* または *ServeRAID アダプター* と記載することがあります。

SAS/SATA アダプターをシステム・ボードに取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新しい SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。
3. SAS/SATA アダプターをライザー・ケージに取り付け、保持ブラケットを閉じます。SAS/SATA アダプターがコネクターにしっかり収まると、保持ブラケットがアダプターを所定の位置に固定します。

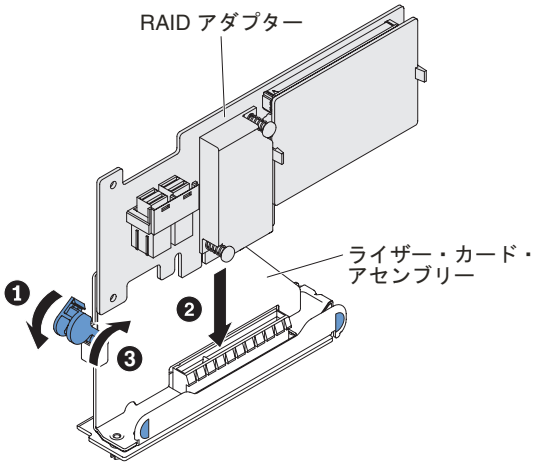


図 121. RAID アダプターの取り付け

4. バックプレーン信号ケーブルの配線を行います (244 ページの『ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続』を参照)。
5. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
6. ライザー・カードの金色の接点部分とプレーナー RAID PCI スロットの位置を合わせます。
7. しっかり固定されるまで、アダプター・ライザー・ケージを RAID コネクターに挿入します。

   重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

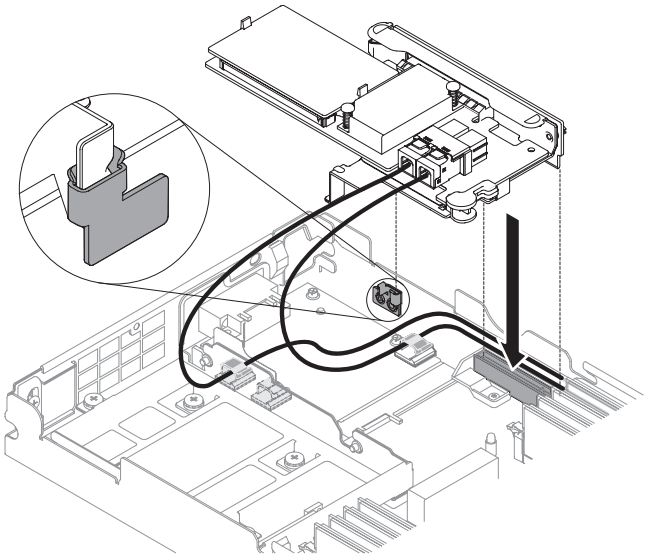


図 122. ServeRAID アダプターの取り付け

注: ServeRAID N2215 アダプターをシステム・ボードの専用コネクターに取り付ける前に、付属の PCI ブラケットを取り外してください。

8. 取り外したすべてのケーブルを再接続します。
9. カバーを再び取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

注: サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするよう、プロンプトが出されます。

USB フラッシュ・ドライブの取り外し

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

USB フラッシュ・ドライブを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

手順

USB フラッシュ・ドライブを取り外すには、以下のステップを実行してください。

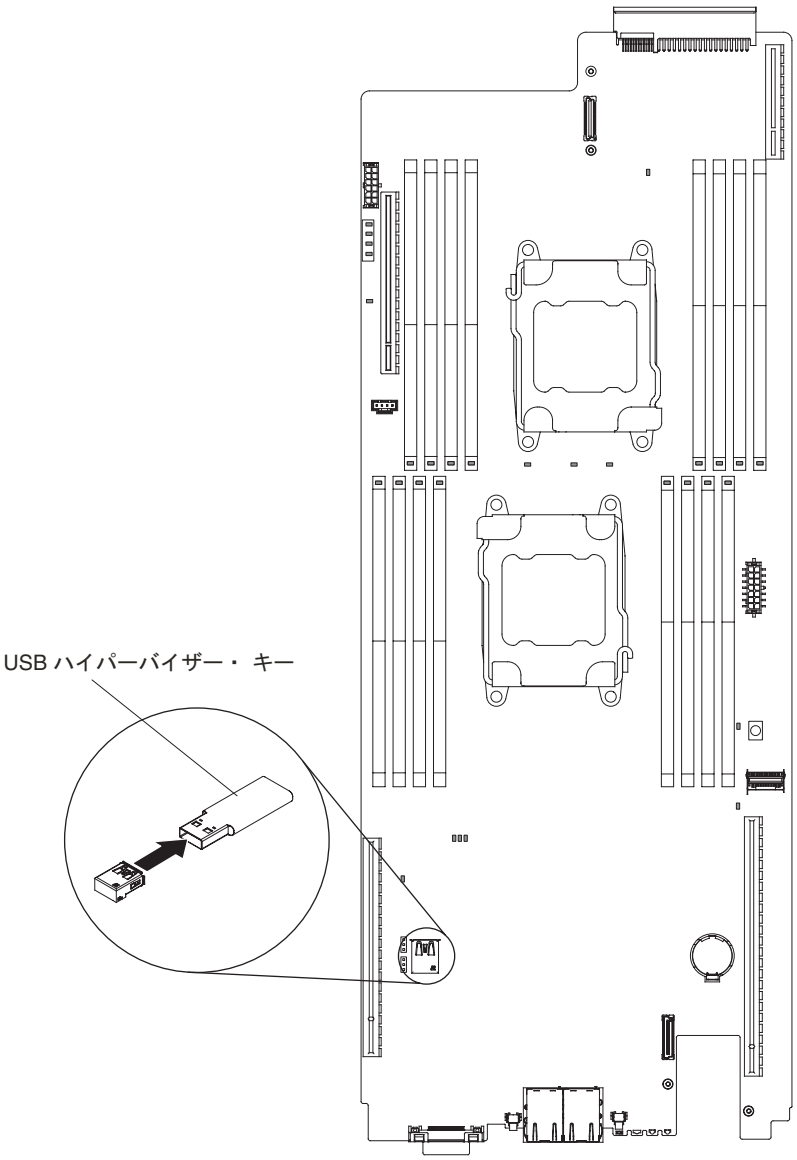


図 123. USB フラッシュ・ドライブの取り外し

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (21 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
3. USB フラッシュ・ドライブを引き、コネクターから取り外します。

次のタスク

USB フラッシュ・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

USB フラッシュ・ドライブの取り付け

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

始める前に

USB フラッシュ・ドライブを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

このコンポーネントは、オプション装置または CRU として取り付けることができます。オプション装置と CRU の取り付け手順は同じです。

手順

USB フラッシュ・ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

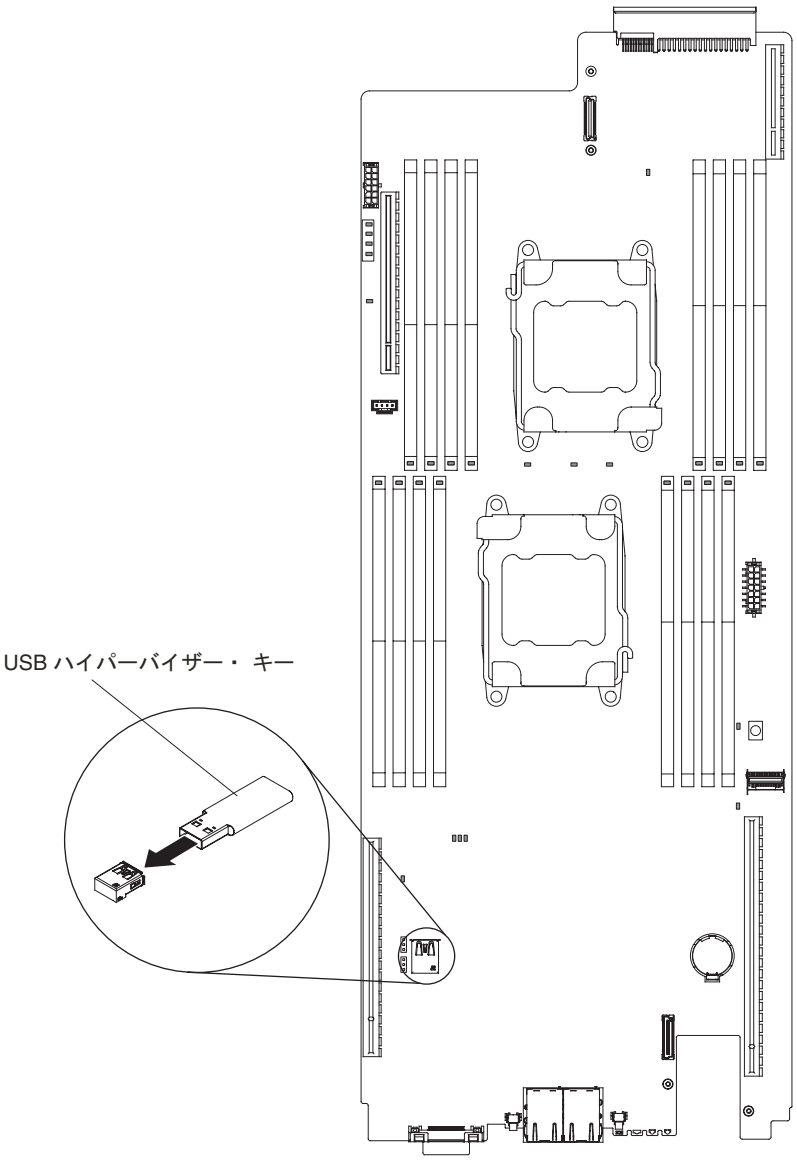


図 124. USB フラッシュ・ドライブの取り付け

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. システム・ボード上の USB コネクターを見つけます (21 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
3. USB フラッシュ・ドライブをコネクターに押し込みます。

次のタスク

USB フラッシュ・ドライブを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

- マイクロプロセッサーの取り外しは、トレーニングを受けた技術員のみが行うものとします。

  重要: マイクロプロセッサーを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサー・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサー・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサー接点またはマイクロプロセッサー・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。

- マイクロプロセッサーの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサーに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサーを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサー・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサー・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサー取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサーが取り付けられており、マイクロプロセッサーには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. 取り外すマイクロプロセッサーを見つけます (21 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
4. ヒートシンクを取り外します。

   重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサーあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサーまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

   a. マイクロプロセッサー保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。
   b. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

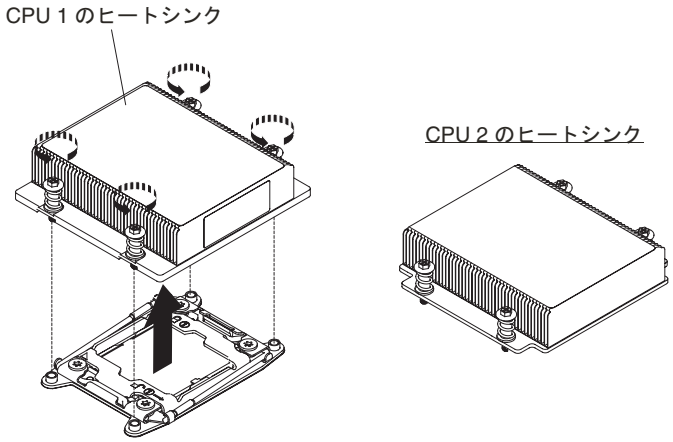


図 125. ヒートシンクの取り外し

5. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

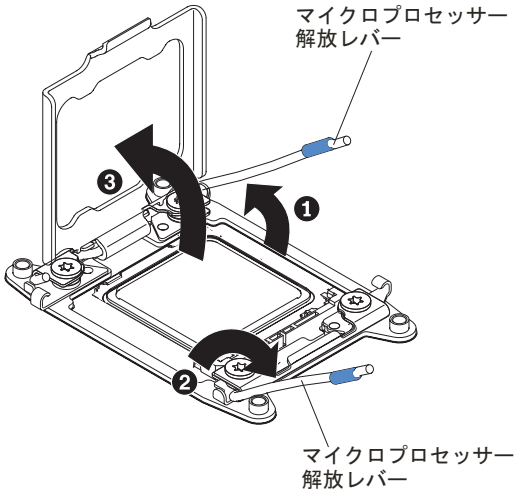


図 126. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

6. マイクロプロセッサーをソケットから取り外します。
   a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置にあることを確認します。取り付けツール・ハンドルが開放位置にない場合、 **1** インターロック・ラッチを持ち上げながら、 **2** マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに回転させて開放位置にしてから、インターロック・ラッチを解放します。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサーのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示して

います。

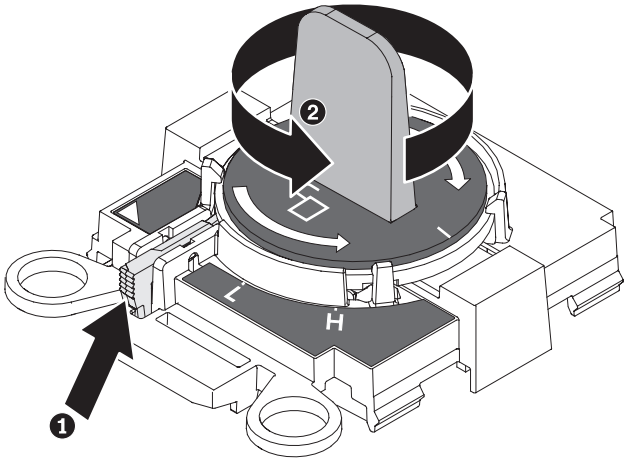


図 127. 取り付けツール・ハンドルの調整

b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサーの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。

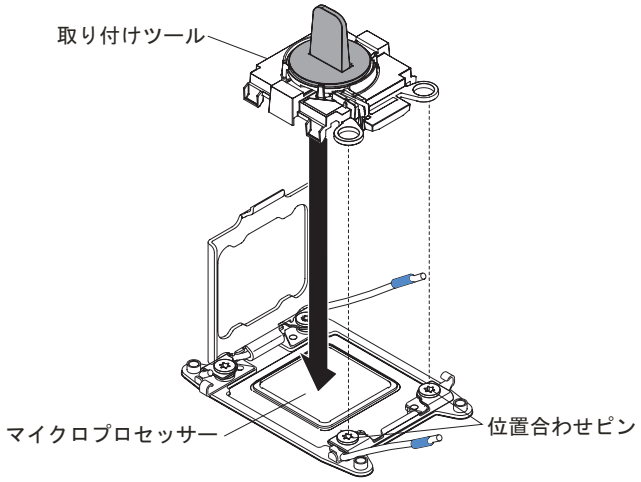


図 128. マイクロプロセッサーの取り付け

c. 取り付けツールのハンドルを慎重に右回りに、マイクロプロセッサーのサイズに応じて 『H』 または 『L』 位置でロックするまで回転させてから、マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから抜きます。

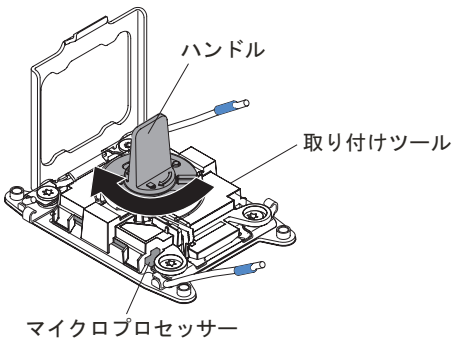


図 129. 取り付けツール・ハンドルの調整

d. マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。

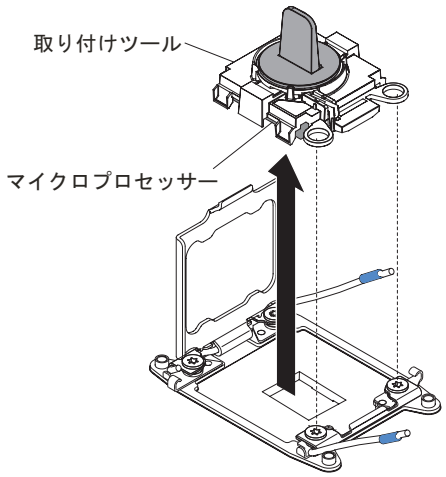


図 130. 取り付けツールの取り外し

7. 新しいマイクロプロセッサーを取り付けます (229 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。

   重要: マイクロプロセッサーを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサーに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサーを取り外します。

8. マイクロプロセッサーをソケットに取り付けない場合は、ステップ 6 (233 ページ) で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けます。

   重要: ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

タスクの結果

マイクロプロセッサーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサーのタイプと、マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

始める前に

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを再取り付けする前に、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。

このタスクについて

- マイクロプロセッサーの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

  重要: マイクロプロセッサーを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサー・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
- マイクロプロセッサー・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサー・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサー接点またはマイクロプロセッサー・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサー・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサーの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサーとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサーの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサーに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサーを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサー・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサー・ソケットの接点の損傷を防いでください。

- マイクロプロセッサー取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサーが取り付けられており、マイクロプロセッサーには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

  注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。
- サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサーをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
- 最初のマイクロプロセッサーは、必ず、システム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける際、最初のマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、追加のメモリーと 4 つ目および 6 つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、 177 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサーを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサーを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサーを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサーを混用する場合、マイクロプロセッサー・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサーを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサー電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサーに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentral/に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサー速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサー周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、 236 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

  注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- オプションの追加マイクロプロセッサーを注文するには、Lenovo 営業担当員または Lenovo 販売店にお問い合わせください。

取り付けツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサーを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『L』 と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサーで使用する 『H』 です。取り付けツールは、E5-26xx、E5-46xx、E5-26xx v2、E5-46xx v2 の各マイクロプロセッサー・ファミリーをサポートします。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外します (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
3. マイクロプロセッサー保持器具の隅にある 4 つのねじを緩めます。
4. マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

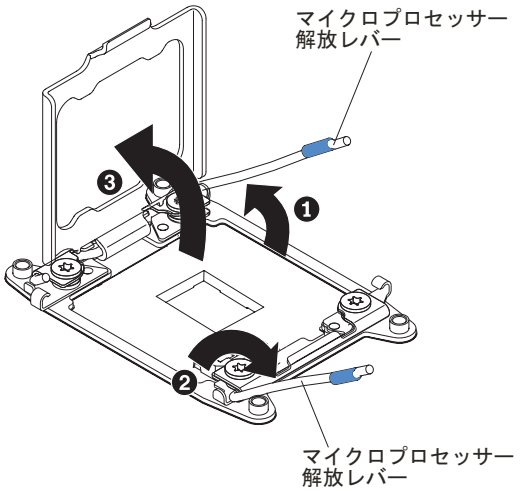


図 131. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の開放

   a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
   b. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
   c. マイクロプロセッサー保持器具を開きます。

      重要: マイクロプロセッサーおよびマイクロプロセッサー・ソケット上のコネクターには触らないでください。
5. マイクロプロセッサー・ソケットにマイクロプロセッサーを取り付けます。

a. 新しいマイクロプロセッサー取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。

注: マイクロプロセッサー接点には触れないでください。マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

b. マイクロプロセッサーに保護カバーが付いている場合は、そのカバーを取り外します。マイクロプロセッサーは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

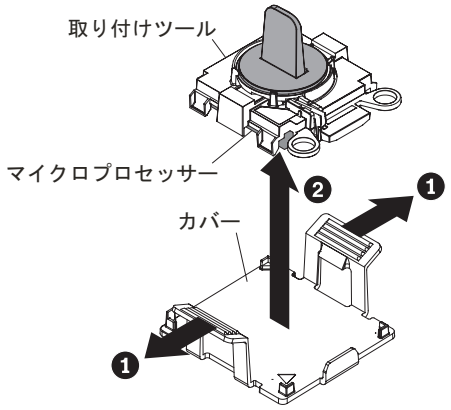


図 132. 取り付けツール・カバーの取り外し

c. 取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

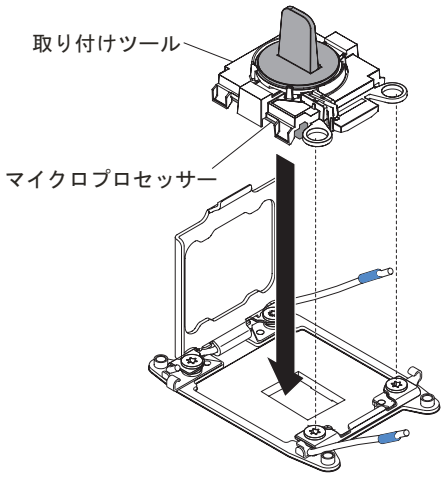


図 133. 取り付けツールの位置合わせ

d. 取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサーがソケットに挿入されるまで回転させます。 その後、取り付けツールを持ちあげてソケットから抜きます。次の図は、開放位置にあるツールのハン

ドルを示しています。

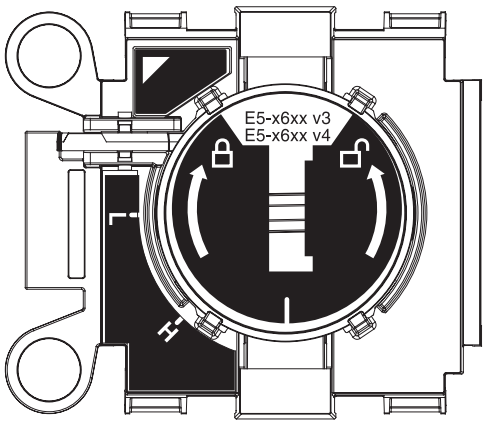


図 134. 取り付けツール

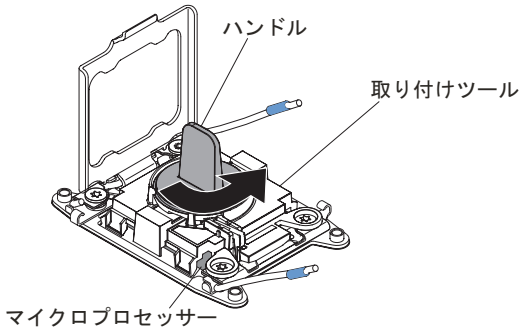


図 135. 取り付けツール・ハンドルの調整

重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサーの向きと位置が正しいことを確認してください。
- ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサーの上部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。

6. マイクロプロセッサー・ソケットの表面にマイクロプロセッサー・ソケット・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。ソケット・カバーを安全な場所に保管します。

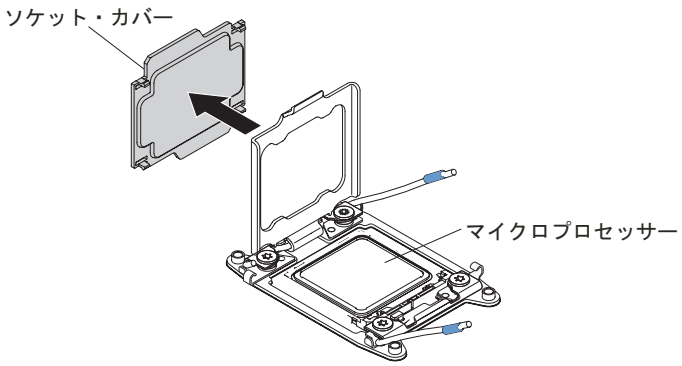


図 136. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、120 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

7. 次のように、マイクロプロセッサー・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

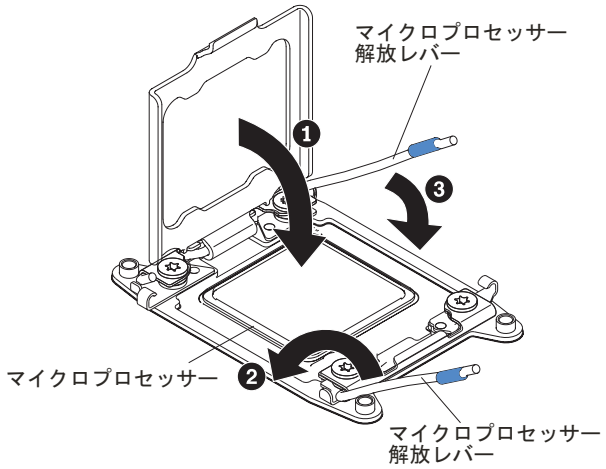


図 137. マイクロプロセッサー・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

a. マイクロプロセッサー・ソケット上のマイクロプロセッサー保持器具を閉じます。
b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
c. マイクロプロセッサー・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。

重要:

- 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。

8. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、 236 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

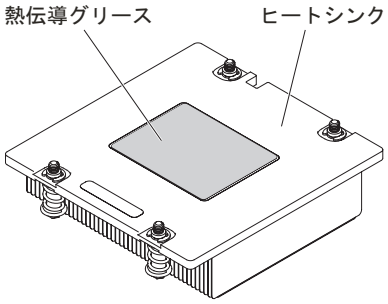


図 138. 熱伝導グリース

a. ヒートシンクの下のプラスチック保護カバーを取り除きます。
b. マイクロプロセッサー上にヒートシンクを置きます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

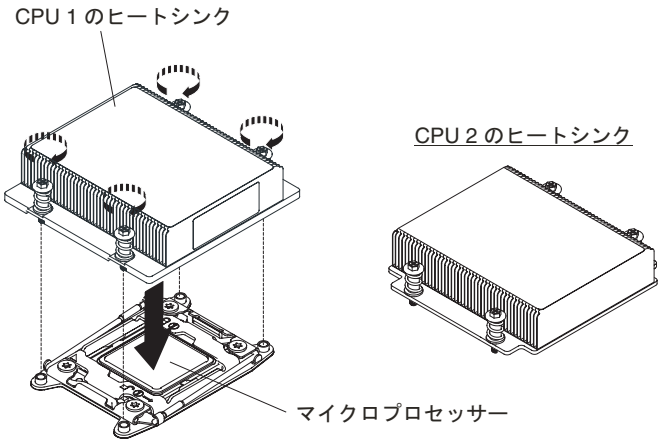


図 139. ヒートシンクの取り付け

c. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサー上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
d. ヒートシンクをしっかり押します。
e. マイクロプロセッサー保持器具の隅にある 4 つのねじを締めます。

9. エアー・バッフルを再び取り付けます (135 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
10. カバーを取り付けます (132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。
11. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサーに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサー上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

Notes:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 120 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

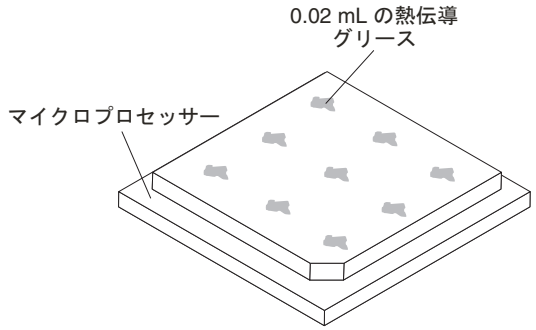


図 140. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

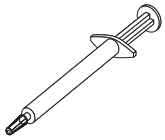


図 141. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (8 (234 ページ)を参照)。

コンピュート・ノードの取り外し

コンピュート・ノードを取り外すには、この情報を使用します。

始める前に

注:

1. 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。
2. システム・ボードを交換する前に、必ず、使用可能にされていた Features on Demand (FoD) キーをバックアップしてください。システム・ボードを交換した後、すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*Lenovo Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
3. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
4. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、 44 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

   注: システム・ボードを交換した後には、Features on Demand (FoD) を再アクティブ化する必要があります。

コンピュート・ノードを取り外す前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (105 ページの『第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード』を参照)。
   - アルコール・ワイプ (部品番号 59P4739)
   - RFID タグ (出荷時のコンピュート・ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合にのみ必要)
   - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
   - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、コンピュート・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

システム・ボード上のコネクター、ジャンパー、および LED の位置について詳しくは、 21 ページの『システム・ボードのレイアウト』を参照してください。

手順

コンピュート・ノードを取り外すには、以下のステップを実行してください。

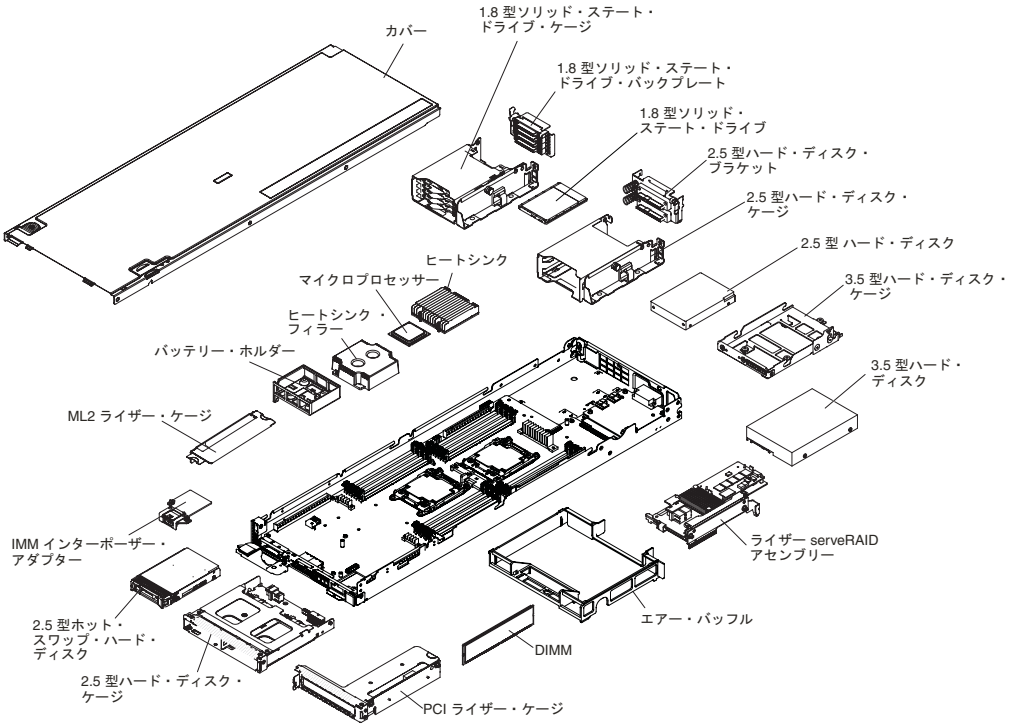


図 142. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

1. カバーを取り外します (131 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り外し』 を参照)。
2. 以下にリストされているすべての取り付け済みコンポーネントをコンピュート・ノードから取り外し、それらのコンポーネントを帯電防止面に置くか、新しいコンピュート・ノードに取り付けます。
   - エアー・バッフル (134 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
   - DIMM (175 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。
   - ハード・ディスクおよびハード・ディスク・ベイ・フィラー (189 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り外し』、 191 ページの『2.5 型ハード・ディスクの取り外し』、および 196 ページの『1.8 型ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
   - ハード・ディスク・ケージ (148 ページの『背面ハード・ディスク・ケージの取り外し』を参照)。
   - マイクロプロセッサー、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサー・ヒートシンク・フィラー。交換用のマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用して、コンピュート・ノードから各マイクロプロセッサーを取り外し、そのマイクロプロセッサーをすぐに新規のコンピュート・ノードに取り付けます (224 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 229 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
   - ハード・ディスク・バックプレート (185 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り外し』を参照)。

次のタスク

コンピュート・ノードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

コンピュート・ノードの取り付け

コンピュート・ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

始める前に

注: 以下の手順は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが実行できます。

コンピュート・ノードを取り付ける前に、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』および 118 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. NeXtScale n1200 Enclosure に計算ノードが取り付けられている場合は、取り外します (手順については 121 ページの『シャーシからのコンピュート・ノードの取り外し』を参照)。
3. コンピュート・ノードのベゼルを手前に向けて、帯電防止されている平らな面にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. 交換手順で使用する以下のものを入手します (105 ページの『第 4 章 部品リスト、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノード』を参照)。
   - アルコール・ワイプ (部品番号 59P4739)
   - ベゼル
   - RFID タグ (出荷時のコンピュート・ノードでベゼルに RFID タグが付いている場合にのみ必要)
   - T8 TORX ドライバー (部品番号 00FK488、シャーシ背面で提供)
   - 熱伝導グリース・キット (部品番号 41Y9292)

このタスクについて

重要: システム・ボードを交換する場合、コンピュート・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアする必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳しくは、 27 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

手順

コンピュート・ノードを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

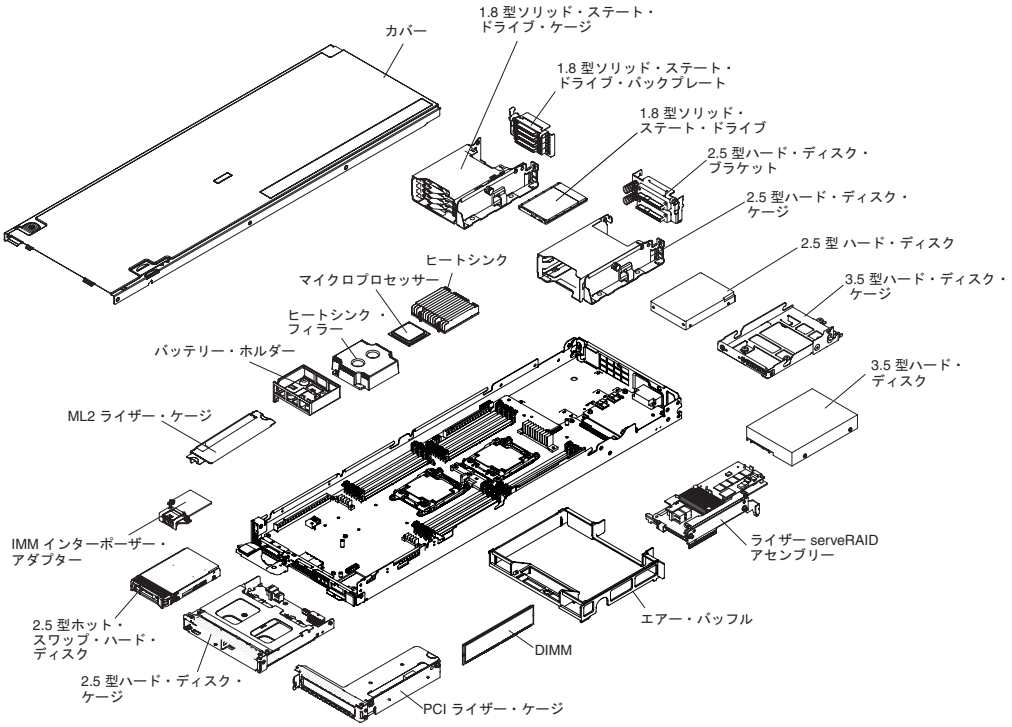


図 143. コンピュート・ノードの主要コンポーネント

以下のリストにある、旧コンピュート・ノードから取り外したすべてのコンポーネントを、新しいコンピュート・ノードに取り付けます。

- エアー・バッフル (135 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
- DIMM (177 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
- ハード・ディスクおよびハード・ディスク・フィラー (190 ページの『3.5 型ハード・ディスクの取り付け』、193 ページの『2.5 型ハード・ディスクの取り付け』、および 198 ページの『1.8 型ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
- ハード・ディスク・ケージ (150 ページの『背面ハード・ディスク・ケージの取り付け』を参照)。
- マイクロプロセッサー、ヒートシンク、およびマイクロプロセッサー・ヒートシンク・フィラー。交換用のマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用して、コンピュート・ノードから各マイクロプロセッサーを取り外し、そのマイクロプロセッサーをすぐに新規のコンピュート・ノードに取り付けます (224 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および 229 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照)。
- ハード・ディスク・バックプレート (187 ページの『ハード・ディスク・バックプレートの取り付け』を参照)。

次のタスク

コンピュート・ノードを取り付けた後、以下のステップを実行してください。

1. コンピュート・ノードにカバーを取り付けます (手順については 132 ページの『コンピュート・ノード・カバーの取り付け』を参照)。

2. コンピュート・ノードをシャーシの中に取り付けます (手順については、 122 ページの『シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照)。
3. コンピュート・ノードに Features on Demand (FOD) フィーチャーが取り付けられている場合は、「*Lenovo Feature on Demand User's Guide*」の説明を参照して、これらのフィーチャーを再びアクティブにします。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
4. 汎用固有 ID (UUID) および重要プロダクト・データ (VPD) を更新します。Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのコンピュート・ノードの UUID および VPD を更新します (51 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
5. コンピュート・ノードを最新のファームウェアを使用して更新するか、既存のファームウェアをリストアします (詳しくは、 27 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このセクションでは、Lenovo NeXtScale nx360 M5 コンピュート・ノードに一部のコンポーネントを取り付ける際のケーブルの配線について説明します。

以下の注意書きでは、ケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- ケーブルを取り外すには、ケーブルをプレーナー・トレイ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクターからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクターから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- ケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押すと、ケーブルあるいはコネクターが損傷する可能性があります。
- ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認します。
- すべてのケーブルが電源パドル・カードの上で重なり合っていないことを確認します。

ケーブルおよびデバイス接続の要件について詳しくは、そのデバイスに付属の資料を参照してください。

プレーナー・ケーブルを使用したハード・ディスクのケーブル接続

プレーナー・ケーブルを使用したハード・ディスクの内部配線とコネクター。

次の図は、プレーナー・ケーブルを使用したハード・ディスクの内部配線とコネクターを示しています。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

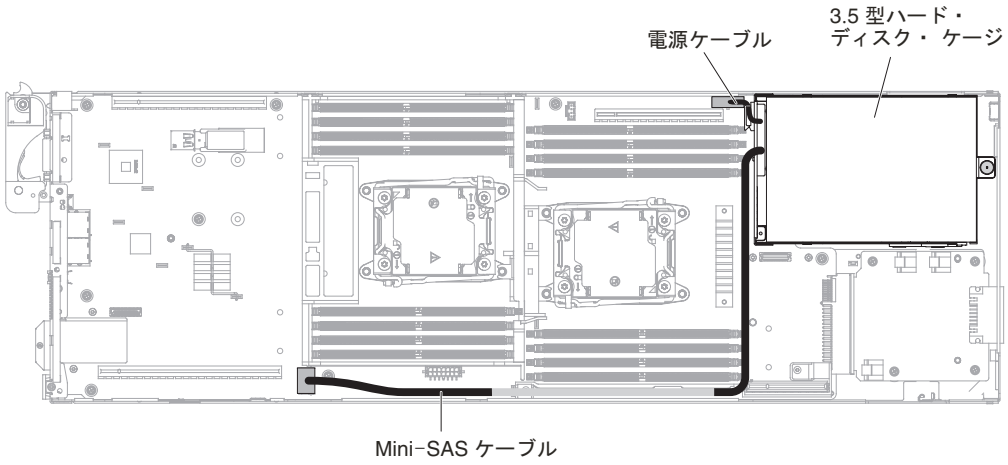


図 144. プレーナー・ケーブル接続を使用した 3.5 型ハード・ディスク

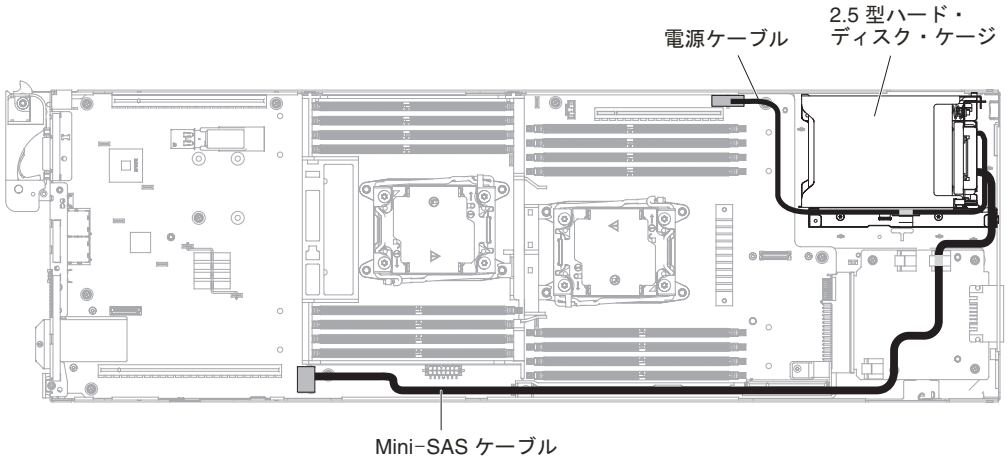


図 145. プレーナー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハード・ディスク

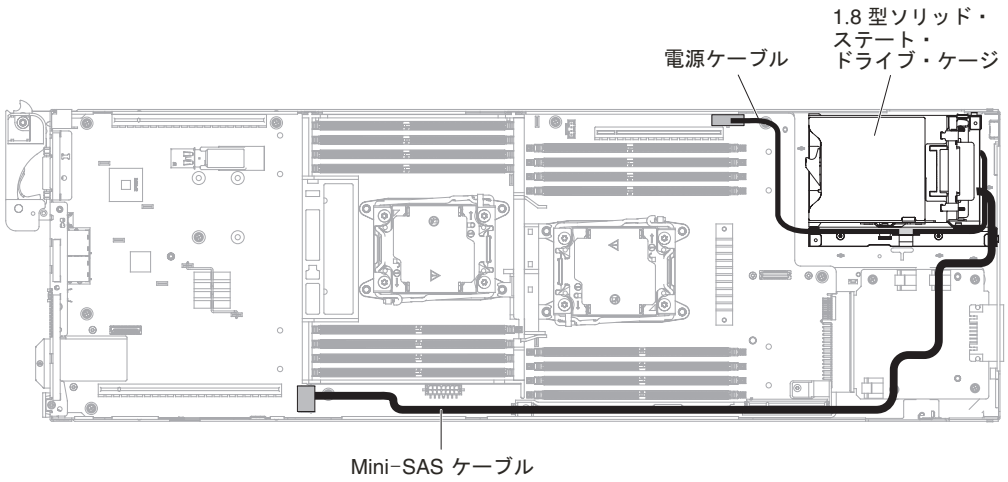


図 146. プレーナー・ケーブル接続を使用した 1.8 型ハード・ディスク

ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーのケーブル接続

ハード・ディスクと ServeRAID SAS/SATA コントローラーを接続するための内部ルーティングとコネクター

次の図は、2.5 型、2.5 型ホット・スワップ、および 1.8 型のハード・ディスク・モデルのそれぞれで、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを使用した場合の内部配線およびコネクターを示しています。

注: 適切なケーブルがケーブル・クリップを通っていることを確認してください。

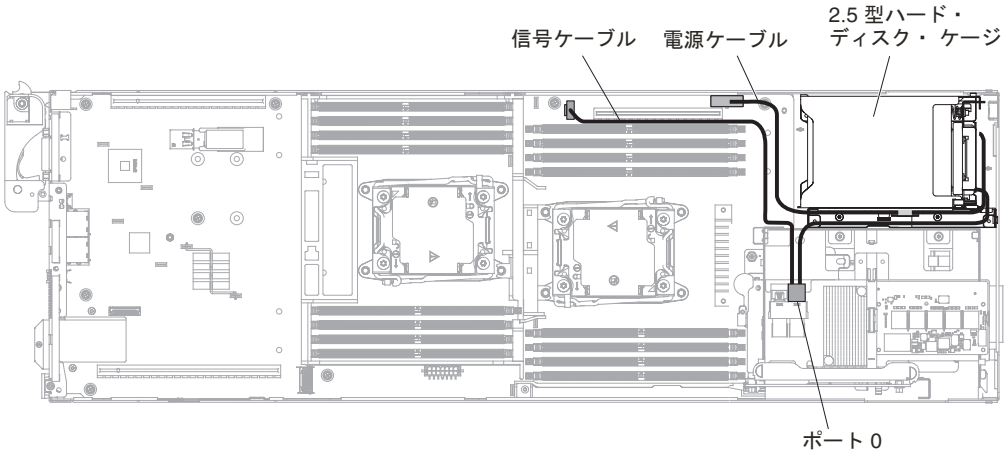


図 147. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハード・ディスク (2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けなし)

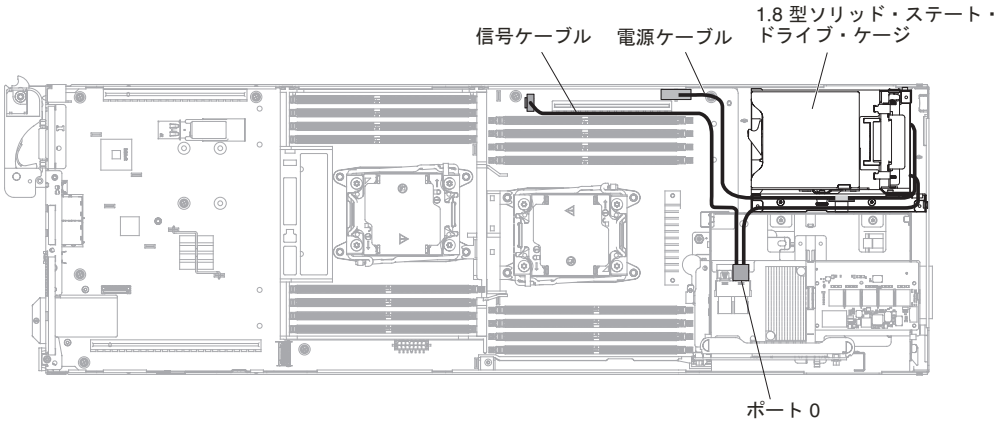


図 148. ServeRAID SAS/SATA コントローラー・ケーブル接続を使用した 1.8 型ソリッド・ステート・ドライブ (2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けなし)

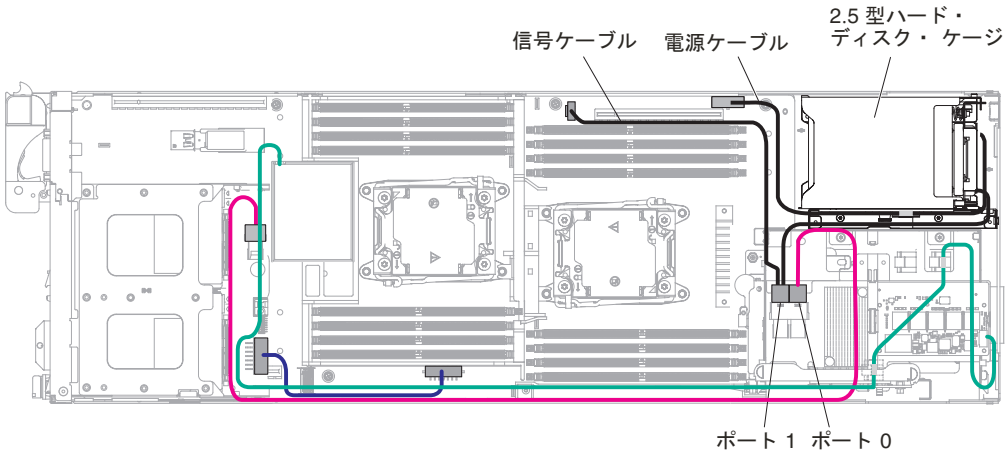


図 149. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ハード・ディスク (2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付けなし)

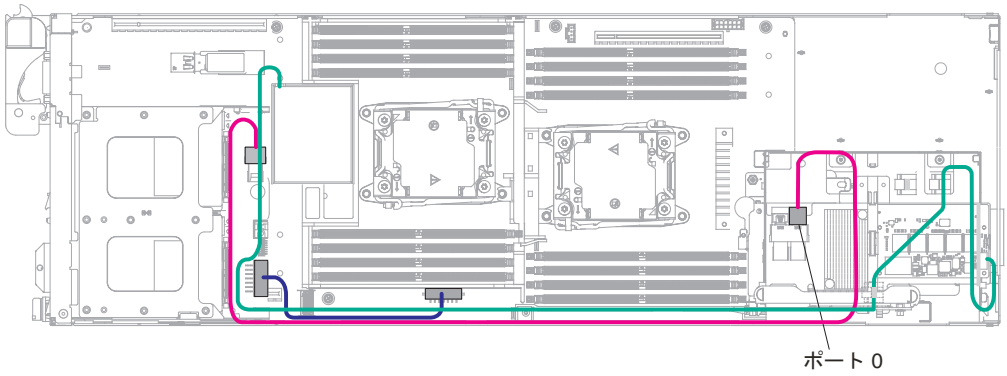


図 150. ServeRAID SAS コントローラー・ケーブル接続を使用した 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク (他のハード・ディスクの取り付けなし)

付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ

このセクションでは、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージについて詳しく説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) によって検出されると、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述
イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明 イベントが発生した理由を説明する追加情報を提供します。

重大度 状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。

エラー:
このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態または重大な状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

severity - device

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうかを指定します。

© Copyright Lenovo 2015

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には Lenovo サポートに自動的に通知されます。

Lenovo サポートからの呼び出しを待つ間、イベントに関する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行すべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ、および検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) についての詳細は、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346 の「*Integrated Management Module II User's Guide*」を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.()

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].()

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .()

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.()

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful.Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..()

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed.Invalid userid or password received.Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].()

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed.Invalid userid or password received.Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].()

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].()

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .()

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .()

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].()

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred.()

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、以下のステップを問題が解決されるまで実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.()

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.()

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定の

コード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.()

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].()

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid.構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。()

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .()

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレス (%d) からファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.()

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.()

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].()

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].()

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].()

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2].Please attempt to flash the [arg3] firmware.()

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].()

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002e-00000000 DDNS の登録が正常に完了しました。The domain name is [arg1].()

説明: DDNS 登録および値

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .()

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .()

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].()

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .()

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].()

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].()

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。()

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。

2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].()

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: System - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].()

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].()

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .()

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .()

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .()

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .()

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].()

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].()

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].()

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].()

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].()

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].()

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].()

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].()

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].()

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].()

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].()

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].()

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].()

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].()

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].()

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].()

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].()

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].()

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..()

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...()

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..()

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].()

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].()

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].()

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].()

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].()

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].()

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].()

説明: ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].()

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].()

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .()

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].()

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.()

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.()

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.()

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000075-00000000 計測電力値が電源キャップ値を超えました。()

説明: 電力上限値を超えました。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000076-00000000 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。()

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].()

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].()

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].()

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].()

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].()

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].()

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007d-00000000 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。()

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007e-00000000 外部スロットルが発生しました。()

説明: 外部スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007f-00000000 電源キャップ・スロットルが発生しました。()

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.()

説明: Remote Control セッションが開始されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].()

説明: PXE ブートが要求されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.()

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.()

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2].すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2].すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。()

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].()

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].()

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..()

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..()

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

80010002-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.(CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

80010701-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限セン

サーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010701-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられているこ

と、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. GPU が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010901-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010902-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

SysBrd 3.3V: SysBrd 5V:

80010b01-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. GPU が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010b01-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. HDD が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80030006-2101ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted.(Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted.(OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8003010c-2581ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(Non-Auth DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 通知メッセージ。認定 DIMM と交換することをお勧めします。

8003010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(FDIMM Config)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サポートされているコンポーネント・リストを確認してください。

8003010f-2101ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(IMM FW Corrupted)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 1 次コードを再消去します。
2. 電源コードを取り外して接続し直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合、システム・ボードを交換してください。

80030112-0601ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(SMM Mode)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

SMM モニター:

8005010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has indicated limit exceeded.(FDIMM TempLimit)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーの限界超過が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0512

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80070101-0c01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。

8007010d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

8007010d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

8007010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007010f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

80070114-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070128-2e01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(ME Recovery)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070201-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

CPU1 VR OverTemp :

80070201-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

CPU2 VR OverTemp :

80070201-1101ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-1102ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-1103ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-1104ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-2c01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(Exlom Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられているこ

と、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070202-1501ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PIB Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070202-1502ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PDB Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007020d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

8007020d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

8007020d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

80070214-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。

2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

80070228-2e01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(ME Error)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし。ME フラッシュ・エラー:

80070301-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

CPU1 VR OverTemp :

80070301-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

CPU2 VR OverTemp :

80070301-1101ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-1102ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-1103ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられているこ

と、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-1104ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-2c01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(Exlom Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

8007030d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

8007030d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007030d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070319-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(S3 Resume Fail)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070614-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.(TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.(Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.(Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800a030d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has indicated a on-line state.(FDIMM Mode)

説明: このメッセージは、センサーがオンライン状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0546

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800a040d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has indicated an off-line state.(FDIMM Mode)

説明: このメッセージは、センサーがオフライン状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0548

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800a060d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has indicated a degraded state.(FDIMM Mode)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0552

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b010c-2581ffff Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

800b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。

2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

800b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にしてください。

806f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed with IERR.(CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0007-0302ffff [ProcessorElementName] has Failed with IERR.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been turned off.(Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD0 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD1 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD4 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD5 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD6 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(Comput HDD7 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD0 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD1 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD2 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD3 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD4 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD5 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD6 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(1U Stg HDD7 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0410ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0411ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0412ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0413ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0414ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0415ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0416ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0417ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0418ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0419ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-041fffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been added.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101ff The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102ff Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバイス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104ff The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure.(ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107ff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010aff The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー (ビデオ・デバイスが見つかりません) の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファ

ームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bff Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST.(ABR Status)

説明: POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cff CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName].(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701ffff A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName].(NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f001e-2201ffff No bootable media available for system [ComputerSystemElementName].(No Boot Device)

説明: このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0286

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0021-2201ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの PCI エラー:

806f0021-2c01ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(Exlom Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI RAID 障害 :

806f0021-3001ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3002ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3003ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3004ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3005ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 5)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3006ffff Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 6)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101ffff Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101ffff Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301ffff An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName].(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0107-0302ffff An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName].(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-1501ffff [PowerSupplyElementName] has Failed.(HSC Status)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = 電源機構番号)

806f0109-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled.(Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2005ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2006ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2007ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2008ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2009ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200affff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200bffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200cffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200dffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200effff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200fffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2010ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581ffff Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

1 つの DIMM:

806f010d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0410ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0411ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0412ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0413ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0414ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0415ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0416ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0417ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0418ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0419ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-041fffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-2b81ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(FDIMM Stat)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang.(Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301ffff A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0113-0302ffff A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0123-2101ffff Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1001ffff [ManagedElementName] detected as absent.(PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-1002ffff [ManagedElementName] detected as absent.(PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-1f01ffff [ManagedElementName] detected as absent.(PDB Cable)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0125-2c01ffff [ManagedElementName] detected as absent.(Exlom Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0207-0302ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの CPU :

806f020d-0401ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0408ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0409ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040affff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040bffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040cffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040dffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040effff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0410ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0411ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0412ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0413ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0414ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0415ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0416ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0417ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0418ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0419ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041affff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041bffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041cffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041dffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041effff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-041fffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-2b81ffff Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(FDIMM Stat)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101ffff Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込

み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2004ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2005ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り

外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2006ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2007ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。

4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2008ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2009ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていた

り、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200affff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200bffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200cffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200dffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200effff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-200fffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2010ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

1 つの DIMM:

806f030d-0401ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0402ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0403ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0404ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0405ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0406ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0407ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0408ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0409ffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040afffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040bffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040cffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040dffff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040effff Hot Spare enabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0313-1701ffff A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバーを検査します。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0322-1301ffff Computer System [ComputerSystemElementName] is in Standby.(ACPI Power State)

説明: このメッセージは、実装環境でシステムがスタンバイ・モードになっていることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0360

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0323-2101ffff Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により

DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。

3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コ

ネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200affff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200effff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により

DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。

3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

1 つの DIMM:

806f0413-2582ffff A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-0302ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

1 つの CPU :

806f0508-1501ffff [PowerSupplyElementName] is operating in an Input State that is out of range.(HSC Status)

説明: このメッセージは、電源機構の入力が範囲外であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f050c-2001ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す

必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2003ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2005ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2006ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2007ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2008ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2009ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200affff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200bffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200cffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200dffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200effff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200fffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2010ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

1 つの DIMM:

806f050d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040affff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040dffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040efffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0410ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。

4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0411ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0412ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0413ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0414ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0415ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0416ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0417ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0418ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0419ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041affff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041bffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041cffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041dffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041effff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-041fffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582ffff A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101ffff Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName].(IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. UEFI、IMM イーサネットおよび SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスについて、システム・ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. DSA プログラムを実行します。
3. アダプターを取り付け直します。
4. アダプターを交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

1 つの CPU :

806f060d-0401ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。

2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040affff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040efffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0410ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0411ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0412ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0413ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0414ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0415ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0416ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0417ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0418ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0419ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041affff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041bffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041cffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041dffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041effff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-041fffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。

2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2002ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2003ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2004ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2005ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2006ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2007ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2008ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2009ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200affff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200bffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200cffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200dffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200effff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-200fffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2010ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。

806f070c-2581ffff Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が取り付けられ、システム資料のメモリー装着チャートに従っていることを確認します。1 つの DIMM:

806f070d-0401ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040affff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040effff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0410ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0411ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0412ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0413ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0414ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0415ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0416ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0417ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0418ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0419ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041affff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041bffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041cffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041dffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041effff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-041fffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2101ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName].(IMM Promotion)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。IMM リカバリー :

806f072b-2201ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName].(Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー :

806f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

806f0813-2581ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。

2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101ffff Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200affff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200effff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a07-0301ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State.(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a07-0302ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State.(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a13-0301ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a13-0302ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

81010002-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted.(CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted.(CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010701-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.(SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V: SysBrd 5V:

81010b01-2d01ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3701ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3702ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(PIB Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3703ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(HDD Inlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3704ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(PCI Riser 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3705ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(PCI Riser 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3706ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(GPU Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3707ffff Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted.(HDD Outlet Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301ffff Sensor [SensorElementName] has asserted.(OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8103010c-2581ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted.(Non-Auth DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8103010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted.(FDIMM Config)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030112-0601ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted.(SMM Mode)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SMM モニター:

8105010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has indicated limit no longer exceeded.(FDIMM TempLimit)

説明: このメッセージは、センサーの限界超過がなくなったことが実装環境で検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0513

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070101-0c01ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(Ambient Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070128-2e01ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(ME Recovery)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。CPU1 VR OverTemp :

81070201-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。CPU2 VR OverTemp :

81070201-1101ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1102ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1103ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-1104ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2c01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(Exlom Temp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1501ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PIB Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1502ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PDB Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070228-2e01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(ME Error)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ME フラッシュ・エラー:

81070301-0301ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。CPU1 VR OverTemp :

81070301-0302ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。CPU2 VR OverTemp :

81070301-1101ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(PCI 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1102ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(PCI 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1103ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(PCI 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-1104ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(PCI 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-2c01ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(Exlom Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107030d-0b01ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(RAID #1 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107030d-0b07ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(RAID #7 Volume)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107030d-2b81ffff Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(FDIMM Warranty)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581ffff Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from IERR.(CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302ffff [ProcessorElementName] has Recovered from IERR.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been turned on.(Host Power)

説明: このメッセージは、電源装置が使用可能にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD0 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD1 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD4 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD5 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD6 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(Comput HDD7 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD0 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0408ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD1 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0409ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD2 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-040affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD3 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-040bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD4 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。

2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-040cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD5 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-040dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD6 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-040effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(1U Stg HDD7 Pres)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0410ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0411ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0412ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0413ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0414ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0415ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0416ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0417ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0418ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-0419ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。

2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000d-041fffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName].(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

816f0013-1701ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt.(NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName].(No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの PCI エラー:

816f0021-2c01ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Exlom Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PCI RAID 障害 :

816f0021-3001ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3002ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3003ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3004ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3005ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 5)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3006ffff Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 6)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0028-2101ffff Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301ffff An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName].(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302ffff An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName].(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-1501ffff [PowerSupplyElementName] has returned to OK status.(HSC Status)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200affff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200effff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f010d-0401ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040efffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0410ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0411ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0412ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0413ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0414ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0415ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0416ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0417ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0418ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0419ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041affff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041bffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041cffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041dffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041effff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-041fffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-2b81ffff The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled.(FDIMM Stat)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang.(Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout.(CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout.(CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0125-1001ffff [ManagedElementName] detected as present.(PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1002ffff [ManagedElementName] detected as present.(PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメン

トが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1f01ffff [ManagedElementName] detected as present.(PDB Cable)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01ffff [ManagedElementName] detected as present.(Exlom Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.(CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.(All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f020d-0401ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0408ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0409ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040affff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040bffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040cffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040dffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040efffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0410ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0411ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0412ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0413ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0414ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0415ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0416ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0417ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0418ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0419ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041afffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041bffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041cffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041dffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041effff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-041fffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-2b81ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (FDIMM Stat)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200affff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200effff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f030d-0401ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0402ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0403ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0404ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0405ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0406ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0407ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0408ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0409ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040affff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040bffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040cffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040dffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040effff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI.(NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200affff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200effff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f0413-2582ffff A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f0508-1501ffff [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State.(HSC Status)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200affff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200bffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200dffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200effff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200fffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f050d-0401ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: **接頭部:** PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040affff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040effff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0410ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0411ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0412ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0413ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0414ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0415ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0416ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0417ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0418ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0419ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041affff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041bffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041cffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041dffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041effff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-041fffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted.(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted.(CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted.(All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f060d-0401ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(Computer HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040affff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040effff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0410ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0411ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0412ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0413ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0414ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0415ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0416ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0417ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0418ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0419ffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041afffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041bffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041cffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041dffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041effff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-041fffff Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored.(SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2009ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200affff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200effff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200fffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2010ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581ffff Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted.(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f070d-0401ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Computer HDD7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD0)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD2)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040afffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD3)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040effff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName].(1U Storage HDD7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0410ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0411ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0412ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0413ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0414ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0415ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0416ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0417ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0418ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0419ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041affff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041bffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041cffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041dffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041effff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-041fffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (SDHV Drive 16)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f0813-2581ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200affff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200effff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301ffff The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State.(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302ffff The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State.(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error.(CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0a13-0302ffff System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error.(CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

付録 B. UEFI (POST) エラー・コード

このセクションでは、UEFI (POST) エラー・コードについて詳しく説明します。

UEFI (POST) 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI (POST) コードは、サーバー内の 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID
イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述
イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明 イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 14. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答
イベントを解決するためにとるべき処置を示します。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo サポートにお問い合わせください

サーバーの F1 Setup メニューのブート
サーバーの F1 Setup メニューは、通常の方法 (<F1 Setup> が表示されているときに F1 を押す) のほかにも 2 種類の方法でブートできます。

- 方法 1
  1. IMM2 Web サイトにアクセスします。
  2. 「**サーバー管理 (Server Management)**」タブを選択します。
  3. 「**サーバー電源アクション (Server Power Action)**」を選択します。
  4. 「**サーバーの F1 Setup のブート (Boot Server to F1 Setup)**」を選択します。
- 方法 2

© Copyright Lenovo 2015

Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムを使用します。コマンド・ラインは次のとおりです。 **asu.exe set IMM.ForceBootToUefi enable**

重要:

1. F1 Setup メニュー・パネルで Ctrl+Alt+Delete を押すと、システムが自動的にリブートし、もう一度パスワードを入力するように求められます。
2. F1 Setup の設定は、デフォルトをロードするだけのチップ・セットに関する項目がほとんどで、ユーザー入力が必要な項目はあまりありません。ただし、iSCSI の設定を調整する場合は、iSCSI の構成についてはデフォルトに戻せないことに注意してください。これは、iSCSI の構成が失われるとオペレーティング・システムをブートできなくなる可能性があるため、それを回避するための措置です。

以下に、UEFI (POST) エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002]

説明: システム内の 1 つ以上のプロセッサー間でプロセッサーの不一致が検出されました。1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A]

説明: 複数のプロセッサー・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました。プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサーを取り付けます。
2. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C]

説明: 1 つ以上のプロセッサー・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D]

説明: 1 つ以上のプロセッサー・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E]

説明: 1 つ以上のプロセッサー・パッケージでプロセッサーの型式の不一致が検出されました。プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F]

説明: 1 つ以上のプロセッサー・パッケージでプロセッサーのファミリーの不一致が検出されました。プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010]

説明: 1 つ以上のプロセッサー・パッケージでプロセッサーのステッピングの不一致が検出されました。同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002]

説明: リソース制約のために、バス %、デバイス %、機能 % で検出されたデバイスを構成できませんでした。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. アダプターが別のスロットに移動され、エラーが再発しなかった場合、これがシステムの制限でないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003]

説明: バス %、デバイス %、機能 % でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
4. アダプターを交換します。

I.3808004 [I.3808004]

説明: IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001]

説明: 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002]

説明: ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818009 [I.3818009]

説明: TPM を正しく初期化できませんでした。TPMINIT: TPM チップを初期化できません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが解決しない場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

I.3868000 [I.3868000]

説明: IFM: アダプターをリセットするためのシステム・リセットが実行されました。IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.3868003 [I.3868003]

説明: IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。IFM: 互換モードには構成が大規模すぎです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.5100B [I.5100B]

説明: 適格でない DIMM シリアル番号が検出されました: シリアル番号 %、スロット %、メモリー・カード %。適格でない DIMM シリアル番号が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この通知イベントが IMM イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格なメモリーが取り付けられていません。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。
3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は使用可能になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この通知イベントがログに再び記録されないことを確認してください。

I.58015 [I.58015]

説明: メモリーのスペア・コピーが開始されました。スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.580A4 [I.580A4]

説明: メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5]

説明: ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6]

説明: メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B]

説明: CATERR(IERR) がプロセッサー % で表明されました。プロセッサー CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

S.1100C [S.1100C]

説明: プロセッサー % で訂正不能エラーが検出されました。訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

S.2011001 [S.2011001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバーを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバーを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System

Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。

3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002]

説明: ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

S.3030007 [S.3030007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004]

説明: 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。The system has booted with default UEFI settings.POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。成功すると、Setup ユーティリティーが表示されます。オリジナルの UEFI 設定はまだ残っています。
2. 意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を

消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。

4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007]

説明: デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。A failure occurred.CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合には、システムのブートを続行し、UEFI イメージを更新します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007]

説明: 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003]

説明: 訂正不能メモリー・エラーがランク % の DIMM スロット % で検出されました。[S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %.The failing DIMM within the channel could not be determined.[S.51003] 訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006]

説明: メモリーの不一致が検出されました。Please verify that the memory configuration is valid.1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. DIMM を交換します。
6. プロセッサーを交換します。

S.51009 [S.51009]

説明: システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1 つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを物理的に確認してください。
4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクター LED がないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。
5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、プロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。

S.58008 [S.58008]

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは Setup ユーティリティーを使用して、手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このコンピュート・ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ異なるメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
7. 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

S.68005 [S.68005]

説明: バス % で IIO コア・ロジックによってエラーが検出されました。The Global Fatal Error Status register contains %.The Global Non-Fatal Error Status register contains %.Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. 入出力装置または PCIe アダプターを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが報告されたシステム・ボードを交換します。

S.680B8 [S.680B8]

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.680B9 [S.680B9]

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。

W.11004 [W.11004]

説明: システム内のプロセッサーが BIST に失敗しました。プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサーのシステムである場合は、そのプロセッサーを交換します。プロセッサーを取り外すたびに、プロセッサー・ソケットを検査し、プロセッサー・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを取り外すたびにプロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006]

説明: 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A]

説明: 無効な日時が検出されました。RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。Requires Change Settings From F1.ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 「F1 Setup」>「System Settings」>「Settings」>「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 障害状態のコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: リブートが必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: システム・シャットダウンが必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。Requires 'Reboot'.ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000]

説明: IMM 通信障害が発生しました。IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002]

説明: IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. Setup ユーティリティーを使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリブートします。

4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 [W.3808003]

説明: IMM からシステム構成を取得できません。IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. Setup ユーティリティーを使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの更新を続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3868001 [W.3868001]

説明: IFM: リセット・ループが回避されました。複数回のリセットは実行できません。IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3868002 [W.3868002]

説明: IFM: IMM との通信中にエラーが発生しました。IFM が正しくデプロイされていない可能性があります。IFM: IMM との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3938002 [W.3938002]

説明: ブート構成エラーが検出されました。ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成の更新を再試行します。

W.50001 [W.50001]

説明: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が使用不可になりました。DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、

Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。

3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからコンピュート・ノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを更新します。
7. 使用不可になったスロットからの DIMM を、一致する DIMM と交換/再取り付けします。スロットが使用不可のままである場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001]

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス % の DIMM 番号 % で超えました。MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このコンピュート・ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップを実行しても問題が解決しない場合は、次の保守の機会に、同じメモリー・チャネル上の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
4. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに交換します。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサーを取り外し、そのプロセッサーのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサーの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップして、エラーが生じたプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007]

説明: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。Please verify memory configuration is valid.サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。
2. uEFI セットアップ・メニューですべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
3. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。

W.580A1 [W.580A1]

説明: ミラー・モードに無効なメモリー構成。Please correct memory configuration.ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2]

説明: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。Please correct memory configuration.スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002]

説明: CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

© Copyright Lenovo 2015

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。

2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インスト

ール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。

4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。

5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。

5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-903-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LM92 (PIB 温度センサー) バス (BUS 2) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LM92 (周囲温度センサー I2C バス (BUS 3)) における障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM は、PSOC IC I2C スイッチ・バス (BUS 4) 上での PSOC の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログをクリアします。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識されないエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が 必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供 しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注: このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただけると、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないか確認してください。Lenovo の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくと定めています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン ID)
  - 型式番号

© Copyright Lenovo 2015

- シリアル番号
- 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
- その他の関連情報 (エラー・メッセージおよびログなど)

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が 迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプション装置に関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライ バーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の では、Lenovo システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品:

System x 製品:
http://www.ibm.com/systems/x/

NeXtScale System 製品:

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、Lenovo へ診断データを送信できます。

診断データを Lenovo に送信する前に、http://www-05.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- **標準アップロード:**
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**
- **セキュア・アップロード:**
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications/ にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services/ をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide/ でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは Lenovo から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/pwhome.nsf/weblook/index_us.html にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide/ を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用 いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から 午後 6 時までご利用いただけます。

Taiwan product service

Use this information to contact IBM Taiwan product service.

台灣 IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路 7 號 3 樓
電話：0800-016-888

IBM Taiwan product service contact information:

IBM Taiwan Corporation 3F, No 7, Song Ren Rd. Taipei, Taiwan 電話番号: 0800-016-888

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright Lenovo 2015

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものでは ありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で 決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、NeXtScale System、および x Architecture は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を 意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、Lenovo から入手可能 な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスク の代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」 (TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアル またはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って 機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品の リサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 15. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法*。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。*プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質*。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product may not be certified in your country for connection by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.Further certification may be required by law prior to making any such connection.Contact a Lenovo representative or reseller for any questions.

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications.Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits.Lenovo is not responsible for any radio or television interference

caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment.Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product.In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility.Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022.The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben.Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden.Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmittein Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“).Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EG Richtlinie 2004/108/EC (früher 89/336/EWG), für Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Gropiusplatz 10, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: **Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.**

Nach der EN 55022: „Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.“

Nach dem EMVG: „Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden.Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind.“(Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4).Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

<!--この製品は、クラス A 製品であり、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) が設定した規格に準拠しています。この装置を家庭環境で使用する場合、電波干渉が発生することがあります。そのような問題が発生した場合、ユーザーは修正処置をとる必要があります。-->

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로
서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A).Sellers and users need to pay attention to it.This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明
此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

German Ordinance for Work gloss statement

The product is not suitable for use with visual display work place devices according to clause 2 of the German Ordinance for Work with Visual Display Units.

Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.

© Copyright Lenovo 2015

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アウト・オブ・バンド 103
アダプター/GPU アダプター
  再取り付け 211
  取り外し 209
安全と注意 5
安全に関する注意書き vii, x
イーサネット
  コントローラー 96
イーサネット・コントローラー 10
イーサネット・コントローラーの構成 28
一般
  問題 79
イベント、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 247
イベント・ログ 70
  消去 73
  表示 71
イベント・ログ、システム 70
イベント・ログ、表示の方式 71
イベント・ログ、POST 70
イベント・ログの表示 71
インバンド
  自動ブート・リカバリー方式 102
  手動リカバリー方式 100
インフォメーション・センター 556
エアー・バッフル
  再取り付け 135
  取り外し 134
エラー
  書式、DSA コード 76
エラー現象
  一般 79
  オプション装置 88
  キーボード 81
  偶発的 80
  シリアル・ポート 91
  ソフトウェア 93
  電源 90
  ネットワーク接続 88
  ハード・ディスク 79
  ハイパーバイザー・フラッシュ装置 80
  ビデオ 85, 94
エラー現象 (続き)
  マイクロプロセッサー 85
  マウス 81
  メモリー 83
  モニター 85
  ServerGuide 92
  USB デバイス 81
  USB ポート 94
エラー・コードとメッセージ
  統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 247
  UEFI (POST) 481
エラー・メッセージ 78
エラー・メッセージ、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 247
汚染、粒子およびガス 561
オプション装置の取り付け 118
オプション装置の問題 88
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ
  取り外し 161
  取り付け 164
オペレーティング・システム 3
オペレーティング・システム・イベント・ログ 70, 71
温度 8
オンライン資料 1, 4

[カ行]

ガイドライン
  オプションの取り付け 118
  システム信頼性 119
  電気機器の保守 ix
  トレーニングを受けたサービス技術員 viii
外部コネクター 22
概要 1
拡張ベイ 7
ガス汚染 561
カスタム・サポート Web ページ 557
活動 LED 16
カバー
  取り外し 131
  取り付け 132
環境 8
管理者
  パスワード 41
危険な状況の検査 ix
危険な状態、の検査 ix
危険の注記 5
機能
  ServerGuide 31
機能、コンピュート・ノード 10
偶発的
  問題 80
組み込みハイパーバイザー
  使用 47
グリース、熱伝導 236
ケーブル
  内部配線 242
ケーブル・ルーティング
  プレーナー・ケーブル 242
  ServeRAID SAS/SATA コントローラー 244
計算ノード
  取り外し 121, 237
  取り付け 122, 240
検索
  更新された資料 4
コール・ホーム機能
  Lenovo Electronic Service Agent 77
コール・ホーム・ツール 77
交換可能なサーバー・コンポーネント 105
更新
  構成 121
  汎用固有 ID (UUID) 51, 54
  ファームウェア 27
  Lenovo Systems Director 50
  Systems Director, Lenovo 50
構成
  更新 121
  情報 27
  手順 27
  Nx 回ブート失敗 103
  RAID アレイ 49
  ServerGuide Setup and Installation CD 27
  ServerGuide で 31
  Setup ユーティリティー 27
構成プログラム 28
構造部品 113
コネクター
  外部 22
  内部 21
  内部ケーブルのルーティング 242
コネクター、内部、システム・ボード 21
個別設定したサポート Web ページの作成 557
コンソール・ブレークアウト・ケーブル 19

© Copyright Lenovo 2015

コントローラー
イーサネット 10, 48
ビデオ 10
メモリー 10
コンピュート・ノードの始動 19
コンピュート・ノードの停止 20
コンピュート・ノードの電源オン 19
コンピュート・ノードの電源をオフにする 20
コンピュート・ノード・カバー
取り外し 131
取り付け 132
コンポーネント
サーバー 105
システム・ボード 21
図示 13, 14, 15

[サ行]

サーバー、バックアップ・ファームウェア
始動 41
サーバーの構成 27
サーバー・コンポーネント 105
サーバー・ファームウェアのリカバリー 100
サービスおよびサポート
依頼する前に 555
ソフトウェア 557
ハードウェア 557
再取り付け
アダプター/GPU アダプター 211
エアー・バッフル 135
構造部品 131
コンポーネント 117
バッテリー、システム 174
ヒートシンク 229
ベゼル 141
マイクロプロセッサー 229
DIMM 183
GPU トレイ 208
GPU トレイへの電源パドル・カードの 170
GPU トレイへのフィラー 145
IMM インターポーザー・アセンブリー 168
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー 202
PCI ライザー・ケージ・アセンブリー 205, 208
PCI ライザー・フィラー 137
RAID アダプター・バッテリー 154
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 159
RAID コントローラー 218
SAS/SATA コントローラー 218
SD アダプター 215
再取り付け *(続き)*
ServeRAID アダプター 218
Tier 1 CRU 153
Tier 1 CRU、交換 153
Tier 2 CRU 224
サポート Web ページ、カスタム 557
サポート、入手 555
事項、重要 560
システム管理 10
シャーシ・マネジメント・モジュール 10
システムの信頼性に関するガイドライン 119
システム・ エラー LED 16
システム・イベント・ログ 70, 71
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 70
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 70
システム・パルス LED 69
システム・ボード
外部コネクター 22
始動パスワード・スイッチ 39
スイッチとジャンパー 22
内部コネクター 21
レイアウト 21
LED 24
システム・ボードの内部コネクター 21
システム・ボード・アセンブリー
コンポーネント 13
湿度 8
始動
バックアップ・ファームウェア 41
Setup ユーティリティー 33
自動ブート・リカバリー (ABR) 103
シャーシ・マネジメント・モジュール 10
ジャンパー
システム・ボード 22
UEFI ブート・リカバリー 100
重要な注 5
重要の注記 5, 560
取得 45, 46
主要なコンポーネント
システム・ボード 13
ストレージ・トレイ 14
GPU トレイ 15
使用
組み込みハイパーバイザー 47
統合管理モジュール 43
リモート・プレゼンス機能 44
Setup ユーティリティー 32
使用可能化
Features on Demand
RAID ソフトウェア 48
商標 560
シリアル番号
ロケーション 98
シリアル・ポートの問題 91
資料
使用 556
Documentation Browser 3
Documentation CD 3
資料、更新された
検索 4
診断
オンボード・プログラム、開始 75
ツール、概要 65
プログラムの概要 74
診断データの送信 557
信頼性
機能 13
RAS 機能 13
スイッチ
システム・ボード 22
スイッチ・ブロック 22
ストレージ・トレイ
コンポーネント 14
取り外し 125
取り付け 126
ストレージ・トレイ・フィラー 126
スロット
PCI 拡張 7
静電気に弱い装置
取り扱い 120
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 120
前面ハンドル
取り外し 146
取り付け 147
装置、静電気の影響を受けやすい
取り扱い 120
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 557
ソフトウェアの問題 93
ソフトウェア要件 3

[タ行]

チェックアウト手順 62, 63
実行 64
チェック・ログ LED 16
注 5
注意の注記 5
注記 5, 559
electronic emission 562
FCC, Class A 562
ツール、コール・ホーム 77
ツール、診断 65
通信規制の注記 562
粒子汚染 561
データ収集 59

データの収集 59
ディスプレイの問題 85
手順、チェックアウト 64
テスト・ログ、表示 77
デバイス・ドライバー 42
電気機器の保守 ix
電源 42
仕様 8
スロットル 10
電源 LED 16
電源コード 113
電源入力 8
電源の問題 90, 94
電源ボタン 16
電子情報技術産業協会表示 565
電磁波放出 Class A の注記 562
電話番号 557
統合管理モジュール
使用 43
統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) イベント 247
統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) のエラー・メッセージ 247
統合管理モジュール II
イベント・ログ 70, 71
プログラム 28
ドライブ
取り外し 188
取り付け 188
ドライブ、SAS または SATA、取り付け 190
ドライブの取り付け 190
ドライブ・ベイ、内部 188
トラブルシューティング 59
現象 78
取り外し
アダプター/GPU アダプター 209
エアー・バッフル 134
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ 161
計算ノード 121
コンポーネント 117
ストレージ・トレイ 125
前面ハンドル 146
ドライブ 188
ハード・ディスク 192, 196
バッテリー、システム 172
ヒートシンク 224
ベゼル 138
マイクロプロセッサー 224
メモリー・モジュール 175
3.5 型ハード・ディスク 189
DIMM 175
GPU トレイ 128, 206
取り外し *(続き)*
GPU トレイからのパドル・カードの 169
GPU トレイからのフィラー 144
IMM インターポーザー・アセンブリー 166
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー 201
PCI ライザー・ケージ・アセンブリー 204, 206
PCI ライザー・フィラー 136
RAID アダプター・バッテリー 153
RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 157
RAID コントローラー 216
SAS/SATA コントローラー 216
SD アダプター 214
ServeRAID アダプター 216
取り付け 1
オプションの前面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ 164
ガイドライン 118
計算ノード 122
ストレージ・トレイ 126
ドライブ 188
ハード・ディスク 193, 198
メモリー・モジュール 177
DIMM 177
GPU トレイ 129
SAS または SATA ドライブ 190
取り付けツール 117
取り付けのガイドライン 118
トレーニングを受けたサービス技術員、ガイドライン viii

[ナ行]

内蔵機能 6
内部、システム・ボード・コネクター 21
内部ケーブルのルーティング 242
内部コネクター 21
熱伝導グリース 236
ノード・ベイ・フィラー 122

[ハ行]

ハードウェア、構成 28
ハードウェアの構成 28
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 557
ハードウェア要件 3
ハード・ディスク
仕様 10
タイプ 192, 193, 196, 198
ハード・ディスク *(続き)*
のサポート 10
問題 79
SAS または SATA、取り外し 189
SAS または SATA、取り付け 190
ハード・ディスク、取り外し 189, 192, 196
ハード・ディスク、取り付け 193, 198
ハード・ディスク・バックプレート
取り外し 185
取り付け 187
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
問題 80
背面ハード・ディスク・ケージ
取り外し 148
取り付け 150
パスワード 38
管理者 38
パワーオン 38
パスワード、始動
スイッチ、システム・ボード上の 39
バックアップ・ファームウェア
始動 41
バッテリー、システム
再取り付け 174
取り外し 172
バッテリー、RAID アダプター
再取り付け 154
取り外し 153
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
再取り付け 159
パワー・サプライ
LED 67
パワー・サプライ LED 67
ハンドル、前面
取り外し 146
取り付け 147
ヒートシンク
再取り付け 229
取り外し 224
表明イベント、システム・イベント・ログ 70
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 70
ブート・マネージャー・プログラム 28
ファームウェア、更新 27
ファームウェア、サーバー、リカバリー 100
ファームウェアの更新 1
フィラー、ストレージ・トレイ 126
フィラー、ノード・ベイ 122
フィラー、GPU トレイ 129
負荷分配
電力スロットル 10
部品、構造 113
部品リスト 105

ブルー・スクリーン機能 44
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
概要 44
プレーナー・ケーブル
ケーブル・ルーティング 242
プレーナー・ケーブルの配線 242
文書化されていない問題 62
ベイ 7
米国 FCC Class A の注記 562
ベゼル
再取り付け 141
取り外し 138
ヘルプ
診断データの送信 557
ソース 555
WWW から 556
返却
コンポーネント 121
装置 121
方式 103
方式、イベント・ログの表示 71
ボタン、電源 16
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート
取り外し 185
取り付け 187
ポリシー・オプション 42

[マ行]

マイクロプロセッサー
再取り付け 229
仕様 6
取り外し 224
問題 85
未解決問題 97
ミラーリング・チャネル・モード 183
メッセージ、エラー
POST 481
メニュー選択
Setup ユーティリティー 33
メモリー
仕様 6
メモリー・ミラーリング・チャネル
説明 183
DIMM 取り付け順序 183
メモリー・モジュール
仕様 10
取り外し 175
取り付け 177
メモリー・ランク・スペアリング
説明 181
モデル名
ロケーション 98
問題
イーサネット・コントローラー 96
問題 *(続き)*
一般 79
オプション装置 88
キーボード 81
偶発的 80
シリアル・ポート 91
ソフトウェア 93
電源 90, 94
ネットワーク接続 88
ハード・ディスク 79
ハイパーバイザー・フラッシュ装置 80
ビデオ 85, 94
マイクロプロセッサー 85
マウス 81
未解決 97
メモリー 83
モニター 85
ServerGuide 92
USB ポート 94

[ヤ行]

ユーティリティー、セットアップ 28
始動 33
使用 32
ユーティリティー・プログラム
Lenovo Advanced Settings 49
要件
ソフトウェア 3
ハードウェア 3

[ラ行]

ランク・スペアリング
DIMM 取り付け順序 181
ランク・スペアリング・モード 181
リモート・バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
取り外し 157
リモート・プレゼンス機能
使用 44
レガシー・オペレーティング・システム
要件 31
レガシー・オペレーティング・システムをインストールする前に 31
ロギング 46
ロケーター LED 16

A

ABR、自動ブート・リカバリー 103
AC パワー・サプライ
LED 67
AC パワー・サプライ LED 67
ASM イベント・ログ 71
Australia Class A statement 563

B

Boot Manager 41

C

Canada Class A electronic emission statement 563
China Class A electronic emission statement 565
Class A 電磁波放出の注記 562

D

DIMM
再取り付け 183
チャネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC)
要件 177
取り外し 175
取り付け 177
メモリー
チャネルあたり 1 つの DIMM 構成 (1DPC) 177
DIMM の取り付け順序 180
メモリー・ミラーリング・チャネル 183
ランク・スペアリング 181
Documentation CD 3
DSA
エディション 74
テキスト・メッセージ書式 76
テスト・ログ、表示 77
プログラム、概要 74
DSA Portable 65, 74
DSA Preboot 65, 74
DSA ログ 70, 71
DSA、データの送信 557

E

European Union EMC Directive conformance statement 563

F

FCC Class A notice 562

G

German Ordinance for Work gloss statement 567
Germany Class A statement 563
GPU トレイ 206, 208
  コンポーネント 15
  取り外し 128
  取り付け 129
GPU トレイからのパドル・カードの取り外し 169
GPU トレイからのフィラー
  取り外し 144
GPU トレイへの電源パドル・カードの再取り付け 170
GPU トレイへのフィラー
  再取り付け 145
GPU トレイ・フィラー 129

I

IMM web インターフェース 46
IMM インターポーザー・アセンブリー
  再取り付け 168
  取り外し 166
IMM ホスト名 45
IMM 用の IP アドレス 46
IMM2 28
IMM2 ハートビート
  LED 69
IPMI イベント・ログ 70, 71
IPMItool 71

J

JEITA 表示 565

K

Korea Class A electronic emission statement 565

L

LED
  活動 16
  システム・エラー 16
  システム・ボード 24
  チェック・ログ 16
  電源 16
  パワー・サプライ 67
  ロケーター 16
  AC パワー・サプライ 67
  IMM2 ハートビート 69
  RTMM ハートビート 69
Lenovo Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
  概要 49
Lenovo Electronic Service Agent 77
Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス 12
Lenovo Systems Director
  更新 50

M

ML2
  ライザー・ケージ・アセンブリー 201, 202
ML2 ライザー・ケージ・アセンブリー
  再取り付け 202
  取り外し 201

N

New Zealand Class A statement 563
NOS インストール
  ServerGuide で 32
  ServerGuide を使用しないで 32
Nx 回ブート失敗 103
nx360
  概要 1

P

PCI
  ライザー・ケージ・アセンブリー 204, 205, 206, 208
PCI 拡張スロット 7
PCI ライザー・ケージ・アセンブリー
  再取り付け 205, 208
  取り外し 204, 206
PCI ライザー・スロット
  サポートされる構成 211
  取り付け構成 211
PCI ライザー・フィラー
  再取り付け 137
  取り外し 136
People's Republic of China Class A electronic emission statement 565
POST
  イベント・ログ 71
  エラー・コード 481
POST イベント・ログ 70
product service, Taiwan 558

R

RAID アダプター
  バッテリー
    再取り付け 154
    取り外し 153
  バッテリー・ホルダー
    再取り付け 159
  リモート・バッテリー・ホルダー
    取り外し 157
RAID アレイ
  構成 49
RAID コントローラー
  再取り付け 218
  取り外し 216
RTMM ハートビート
  LED 69
Russia Class A electronic emission statement 565

S

safety vii
Safety Information 5
SAS または SATA ドライブ、取り付け 190
SAS または SATA ハード・ディスク
  取り外し 189
SAS/SATA コントローラー
  再取り付け 218
  取り外し 216
SD アダプター
  取り外し 214
ServeRAID SAS/SATA コントローラー
  ケーブル・ルーティング 244
ServeRAID アダプター
  再取り付け 218
  取り外し 216
ServerGuide
  機能 31
  使用 30
  セットアップ 31
  NOS インストール 32
  Setup and Installation CD 27
ServerGuide CD 10
Service Bulletin 62
Setup ユーティリティー 27, 28
  始動 33
  使用 32
  メニュー選択 33
SW4 スイッチ・ブロックの説明 22

T

Taiwan Class A electronic emission statement 566

Taiwan product service 558
Tier 2 CRU、交換 224

U

UEFI
エラー・コード 481
ブート・リカバリー・ジャンパー 100
Universal Serial Bus (USB) の問題 94
UpdateXpress 27, 42
USB フラッシュ・ドライブ
取り外し 220
取り付け 222

V

VCCI クラス A 情報技術装置 564
VMware ハイパーバイザーのサポート
28



部品番号: 00MV629

Printed in Japan

(1P) P/N: 00MV629

